

五 対日ボイコット問題

392 昭和4年1月(8)日

在南京岡本領事より
田中外務大臣宛(電報)

中国商は首都反日会が日貨検査、商品封印に
関し猶予方容認しなければ一斉に罷市を決行
する旨宣伝について

南京 発
本省 1月8日後着

第一二号

往電第七七四号ニ関シ

首都反日会ハ既報ノ通本八日ヨリ十三日迄日貨検査ヲ行ヒ
商品ニ封印スルコトナリ居レル処目下支那商ノ手ニ在ル
日貨尚少カラサルノミナラス綿布ノ如キハ支那商直接ニ或
ハ邦商ノ名義ヲ藉リ(名義料一捆ニ付十元位ヲ支払フ)
続々上海ヨリ仕入レツツアル実状ナルヲ以テ今直ニ日貨ノ
販売ヲ禁止セラレムカ旧年関ヲ控ヘ支那商ノ被ムル損害甚
シク七日彼等ノ代表者約三十名ハ反日会ニ赴キ旧曆一月一

日迄日貨検査ノ猶豫方申入ルルト共ニ市中ニ於テ反日会カ
右要求ニ応セサルニ於テハ一律ニ罷市ヲ決行スヘキ旨盛ニ
宣伝シツツアリ之カ為反日会ニ於テモ相当慎重ナル態度ニ
出テ未タ何レトモ決定セサル模様ナルカ一般商民ハ寧ロ成
行ヲ樂觀シ居ルモノノ如シ
北平、上海、天津、青島、濟南、漢口、福州へ転電セリ
上海ヨリ廣東へ転電アリタシ

393 昭和4年1月19日

在漢口桑島(主計)総領事より
田中外務大臣宛(電報)

反日団体と国民政府並びに国民党部との関係
についての首藤書記官報告

漢口 1月19日後発
本省 1月20日前着

第四四号

首藤書記官ヨリ左ノ通

殊ニ五院成立以来中央党部及中央政府主腦者ノ聯結稍々
密ナルモノアルニ拘ラス党内ノ統制未タ全キヲ得ス党内
ニ於ケル自己勢力ノ及ハサル多数分子ハ極端ナル反日運
動ニ対シ之ヲ取締ルノ実力ヲ有セス更ニ第三次大会ヲ目
前ニ控ヘ自己ノ地位確保ノ念ニ急ナル時愛國運動ト称ス
ル此ノ種運動ヲ弾圧スルノ意思ナキハ明ナリ

四、之ヲ要スルニ反日運動ハ国民党夫レ自身ノ運動ニシテ
中央及地方ニ於テハ之ヲ利用スルコトアルモ抑圧スルノ
意思ナク又実力ナシ從テ政府及党部ニシテ之ヲ充分制ス
ルニアラサレハ自己ノ存立ヲ危クスル虞アルニアラサル
限り我方筆舌ノ取締要求乃至抗議ノ如キハ何等ノ効果ア
ルナシ

394

昭和4年1月(20)日

在天津田代(重徳)総領事代理より
田中外務大臣宛(電報)

反日会執行委員会における日貨取扱等の決議
事項について

天津 発
本省 1月20日前着

反日団体ト政府並ニ党部トノ関係

一、党部ト政府トノ関係特ニ中央党部ト中央政府トハ実体
上單一不可分ナリ是中央政府ノ最高幹部ノ大部分カ同時
ニ国民党最高機関タル中央執行委員会ノ委員ナルヲ以テ
見ルモ明ニシテ党ヲ以テ国ヲ治ムトノ黨議ニ依リ中央黨
部政府ヲ指導監督シ實際上党部ハ絶対的権力ヲ有ス地方
党部ト地方政府モ亦表面对立スルモ事実後者ハ前者ニ対
シ殆ト無力ナリ

二、党部ト反日会トノ関係ヲ見ルニ各地反日会ノ首席又ハ
委員ハ殆ト其ノ地党部委員若ハ黨員ニシテ反日会ハ党部
カ反日運動ヲ目的トシテ組織セシメタル自己ノ一機関ナ
リ

三、政府ト反日会トノ関係ハ既ニ反日会カ公然党部ノ一機
関ナルニ拘ラス政府ハ表面党部ト別個ノモノナルヲ口実
トシ反日会ノ行動ニ関シ其ノ責任ヲ回避ス而モ湖北各地
反日会ノ会合ニテハ地方官憲ノ参加スルアリ鄭州ニ於テ
ハ県会政府黨露骨ニ地方政府ノ名義ヲ以テ全部ニ排日ノ
伝單ヲ撒布シ居レリ党部ニ対シ殆ト無力ナル中央及地方
政府カ党部ノ機関反日会ヲ抑制スル力ナキハ勿論

第一三三

往電第四号ニ関シ

反日会ハ十八日執行委員会ヲ開キタルカ決議事項中重ナルモノ左ノ如シト云フ

(一)支那町ニアル貨物ニ限リ二千元以下ノモノハ追加登記ノ継続ヲ許ス

(二)租界内ノ日貨ハ三月一日迄ニ支那町ニ運搬セシメ之ニ反スルモノハ嚴重懲弁ス

(三)漢口事件ニ対シテハ(イ)通電声援ヲ為ス事(ロ)宣伝ヲ拡大スルコト(ハ)先ツ一千元ノ経済援助ヲ為スコト(ニ)日ヲ定メテ市民大会ノ示威游行ヲ為スコト

(四)日本租界銭商ニ対シ日本紙幣ノ売買ヲ制止シ応セサルモノハ嚴重処分ス

(五)相對禁止ノ日貨等ニ対シテハ反日会ヨリ執照ヲ發給シテ継続購入セシム但シ救国基金ノ納付ヲ要ス

北京、上海、奉天、青島、濟南、南京、漢口ハ転電セリ

395 昭和4年1月24日

在奉天林總領事より
田中外務大臣宛

巡警等ヲシテ日貨調査ヲナサシメツツアリトノ謠言ノ如キハ常識ヲ以テ断スル能ハス省城ニ於ケル日貨ハ約七割ヲ占

メ仮リニ日貨排斥ヲ敢行スルトセハ一切ノ商工業ハ中止ノ已ムナキ実情ニアレハ斯ル愚ハ断シテ学ハス右謠言ハ何等タメニスル宣伝ナルヘシト思考セラルトテ嚴重取締ヲナスコトヲ言明セル趣ナルカ一方警察側情報ニ依レハ東北大学ハ本月十日ヨリ四十日間其他ノ各中学校職業学校等ハ同

十八日ヨリ来月二十日迄冬期休暇トナリ其多クハ行李ヲ纏メテ帰省シ目下省城ニハ約三割ノ学生ヲ見ルニ過キス尚ホ彼等学生ニ就キ前記ノ風説ヲ訊シタルニ何レモ斯ル計画ナシト謂ヒ居ル趣ニテ且ツ目下ノ所此種排日運動ノ下準備ト

認メラルル具体的行動モ無之趣ナリ尚為念当館員ヨリ交渉員ニ糾シタルニ交渉員ハ「排日示威運動ハ東三省ニ関スル限リ近ク行ハルコトアラサルヘキハ之ヲ断言シ得然レトモ

或ハ新制度又ハ之ニ伴フ就任式祝賀ノ意味ニテ近ク学生又ハ一般民衆ノ行列アルヤモ知り難シ」ト語リタル由ニテ右

様ノ行列ハ往々排日の色彩ヲ帯ヒ来ルモノアルニ顧ミ当方トシテハ引続キ注意中ナリ

右何等御参考迄ニ報告ス

排日運動の密令流布に關シ警察厅长と交渉員
に糾問について

公第八三三

昭和四年一月二十四日

在奉天

總領事 林 久治郎〔印〕

外務大臣男爵 田中 義一殿

排日運動密令説ニ関スル件

這般来当地支那人間ニ於テ鉄道問題新聞稅協定問題等ニ關聯シ支那官憲ヨリ一般商民ニ対シ排日運動ヲ密令シ或ハ二月一日ニハ大仕掛ノ示威行列催セラルヘシト云ヒ或ハ巡警ハ日貨ノ調査ニ着手セリ云々謠言流布セラレ日支開戰説サヘ伝フルモノアリ影響尠カラサルニ就キ右風説出所内査中ナル処去ル十八日当地支那警察厅长白銘鎮カ往訪セシ当館警察署員ニ対シ「作霖當時ヨリ日支ノ關係ハ唇齒輔車ノ間柄ニアリ其没後學良ハ父ノ遺志ヲ受ケ中日關係ノ連絡ニ努メ居ル折柄ナレハ官辺トシテハ排日運動ヲ煽動スルカ如キコトハ全然無之方一商民等ニテ斯カル計劃ヲナスモノアルニ於テハ断然解散ヲ命シ嚴重ナル取締ヲナス方針ナリ故ニ

396 昭和4年1月29日

在青島藤田(榮介)總領事より
田中外務大臣宛(電報)

青島においては邦人工場製造のマッチの滞貨
あるほか排貨運動の影響とみられるものなき
ことについて

青島

本省 1月29日後着

第一八号

閣下發上海宛電報第一三三三号ニ関シ

屢報ノ通当地ハ特殊状況下ニアリ目下特記スヘキ排貨運動ヲ見ス貴電御来示ノ各項ニ付テモ当地本邦人工場製造ノ燐寸ノ滞貨約五千噸アル外特ニ報告スヘキ程ノ影響ナキ実情ナルヲ以テ今後トモ何等変化アル場合隨時報告スルコトト致シタシ

397 昭和4年1月31日

在蕪湖柴崎(白尾)領事代理より
田中外務大臣宛(電報)

蕪湖における反日会員が漸次職業化、組織化

の傾向にある等について

蕪湖 本省 1月31日前着

第一号

貴電合第五三号ニ関シ

(一) 当省内排日団ハ昨年六月以降今日迄幾多幹部ノ交迭及名稱ノ変化セルノミニシテ其ノ内容ニ於テハ左シタル異状ヲ認メサルモ反日会員ハ漸次職業化シ且組織化セルヤノ傾向アリ

(二) 市民ノ日貨使用状態ハ例年ヨリ幾分減少シ居リ一般輸入貿易ハ大差無ク季節ノ関係上目下纏マリタル日貨輸入ノ必要無ク昨週頃ヨリ英国、米国及支那貨増加シツツアリ日本向輸出不振ナルモ杜絶程度ニ非ス

(三) 日支両国商人ノ排日運動ニ依ル手持滞貨ハ諸雜貨ノ価格ニ於テハ別狀無ク捌ケ居ル商品多シ

(四) 排日運動ニ依ル邦人商社雇傭支那人ハ昨年五月以来動揺セル事無ク当地ニハ邦人工場無シ

尽力ヲ求メタルカ之ヲ諒セリ尚当地反日会カ全国反日会ヨリ芳澤公使渡支ニ対スル示威排日ノ通令ヲ受ケタルハ事実ナルモ交渉員ハ官辺筋ニハ絶対ニ其ノ事ナキ旨ヲ弁明セリ

二、主要関係国ノ対厦門貿易ニハ左シタル変化ナク新関税見越ノ為ノ邦品輸入多ク去ル二十八日入港商船廣東丸入荷五百五十噸ト云フ「レコード」破リヲ示セリ

三、右ノ為各店トモ邦品ハ「フルール、ストック」トナレリ(尤一般商況ハ依然不振)

四、三井ヲ除キ他ノ小貿易業者ハ目下甚タシク苦境ニアリトハ認メラレス

北平、上海、南京へ転電シ福州、汕頭、廣東、香港へ暗送セリ

399

昭和4年2月(9)日 在広東矢野(眞)総領事より
田中外務大臣宛(電報)

排日会の日貨検査嚴重のため香港で改装し商標等を変更の上省内各地に仕向け辛じて取引をしていることについて

398

昭和4年2月2日 在厦門坂本(龍起)領事より
田中外務大臣宛(電報)

厦門地方は台湾方面との密接な地位に鑑み排日悪化防止のため中国海軍側に尽力を求めたことについて

厦門 2月2日後発
本省 2月2日後着

第七号

一、從來有名無実ナリシ当地排日ハ更迭後ノ当地県党部指導委員会ノ反日激励ニ依リ積極化セムトシ中央反日会ノ通電ニ基キ客月二十八日ヨリ三日間ヲ排日宣伝日トナシ(尤天候不良ノ為氣勢揚ラス) 一、二日貨没収ヲ行ヒ商民一般ニ事態ヲ憂慮シツツアリタル矢先台湾ヨリ退去ヲ命セラレタル支那人二名台湾警察ニ屈辱ヲ受ケタリトノ宣伝ハ排日団ニ利用セラレ去ル三十一日荷役停止日貨封印肅清等相当激烈ナル決議ヲナセリ本官ハ其ノ成行ヲ注視スルト共ニ林海軍司令官ニ対シ其ノ立場モアルヘキモ当地カ地方ト異ナリ台湾方面ト密接ノ関係ヲ有シ特殊ノ地位ニアルニ鑑ミ排日悪化防止ノ要アルヘキヲ述ヘ其ノ

広東 本省 2月9日前着

発

第五号

(一) 当地排日会ノ活動ニ依リ水陸共ニ日貨ノ検査嚴重トナリ(尤モ未タ荷役運搬人夫ノ罷業ヲ見ス) 直接当港ニ輸入セスシテ香港ニテ改装商標等ヲ変更シ省内各地ニ仕向ケ辛フシテ取引ヲ為シツツアリ

(二) 当地輸入ノ主要本邦品ハ綿糸、綿布、海産物、燐寸原料及石炭等ナルカ就中燐寸、軸木ハ代用品無キ為石炭ハ必需品タル為一定量ヲ限り輸入ヲ認メラレ居リ輸入額ハ約三割減ナリ

綿糸ハ従来上海日紡製品六、五割支那品三、五割輸入セラレタルモ排日以來地位ヲ転倒シ前者一割後者九割ノ割合トナレリ生地綿布ハ日本品ノ独占ナリシモ最近支那品ノ輸入相当アリ

(三) 打撃サシテ大ナラサルモノノ如シ日本雜貨ハ平均輸入三割減排日ノ打撃最モ大ニシテ荷捌キ甚タ不良ナリ

(四) 排日以來日貨ハ大部分香港ニ倉入シ小口取引ヲ為シ日支人トモ在荷多カラサリシカ最近旧曆年関及新税実施ヲ見

越シ輸入増加セシ模様ナリ

客年十一、二月ニ比シ一月以来香港ヨリ支那内地へ仕向ケタル日貨三分ノ一減ナリ右ハ奥地ノ不景氣及排日熱ノ盛ナルニ依ル

四排日以来邦人商社ハ一般ニ營業不振ニ陥リ出来得ル限り業務ノ縮小ニ力メ支那商人トノ取引継続ニ腐心シ居ルモ船会社ノ如キ殆ト積荷ナキ状態ナリ
客年末以来邦商貨物ノ差押ラレタルモノナシ
北平、上海、香港へ暗送セリ

400 昭和4年2月16日

在漢口桑島総領事より
田中外交大臣宛(電報)

漢口の対日罷工運動の中核は党部左派分子が勢力を占め反日会もその別働隊的色彩濃厚について

漢口 本省 2月16日前着

第一一九号

当地対日罷工運動カ漸次共產化シツツアル次第ハ往電第八

401 昭和4年2月20日

在中国堀(義貴)臨時代理公使より
田中外交大臣宛(電報)

濟南事件解決を見るも満蒙における日本の勢力一掃まで排日運動を継続すべき旨の反日会右派幹部の揚言等について

北平 本省 2月20日前着

第一七二号

往電第一五五号ニ関シ

一、先週ハ旧曆年末年始ニ際シタル為カ特ニ目立チタル運動ヲ見サルカ一般状況ヲ摘記スレハ左ノ如シ

(イ)当地ノ反日会ハ党部左派ノ失脚後右派ノ後援指導ヲ得テ相当根強キ実勢力ヲ有スル処最近同会幹部ハ濟南問題ノ如キハ一地方問題ニ過キサルカ故ニ其ノ解決ヲ見ルトモ満蒙ニ於ケル日本ノ勢力ヲ一掃スル迄ハ排日運動ヲ継続スヘシト揚言シ居ルヲ以テ右運動ハ依然継続性ヲ有スルモノノ如シ

(ロ)当地反日会執行委員(学生聯合会代表)鄧亮ノ言ニ依

○号(南京宛第六一號)及本月七日附機密第一一號拙信

報告ノ通ナル処衛戌司令部ノ共產党捜査近來遽ニ嚴重トナリ最近武昌側ニアル同党省支部ニ於テ不穩ノ計画アルヲ探知シ之ニ端ヲ得テ一挙ニ黨員四十餘名ヲ逮捕シ洋務工会ヲ閉鎖シ尚引続キ捜索ヲ進メ居ル事実アリ屢次報告ノ如ク当地排日運動ノ中枢タル党部既ニ左派分子勢力ヲ占メ其ノ別働隊トモ稱スヘキ反日会ニ至リテハ其ノ色彩一層濃厚ニシテ同会ハ一方今回ノ対日罷工運動ヲ起シ他面四三事件当時共產党ノ組織ヲ利用セル工会ノ例ニ倣ヒ主トシテ対日関係ノ洋務工会組織ニ著手シ居リテ同会ノ共產的色彩愈露骨トナリタルカ右工会組織ヲ主宰シ居タル

「デントウザン」ノ二人ハ既ニ十三日逮捕セラレ対日罷工委員會長曾覺先モ亦難ヲ懼レ今朝上海方面ニ逃走ノ情報アリテ右衛戌司令部ノ措置ハ最近南京ヨリ第三回全國代表會議ニ各地ヨリ出席ノ代表者ニ左派有力ノ傾向アルヲ虞レ地方共產党圧迫ヲ電命シ来レリトノ風説ヲ裏書スルモノトモ認メラルル処其ノ結果トシテ今後排日罷工運動ハ自然幾分ノ緩和ヲ見ルモノト思料セラレ成行注意中ナリ不取敢
北京、上海、南京へ転電セリ

レハ反日会ニ対シ北平市政府(二百元)市党部(三百元)中央党部(五百元)等ヨリ基金釀出アリタル由

(イ)当館ノ入手セル登記日貨運搬証ノ例ニ依レハ砂糖二袋ニ対シ天津ニテ三十仙北平ニ於テ一元ノ登記徴収金ヲ課セラレ居ル処北平反日会ノ救国基金現在三萬元ヲ超過シ居レリ

(ニ)当地反日会ノ発行ニカカル週刊雑誌「北平反日周刊」(二十数頁)ハ今日迄第三号ヲ発行シ居レリ

(ホ)木檻一個猶殘留

(ハ)反日会ニテハ旧曆年末ニ際シ支那人日貨取扱店數軒ニ対シ未登記日貨ノ峻厳ナル検査ヲ為シタル為例年ト異リ小売商ハ年始向日貨ノ注文ヲ殆ト全部差控ヘ現ニ東安市場内ノ雜貨呉服店ニ付テ見ルモ從來ハ七八部通リ日本品ヲ陳列シ居リタルモノ一般の不況ニ加フルニ右ノ妨害アル為各店トモ諸雜貨及呉服物(主トシテ友禪模様捺染物等)激減シ居ル有様ニシテ支那商中年末倒産者ヲ出シタルモ排日貨ノ影響ニ依ルモノアルカ如シ
(ト)十六日ハ陰曆元旦ニテ人出多キ折ヲ利用シ反日會員ハ琉璃廠附近ニ於テ小学生徒ヲ指揮シ排日伝單ヲ撒布ス

ル一方前門街勸業場及北平一流ノ呉服洋品店舗タル「メイフショウ」ニ検査員ヲ派シ後者ヨリ大貨物七個ヲ調べシテ反日会ニ運ヒ去レリ

(イ)支那商側ニ於テハ反日会ノ妨害ニ対シ例ヘハ(a)旧年末以前ニ売捌アリタル正月用日貨(例ヘハ護謨風船)ハ北平以外山西地方ヘモ転売セラレツツアル処検査課税並ニ押収等ヲ免ルル為小包郵便或ハ鉄道輸送ノ方法ヲ避ケ飛脚式駄載法ニ依リツツアリ(b)旧年末ニ際シテハ反日会検査員ニ贈賄シタル支那人モ相当アリタル由(c)商品ニ貼付セラレタル登記証ヲ販売ノ際剥取りテ未検査陳列品ニ転用スル等種々対策ヲ運ラサレ居レリ

二、旧年末ノ不況ト反日会ノ活動トニ依リ最近日貨ノ当地輸入ハ殆ト皆無ノ状態ナリ

三、別ニ報告スヘキ事項ナシ

四、支那人ト商取引アル日本商人数名ニ就キ取調ヘタル処ニ依レハ現ニ売懸代金ノ回収良シカラス皆済シ得ルカ如キモノハ殆トナキ由ナリ

上海、南京、天津ヘ転電セリ

分派セル検査員ハ理不尽ニ支那商手持日貨ヲ押収スル事件随所ニ頻発シ之カ為日貨ノ取引漸次ニ屏息シ邦商ノ受クル打撃甚シキモノアリ

(ニ)紡績方面ノ出荷状態愈行詰リ製品ハ倉庫ニ堆積シ現状ノ儘ニテハ早晚運転中止ノ餘儀ナキニ至ルヤモ知レス而シテ支那絲市価益々奔騰シ本邦並ニ在支那人紡績製品トノ値開キ大トナリ為ニ幾分先物思惑商談アルモ現物取引皆無綿布出荷千四百餘俵前週ト比較シ二割四分減砂糖反日会ノ検査嚴重ナル為改装奥地向ケ止マリ今後トモ取引回復見込立タス香港糖ハ相場昂騰紙類日本品安値ナリシ為従来相当ニ荷捌アリタルモ昨今反日会ノ圧迫ニテ商品モ略同様ノ状態ニ在リ昨年二月中本邦綿絲ノ上海輸入二万四千八百七十八俵漢口向ケ三千四百六十俵計二万八千三百十八俵ノ処本年二月中上海輸入五千三百七十俵(漢口向ケナシ)前年ノ一割九分ニ過キス又一昨年十二月中ノ本邦綿布輸入高五十三万四千八百八十三反昨年十二月二十七万七千六百五反ニシテ約五割減之ニ引換ヘ英国品一昨年十二月十二万四千三百六十二反昨年十二月百万六千三百十八反約九十割ノ増加ヲ示シ当地輸入ノ消長ノ一

402 昭和4年3月5日 在上海重光総領事より
田中外務大臣宛(電報)

全国反日第二次大会における重要議案並び同
会幹部が反日会を中国国民救国会と改称との
意向について

上海 3月5日後発
本省 3月5日後着

第二三一号

前週中ノ当地排日貨状況左ノ通

既電ノ通全国反日第二次大会三月一日当地ニ開会セラレ党部及言論機関ト聯絡シテ相当氣勢ヲ挙ケツツアル処該会主要ノ工作ハ(イ)国貨提唱中国生産事業ノ発展(ロ)合作事業ノ積極提唱(ハ)政府事業ノ進行協助(ニ)救国基金ノ保存及処分(ホ)対日経済絶交ノ励行等ナルカ彼等幹部ノ空氣ハ之ヲ機會トシテ出来得レハ従来ノ反日会ノ名義ヲ中国国民救国会ト改メ名実トモニ排日貨運動ニ一転化ヲ劃シ排日貨ト国貨提唱トヲ併唱シテ組織的ニ排貨運動ヲ続ケムトノ意嚮アルヤニ認メラレ其ノ成行如何ハ注目ニ価スルモノアリ一方当地反日会ノ密偵組織ニ依ル日貨ノ糾察ハ益々深刻トナリ各方面ニ

般ヲ見ルニ足ル

(三)前報ト大差ナシ

転電先前週報ノ通

403 昭和4年3月12日 在奉天林総領事より
田中外務大臣宛

国民政府より東三省各政団に対し各地の反日
会は中華救国会或は救国分会と改称方訓令示
達について

機密公第二六四号 (3月18日接受)

昭和四年三月十二日

在奉天

総領事 林 久治郎(印)
外務大臣男爵 田中 義一殿

反日会ノ名称變更ニ関スル件

国民政府ハ東三省各政団ニ対シ全国各省ニ於テ設置ノ反日会ハ全ク日本ニ反対スヘキ名義ヲ露骨ニ表示シ居ル為メ日本政府ヨリ当政府ニ質問シ来ル場合其応酬ニ困難スルヲ以テ当對第七十二回ノ會議ニ於テ今後各地ノ反日会名義ハ之

ヲ取消シ中華救国会或ハ救国分会ト改称スヘキコトニ決議セルニ依リ右全体遵守方訓令スル旨示達シ来レル趣ナリ
右報告ス

本信写送付先 在支公使、上海、天津、漢口、青島各総領事、南京、濟南各領事

編注 ペン書で「府」と書き込み訂正あり。

404 昭和4年3月14日 在上海重光総領事より
田中外務大臣宛

全国反日会第二次代表大会に朝鮮人参加に關し報告

機密第二六六号 (3月26日接受)

昭和四年三月十四日

在上海

総領事 重光 葵〔印〕

外務大臣男爵 田中 義一殿

全国反日会第二次代表大会ニ朝鮮人出席ノ件

本月一日ヨリ七日迄当地總商会ニ於テ開催サレタル全国反

日会第二次代表大会ニ出席シタル朝鮮人ハ孫斗煥(元革命軍中校)黃勳(鮮人経営仁成小学々々監)李秀峰(当館へ爆弾ヲ投擲シタル事件ノ被疑者)ノ三名ニシテ右ノ三名ハ朝鮮民族ノ代表トシテ大会第一日ノ豫備会ニ祝文ヲ呈出シ最終日ニ「朝鮮民族ト支那ノ革命ニ関スル報告」ヲ為シタルトノ聞込アリ本件ニ関シテハ三月三日付邦字新聞「上海日々」ニ支那新聞「新聞報」ノ翻訳転載ノ別紙記事モアリ

鮮人ノ反日会ニ加盟活動シ居レルハ事実ニシテ之等鮮人ハ表面好感ヲ以テ迎ヘラレツツアルモ實際ハ支那人ヨリ重要視サレズ失望状態ニ在リトノコトナルガ反日会ノ消長ト共ニ之等鮮人ノ行動モ相当注意ヲ要スルモノト認メラレルニ付内情極力調査中ナリ右一先聞込ノ儘報告ス

本信写送付先 在支公使 廣東 南京 朝鮮總督府警務局長

(別紙)

三月三日上海日日新聞記事

氣勢揭ガラヌ反日代表大会

昨日開会式ニハ鮮人モ出席

七日マデノ議事日程

六日午前十時會務、午後二時會務
七日午前十時閉会式

405 昭和4年3月25日 在局子街田中副領事より
田中外務大臣宛

吉林全省各青年団体の排日運動決議について

機密第八七号 (4月5日接受)

昭和四年三月二十五日

在局子街

副領事 田中 作〔印〕

外務大臣男爵 田中 義一殿

吉林全省各青年団体の排日運動決議ニ関スル件

吉林全省支那各青年団體幹部數十名ハ三月十八日吉林青年俱樂部ニ集合左記各項ニ基キ積極的排日運動ヲ執ルコトヲ申合セタリト(凉水泉水分署長報告)

記

一、吉林全省青年団體ハ協力一致シ徹底的ニ日本帝國主義打倒ニ努ムルコト

全国反日会第二次代表大会ハ既報ノ如ク昨一日午前九時カラ總商会ニ於テ豫備会ヲ開キ
一、大会主席団ヲ南京、上海、山東、天津、漢口
一、大会宣言起草委員ヲ山東、漢口、留日
各代表ト定メ午後二時カラ正式大会ヲ開イタ
出席者ハ

吉林、安徽、浙江、大通、江西、留日各団體、南京、東海、重慶、漢口、黑龍江、哈爾濱、山東、天津、湖北、雲南、上海

各代表及当地各団體代表百余人^(主カ)、南京代表夏天ハ開会ノ辞ヲ述べタル後、日支兩國々交ヲ阻害スル所謂韓國臨時政府ノ世迷ヒ電報ヲ報告シ次デ全国反日会準備會代表黃世傑ハ過去ノ運動狀況ヲ報告シ鮮人出席者モ泣キ言ヲ並ベタ、最後ニ「各地一致奮起セヨ」ト云ツタ意味ノ宣言及通電ヲ可決シタガ今二日カラノ日程ハ左ノ如クデアル
二日午前十時提案審査、午後二時報告
三日午前十時報告、午後二時政治會議
四日午前十時外交會議、午後二時經濟會議
五日午前十時特種會議、午後二時會務會議

二、対日経済絶交ノ勵行ヲ期スルコト
 三、濟南事件受難者ノ復讐ニ付積極的方法ヲ以テ国民政府ヲ後援スルコト
 四、省内ニ於ケル日本側ノ施設タル教育、金融、言論機關ヲ打倒スルコト
 五、吉会線問題ニ対シ積極的の反對運動ヲ起シ自国ノ利権ヲ擁護スルコト
 六、省内ニ於ケル日本警察機關ヲ撤廃セシムルコト（本件ハ全省ニ通知シ一斉ニ運動ヲ開始スルコト）
 七、省内移住鮮人ノ帰化ヲ勧誘シ応セサルモノハ国外ニ放逐スルコト
 右御参考迄報告ス
 本信写送付先 間島、奉天、吉林各総領事

406 昭和4年3月28日 在香港村上（義通）総領事より
 田中外務大臣宛（電報）

香港においては濟南事件解決するも対日感情の好転は疑わしき状況について

一、当地ノ排日ハ濟南事件解決後何等緩和ノ色ナキノミナラス却テ稍々悪化ノ傾向アリ前週中ノ主ナル排日事項左ノ通
 (イ)北海公園内ニ打倒日本帝國主義、抵制仇貨、實行對日經濟絶交、廢除中日間一切不平等條約、勿忘濟南慘案等ノ新標語掲ケラレタル外二十九日反日会ハ和平門（順天時報社附近）ニ「打倒日本帝國主義」「實行對日經濟絶交」「看順天時報者嚴重處罰」ナル標語ヲ新ニ大書揭示セリ
 (ロ)反日会検査員ハ今尚日本人商店ノ附近ニ見張立番ヲ為シ購買客ノ身体検査ヲ為シ居レルカ二十九日一支那人購買客ハ反日会員ニ逮捕セラレ罰金五元ヲ納メサル故ヲ以テ同会内ノ木檻ニ一日間収容セラレタルカ如キ例アリ
 (ハ)二十五日北平總商会ハ反日会ニ対シ通銷証及救国基金表有効期間延期ヲ請願セリ
 ニ、三、四、変化ナシ尚右反日会ノ活動ハ我ニ有利ニ解決ハ或ハ濟南事件解決ノ為早晚活動ノ障害ニ遇フヘキヲ見越セル最後ノ活躍トモ認メラレサルニアラス將又閭閻

香港 発
 本省 3月28日前着
 第一二号
 濟南事件解決ノ報伝ハルヤ市況聊カ快復ノ氣配アリト雖英人ハ一般ニ未タ樂觀シ難シトシ支那人ハ何等カ国民政府カ内争ニ基因シ不利ノ解決ニ甘ムシタリト觀シ爾ク喜ハス漢字新聞モ撤兵最短期間ノ曖昧賠償名義ヲ去テ日本ノ責任ヲ不問ニセル等ヲ責メ憤慨的論評ヲ為シ居レリ時局柄日貨排斥運動ハ漸次終熄スル外ナルカヘキモ對国民政府反感蟠マルコトニモアリ対日感情遽ニ好転スヘキヤ疑ハシ為念
 支、上海へ転電シ廣東、汕頭へ暗送セリ

407 昭和4年4月1日 在中国堀臨時代理公使より
 田中外務大臣宛（電報）

北平に於ける濟南事件解決後の排日状況について
 北平 4月1日後発
 本省 4月1日後発
 第三一一号
 往電第二八五号ニ関シ

兩派ノ持寄り世帯タル当地地方政府ノ下ニアリテハ反日運動ハ其ノ開始カ他地方ヨリ遅レタル如ク其ノ終末モ多少延引スヘキコト豫想セラレサルニアラサルモ兎ニ角本官二日商震ニ面会嚴重交渉ノ筈
 天津、上海、南京へ転電セリ

408 昭和4年4月2日 在天津田代総領事代理より
 田中外務大臣宛（電報）

蘇交渉員に對し濟南事件解決を好機に反日運動の徹底的取締を求めたこと並びに最近の同運動の推移に關し報告

天津 4月2日後発
 本省 4月3日後着

第七一號
 往電第六八号ニ関シ

(一)三十日本官蘇交渉員ヲ往訪ノ上濟南事件解決ノ好機ヲ逸セス反日運動ノ徹底的取締ニ努力セラレタキ旨縷々説述シタルニ同交渉員ハ好ク之ヲ了解シ実ハ濟南事件解決ノ報ニ接シタルニ付昨日傳警備司令トモ排日運動取締ニ関

シ談合シタル位ニテ誠意取締ノ実ヲ挙クルコト致シタ
ク御趣旨ノ存スル処ハ崔市長、傳司令ニ伝ヘテ速ニ適当
ノ措置ヲ講スルコトトスヘシト述ヘタルカ支那側ノ取締
振リニ付テハ実況注意中ナリ

反日運動前週中ノ推移(イ)反日会ハ火災以来極度ニ恐怖シ
巡警ヲシテ同会ヲ警戒セシメ居ル外周囲ニアル数軒ノ宿
屋内ニ数名ノ武術隊員ヲ配置シ止宿人ハ勿論一切ノ出入
者ヲ取調フル等警戒ヲ厳ニスル一方反日会員ノ租界入り
ニ対シ注意ヲ与ヘ居レリト云フ

(ロ)租界ヨリ支那町ヘノ日貨密運支那人最近増加シ中ニハ
之ヲ商業トナスモノアリ腰ニ巻キ付ケ又ハ人力車ノ腰掛
内ニ忍ハセ持チ行ク由ナルカ反日会ニテモ極力之カ検挙
ニ努メ居レリト云フ

(ハ)二十八日反日会ハ米其ノ他食料品ノ租界搬入並邦人ニ
対スル食料品販売ヲ禁止スルコトヲ決議セル趣ナルカ三
十日支那町一米商カ米十四俵ヲ日界ニ運搬中ノ処ヲ検挙
サレタリ

(ニ)⁽²⁾三十一日警備司令部ニテハ反日会幹部ヲ招致シ濟南事件
解決シタルニ付此ノ際反日会ハ当然消滅スヘキモノニ非

(三)邦商持麦粉滞貨十四万袋見当其ノ他大差ヲ見ス
四変化殆トナシ

北平、奉天、青島、上海、漢口、廣東ヘ転電セリ

409 昭和4年4月3日 在中国堀臨時代理公使より
田中外務大臣宛(電報)

外交部より河北省政府に対し反日取締命令乃
至濟南事件解決の趣旨至急電報方芳澤公使ヘ
依頼について

北平 4月3日後発
本省 4月3日後着

第三一五号

本官発上海宛電報

第四一號

芳澤公使ヘ

大臣宛電報第三一四号報告ノ通商震ニ於テハ中央ヨリノ公
電ヲ俟チ居ル次第ニ付外交部ヨリ河北省政府向ケ出来得ヘ
クハ反日取締ノ命令又右不可能ナラハ単ニ濟案解決ノ趣旨
ノ電報至急發出方御交渉相煩シ度シ尚商震ハ中央党部ヨリ

スヤト問ヘルニ対シ幹部ハ同会カ未タ全国反日会ヨリ何
等訓令ニ接シ居ラサルヲ以テ従来ノ通工作ヲ続クル考ナ
リト答ヘタル趣ナリ

(イ)反日会ハ新ニ検査員ヲ百名募集セル趣ナルカ(旧員約
八十名)右ハ一箇月ヲ訓練期間トシ五月一日ヨリ全市大
検査ヲ開始シ日貨肅清ノ豫定ナリト云フ

(ロ)最近唐山ノ反日会横暴ヲ極メツツアリテ同地ノ邦人ニ
飲用水食料品ノ供給ヲ禁シ又当地邦商カ陶器ヲ昌黎ニ送
リ荷スル途次唐山反日検査員カ之ヲ検査抑留シ又当地鶏
卵商カ唐山方面ヨリ三聯単ニテ買付ケタル鶏卵ヲ当地ヘ
輸送スルニ際シ唐山検査員カ没収シ競売ニ附シタル事実
アリ右ニ対シテハ当館ニ於テ嚴重交渉中ナリ

(ニ)当地市況ハ濟南事件解決ニ依ル上海ノ排日緩和ハ充分
商取引擡頭ヲ氣構ヘ綿絲布カ現物以外一箇月位ノ先物ノ
契約小量乍ラ弗々出始メタル以外一般的ニ従前ト變ナシ
(ロ)前週中日本人ノ輸入約六万袋出個数約六万八千袋ニ過
キス

麦粉ノ華界搬入ハ期限到来シ四月一日ヨリ荷動キ全然ナ
ク支那麦粉商ハ目下重ネテ本月末迄延期方運動中ナリ

地方党部ヘノ訓令ハ当地党部特殊ノ事情ニ鑑ミ其ノ実効少
ク寧ロ中央政府ヨリ地方政府宛問題解決ノ一片ノ公電ヲ受
クル方効果多シトノ意見ナリ右申添フ
大臣、天津及南京ヘ転電セリ

410 昭和4年4月3日 在上海重光総領事より
田中外務大臣宛(電報)

王外交部長に対し排日阻止に充分有効なる手
段を講ずる様申し入れその結果回電ありたい
との芳澤公使より重光総領事宛電報

上海 4月3日後発
本省 4月4日前着

第四二三号

本官発南京宛電報第四四二号

芳澤公使ヨリ

一日午後王部長ト会見ノ際本使ヨリ排日禁止ニ関スル密令
ハ既ニ中央党部ヨリ発令シタルヤト質シタルニ同部長ハ婦
寧ノ上ハ確答シ得ヘシト答ヘタル次第ハ上海発大臣宛往電
第四一七号ニ依リ御承知ノ通ナル処其ノ後王部長ヨリ何等

ノ通知ナキノミナラス各方面ヨリノ情報ニ依レハ各地方ノ排日貨ハ依然継続セラレ居リ該密令ヲ発シタルカ如キ模様モ見ヘサル次第ナリ然ルニ濟南事件解決ノ根本目的ハ從來兩國間ニ存在セル不快ノ感情ヲ一掃スルニアリ從テ我方ニ於テハ右根本方針ニ立脚シ国民政府行政機関ノ引入レ撤兵ノ準備等ニ付所有誠意ヲ披瀝シ右趣旨ニ基キ着々努力シ居ルニ拘ハラズ支那側ニ於テハ未タ排日阻止若ハ反日会解散等ノ手段ヲ執ラサルノミナラス未タ中央党部ヨリノ密令サヘモ発令セサルカ如キハ濟南事件解決ノ目的方針ヲ没却シタルモノト言ハサルヘカラス就テハ貴官ハ王部長ニ会見セラレ本使ノ伝言トシテ右ノ趣旨篤ト説明ノ上速ニ会議録所定ノ密令ヲ発シタリヤ否ヤ若シ未タ発令セストノコトナラハ如何ナル手続中ナリヤ督促ノ意味ニテ確メラルルト共ニ王部長ニ於テモ排日阻止ニ付充分有効ナル手段ヲ講シ兩國間ニ蟠ル不快ノ感情ヲ一掃スル為我方ト飽迄協力アリタキ旨然ルヘク申入レ結果回電アリタシ

大臣、北平、濟南、青島、奉天へ転電セリ

南京 4月4日後発
本省 4月5日前着

第三四六号

本官発上海宛電報第三一〇号

貴電第四四二号ニ関シ

芳澤公使へ

右貴電本四日朝接到直ニ王部長ニ面会御訓令ノ次第篤ト申入レタル処王ハ中央党部ヨリノ密令ハ既ニ一昨二日発令セラレタルカ更ニ国民政府ヨリモ同様発令スル筈ニシテ又鐵道部長ヨリハ膠濟鐵路局ニ対シ交通ノ確保、債務償却等ニ関シ既ニ訓令ヲ発シ右訓令ノ写ヲ自分ノ手元ニ送付シ越シタリ依テ次回芳澤公使ニ面会ノ節ハ右写ハ勿論中央党部ノ命令等ヲモ御渡しシ尚口頭ヲ以テ委細御話スル積ナリト答ヘタリ依テ本官ハ既ニ中央党部ヨリ發令セル以上各地ノ反日運動ハ直ニ終熄スヘキ筈ナル処事實ハ之ニ反シ依然トシテ継続セラレ現ニ中央ノ膝元タル当地ニ於テスラ反日会ハ公然日貨ノ没収其ノ他排日の行動ヲ決議セリトテ往電第三四二号及往電第三四四号ノ事實ヲ指摘シ斯ノ如キ状態ニテハ中央ノ命令モ果シテ全国ニ徹底シ得ルヤ否ヤ疑ハサル

411 昭和4年4月(4)日 在南京岡本領事より
田中外務大臣宛(電報)

濟南事件解決後の日貨排斥緩和の傾向について

南京 発

本省 4月4日前着

第三四二号

濟南事件解決後当地ニ於ケル日貨排斥ハ幾分緩和セラレタル傾向アリ邦商トノ取引多少増加セル外首都反日会ハ昨二日ノ会議ニ於テ総商会ノ要求ニ基キ往電第二七六号末段ノ日本石炭輸入ニ対スル五三公学基金ノ徴収及輸入期限ノ禁止ヲ決議セリ

北平、上海へ転電セリ

412 昭和4年4月4日 在南京岡本領事より
田中外務大臣宛(電報)

王外交部長に対し反日運動取締命令の不徹底を指摘並びに青島接收員問題につき意見交換したとの芳澤公使宛電報

ヲ得スト述ヘタル処王ハ今回ノ排日運動ハ御承知ノ如ク全国ニ瀰漫シ居リ何千ト云フ多数ノ関係者ヲ有シ諸般ノ複雑ナル事情モアリ今中央ノ命令アレハトテ其ノ日ヨリ反日運動ヲ絶對終熄セシムルコトハ事實上困難ナルヲ以テ公使ニ於カレテモ今暫ク我慢セラレタク自分ハ此ノ際兩國間ニ蟠ル悪感情ヲ一掃スルコトニ全力ヲ尽スヘキハ勿論ノ事ナリト弁疏セルヲ以テ本官ハ我方ニ於テハ貴国政府ノ命令一下直ニ斯ノ如キ不合理ナル運動ハ終熄スルモノト期待シ居リタル旨ヲ述ヘルト共ニ重テ其ノ迅速ナル取締方ヲ申入レ置キタリ

尚王ハ其ノ際今週末ニハ已ムヲ得サル要件アリテ上海ニ赴クコト能ハサルカ来週末ニハ必ス赴滬スヘキ旨並ニ濟南引継ヲ出来得ル限り「スムース」ニ取運フ為唐悅良ヲ今週末濟南ニ出張セシムル事トナリ居ル旨語リ次テ往電第二九六号(本官發濟南宛電報第二号)陳中孚ノ事ニ言及シ過般モ御話シタル通陳ハ嘗テ青島接收員ニ任命セラレタル事アルハ事實ナルモ自分ハ全然与リ知ラス抑々今回ノ山東出兵ハ日独戦争ノ場合ト異ナリ日本軍ハ軍政ヲ布キタル訳ニ非ス從テ接收員ナルモノハ有リ得ヘカラサルナリ

尤モ陳ニ関シ追テ国民政府ヨリ何等申出ツル事アルヤモ知レサルカ少クトモ引継委員ノ関スル限り自分ヨリ申出ツル迄ハ既定ノ委員以外ニハ何物モ存セサル事ト御承知アリタシト附言セリ

尚江華本ハ最近蔡公時ノ未亡人ヨリ蔡ト同時ニ遭難セルモノノ遺族ト連名ヲ以テ彼等ノ苦境ヲ訴ヘ此ノ際至急日本側ヨリ救恤金ヲ支給スル様交渉アリタキ旨申出タル事並ニ濟南事件解決後各地反日会ヨリ右解決ニ関シ反対ナル旨外交部ニ電報シ越セルモノ鮮カラサル旨語レリ

大臣、北平、奉天、青島、濟南へ転電セリ

413 昭和4年4月4日

在上海横竹(平太郎)商務参事官より
田中外務大臣宛(電報)

上海港の対外貿易並び排日貨運動状況について

上海 4月4日後発

本省 4月5日前着

商第一二号

(一)三月中上海港対外貿易推定額輸入一千九百万両輸出三千四百万両二月ニ較へ輸出五四「パーセント」方増進シ順

続キ買氣ヲ洩ラセルモ通関業者ノ邦貨取扱再開セラレス
排貨検査員依然監視ノ手ヲ緩メサル為荷捌ケ阻礙去ラス
実需筋見送ノ態ニアリ

(二)長江上流時局ニ湖北四川筋ノ商内全ク停頓セルモ戦争ハ南京側有利ノ報ニ一般ニ寧ロ樂觀見越ナルカ如ク又北支那方面金融混乱ノ報アルモ当地在銀ハ一億六千万兩ト大豊富ニテ蘡資金手当弗々始リ弗相場七十二兩七十五見當ト引締リ乍ラモ金融極メテ緩漫ヲ示シ金塊並為替市場ハ排貨終熄拂々シカラサル為伸ヒ悩ノ姿ニアリ要スルニ排貨運動幾分好転ハ時局悪化ニ相殺セラレタル有様ニテ市場全体トシテハ未タ左シテ好況ヲ呈スルナシ

414 昭和4年4月(6)日

在漢口桑島総領事より
田中外務大臣宛(電報)

漢口の排日運動は漢寧情勢急転のため一時活動停止の状態となり日本租界包囲の糾察隊も退散について

漢口 発

本省 4月6日後着

調ヲ示セルモ輸入五「パーセント」減少之ヲ昨年同月ニ較フルニ輸出五「パーセント」ノ減少ニ対シ輸入ハ実ニ六十三「パーセント」ノ激減トナツテ居ル三月中輸入カ二千万兩ヲ割リ二月ニ引続キ出超状態ヲ維持セルコトハ稀有ノコトニシテ一月ノ輸入八千三百万兩ヨリ二月二千万三月一千九百万ノ減退振ト共ニ注意スヘキ現象テアル其ノ他北支那並滿洲方面ニ於テモ輸出入トモ引続キ不振ニテ特ニ輸入ニ於テ相当目立テ居ルモノアルカ漢口ハ昨年ニ較へ輸出入共三分ノ一以下ニ落込ミ居リ時局ノ打撃顯著ナルヲ物語テ居ル

(二)排貨運動ハ日支交渉成立以來漸次緩和ニ向フ情勢ニアルコト勿論乍ラ何分久シキニ亘リ各地反日団全ク職業化セラレ且纏リタル資金ヲ擁シ居ル關係上反日団解散ニ伴フ跡始末ニハ部内ニ於テ頭ヲ悩マセルモノアリ國貨提唱ノ名義ニ改メ一時ヲ瀾縫セムトスル等種々取沙汰セラレ居リ市中商談ハ交渉解決以來現在迄可成リ行ハレ目星シキモノトシテ砂糖先物十三万俵価額約百五十万円生地加工綿布類一万梱三百五十万円当地紡績製品細布「ジーンズ」等綿布一万梱約三百万円等アリ奥地品掠レノ際後引

第二六一号

当地排日運動ハ往電第二四四号ノ通漢寧時局切迫ニ連レ其ノ氣勢衰ヘツツアリシ処昨四日以来右時局急転ノ為従来最モ中央ニ反対ノ態度ヲ執リシ漢口特別市党部及省党部幹部ノ大多数ハ夫々四散シ為ニ一時活動ヲ停止スルニ至レリ又同部ノ操縦セル反日会及罷工委員本部モ殆ト同様状態トナリ日本租界ヲ包囲シ居タル糾察隊ノ如キモ昨四日夜来退散シ又従来当地党部及軍憲ノ機関紙ニシテ最モ排日ヲ煽動シ居タル中山日報及民國日報モ南京側ニ引継ヲ行ヒ各幹部ハ更迭セルヲ以テ排日運動ハ今後上海南京方面ノ空氣ニ支配セラレ終熄ニ向フモノト思ハルモ本日ノ民國日報ノ如キハ依然排日記事ヲ掲載シ居ルヲ以テ時局一段落ノ後排日再燃ノ虞ナキヲ保セス本官ハ今後ノ成行ヲ注意シ場合ニ依リテハ蔣介石又ハ適當ノ代表的官憲ニ対シ交渉スル心組ナリ為念

支、上海、南京、九江、長沙、廣東、天津、青島、濟南へ転電セリ

415 昭和4年4月8日 在暹羅国矢田部(保)公使より
田中外務大臣宛

暹羅国における華商の排日貨状況調査報告

公第二九号 (5月1日接受)

昭和四年四月八日

在暹羅

特命全權公使 矢田部 保〔印〕

外務大臣男爵 田中 義一殿

暹羅國ニ於ケル華商ノ排日貨状況査報ノ件

暹羅國ニ於ケル華商ノ排日貨運動ニ関シテハ客年末期迄ノ状態ニ付テハ既ニ客年十二月七日附公第一〇五号ヲ以テ報告申進メタル処ナルカ年末ニ近ツクニ從ヒ支那商側ニ於テモ半歳餘ニ亘ル排日ノ為メ可ナリノ疲弊ト倦怠トヲ感シ且当国官憲ノ暴力団ニ対スル嚴重ナル取締等相俟テ日貨抵制ハ大分弛緩ノ氣味アリテ彼等ハ或ハ人ヲ介シ或ハ自ラ(福カ)蔭密ナル取引ヲ当地邦商トノ間ニ開始スルモノ弗々アリ爾來斯ノ如キ状態ヲ繼續シテ本年二月ニ入り同月十三日大坂商船会社ノ江蘇丸ハ七三五噸ノ雜貨ヲ積載シテ入港シ來リ何等ノ障害ナク荷揚シ且暹米及木材併セテ三、五〇〇噸ヲ

積シテ同十八日出港セリ、其後三月十八日將ニ三井物産船舶部ノ葛城山丸ノ当地入港ノ前日当地三井物産ノ仲買人タル有数ノ支那商陳魯生ナルモノ白昼何者ニカ殺害セラレタル事件アリ右ハ排日ニ関聯スル暴力団ノ行為ナリト噂セラレ為メニ一時好転ヲ示シタル日貨抵制モ或ハ再ヒ逆転スルニアラサルヤヲ疑懼セシメタルカ翌日入港シタル該三井船舶ハ蔭密ナル注意ハ之ヲ施シタルモ殆ント何等ノ障害ナク荷揚、荷積ヲ了シタリ其ノ際該船ハ雜貨千百噸以上ヲ輸入シ碎米等三、四〇〇噸ヲ積込ミタリ越ヘテ更ニ三月二十五日及三月二十六日ニハ山下汽船会社ノ備船主基丸及立石丸夫々入港シ來リ前者ハ屑鉄一、五〇〇噸及暹米三、〇〇〇噸ヲ積ミテ同月二十九日出港シ後者ハ暹米及木材等五、六〇〇噸ヲ積載シテ月末出港セリ」是等ノ事例ヲ見ルニ当地ニ於ケル日貨抵制ハ一方ニ於テ華商ノ倦怠、疲弊、官憲ノ取締ト他方日支間ニ於ケル濟南事件交渉ノ進捗ノ報道ト共ニ大分改善セラレ殊ニ波止場人足ニ至リテハ殆ント通常ノ如ク就業シ居リ華商ハ続々輸入セラル、邦貨ヲ成ル可ク目立タサル方法ニテ邦商ヨリ買取り居ルカ唯支那商カ未タ公然ト本邦ニ対シテ注文ヲ發セサル所以ハ未タ濟南事件ノ解

決ヲ見サル間ハ幾分他ノ支那商及暴力団等ニ氣兼スル結果カト思考セララル

三月末濟南事件解決、調印ノ報ハ当地支那新聞等ニモ掲載セラレタルモ抵制ニ関聯スル何等ノ記事論說等ヲ掲載スルモノナシ昨年来ノ久シキニ亘ル排日ノ情性ハ根本事件ノ解決アルモ急激ニ回復セサルモノナルヤヲ疑ハシム、サレト前述ノ如ク抵制力次第ニ改善ニ向ヒ來リタル状況アル上ニ更ニ根本的問題ノ解決ヲ告ケタル今日ナレハ遠カラス完全ナル恢復ヲ見ルヘキモノト想像セラル、モ濟南事件解決ニ関聯シテ南洋地方排日禁止条項明確ナラスシテ現ニ華商中一方ニハ濟南事件解決ト共ニ直ニ公然取引ヲ開始シ得ヘシトスルモノアルト同時ニ他方ニハ仮令該事件解決スルモ本國ヨリ右ニ関シ何等來示ヲ得サルヲ理由トシテ尚ホ暹米売渡ヲ肯ゼザル米商モ少カラス一般取引ノ回復ニハ尚ホ相當ノ時日ヲ要スヘシト思惟セラル

左ニ客年十一月ヨリ本年一月ニ至ル三ヶ月間ノ新嘉坡、香港、本邦、独逸ノ四ヶ國ヨリノ輸入額ヲ示ス

月別	新嘉坡	香港	日本	獨逸	計(鉄)
十一月	一、九〇、三〇〇	二、三二、一八九	三、三三、〇〇〇	七、四六、六〇〇	五、二八、一七三
十二月	一、七五、九六六	一、七七、六三三	一、〇一、八六五	八、五二、七六七	四、四四、三八九
本年	二、一、一〇、三〇〇	二、一、四、〇〇〇	三、三、五九九	八、三、九六〇	五、七六、九二三
一月					

(編注)

編注 「発信ニハ削除」として左記項目がペン書にて加筆されていた。

※香港ヨリノ輸入額中邦品ハ(イ)盤对本邦輸入額同額

又ハ一倍半説(ロ)全輸入額ノ七割説アリ

×新嘉坡ヨリ輸入額中邦品ハ全輸入額ノ二割説アリ

故ニ単ニ対日本輸入額ノミヲ以テ消長ヲ論斷スルコトヲ得ス

~~~~~

416 昭和4年4月9日 在上海重光総領事より  
田中外務大臣宛(電報)

上海特別市反日会が同会終焉の宣言を通告並び上海特別市国民救国会が第一次執行委員会を開催について

上海 4月9日後発  
本省 4月9日後着

第四六二号

往電第四三六号二関シ

(一)当地反日会ハ八日商工業各団体ニ対シ左ノ通反日会終焉ノ宣言ヲ通告セリ

本会ハ曩ニ上海特別市党部執行委員会ノ指令ニ依リ上海特別市国民救市事務ヲ引継キタルニ付テハ一切ノ未了事務ヲ凡テ右国民救国会ニ於テ弁理スヘク爾後上海特別市反日会ノ名義ヲ用ヒテ活動シ又ハ紛擾ヲ醸シタルモノハ最寄軍警ニ引渡シ処分セシム

(二)上海特別市國民救國會ハ七日市商民協會ニ於テ陳德徵主宰ノ下ニ第一次執行委員會ヲ開キ

(イ)救国会組織條例ノ件

(ロ)役員指名ノ件(首席陳德徵副主席王廷松<sup>(延)</sup>其ノ他各科主任及秘書等推挙ス)

(ハ)宣言發表ノ件

(ニ)本会成立ノ經過広告並ニ反日会ノ徽章、印章等ヲ無効ニスル件

夫レ吾人カ不平等条約ノ束縛ヲ解脱セントセハ眼前ノ敵人日帝主義者ヲ打倒スルニ在リ

即チ救国ハ反日、反日ハ救国ノ所以ナルカ故ニ一切ヲ犠牲トシテ帝國主義者ト戦ヒ一切ノ不平等条約廢除ヲ促成シテ國際地位ノ平等民族ノ自由解放ヲ図リ内国民ノ生産事業ヲ鼓勵シ國貨ヲ提唱シテ國民ノ經濟ヲ充實セシメサルヘカラス之カ為ニハ日貨ヲ運商スル奸商ハ嚴重制裁スルノ要アリ各界ノ人士天下興亡匹夫有責ノ義ニ基キ一致努力シテ仇貨ヲ排斥シ倍旧ノ奮闘ヲ繼續セラレムコトヲ希フ

(三)右二通ノ宣言ハ九日当地ノ各支那紙ニ掲載セラレ支那商一般ハ之救国会カ反日会ニ代リテ從來ノ反日工作ヲ繼續スルニ非サトノ不安ヲ懷キ折角昨八日返販途ヲ樂觀シテ夫々日貨ノ取扱ヲ開始シタルモノ迄モ今朝来日貨ノ取引ヲ躊躇シテ成行觀望ノ姿勢ニ逆転シ日支人間ニ非常ナル「センセイション」ヲ起シ居レリ惟フニ当地反日会ノ解散ニ付テハ反日会内部ニ於テ幹部ノ処置ニ不滿ヲ懷キテ相当反抗の氣勢ヲ示居リ且南京發閣下宛往電第三五六号ノ如キ空氣目下濃厚ナルニ鑑ミ陳德徵、王廷松等ノ幹部連ハ此ノ過渡期ニ於ケル一時ノ政策トシテ反日工作繼續ノ意向ヲ仄カ

(ホ)各地救国会ニ今後繼續シテ充分活動方通告ノ件  
(ハ)本会ノ委員就職經過及組織條例等市党部ニ備案ノ件  
(ロ)陳德徵以下九名ノ競売委員ヲ指名シ競売委員會條例(反日会ノ押収日貨競売ニ関スル條例)制定ノ件等ヲ討議決定セリ宣言ノ要旨左ノ通

日支交渉稍端緒ヲ開キ反日会ハ國民救国会ト改組セラレタル処忠実ノ同志ハ過去ニ於ケル排日運動ノ効果ヲ滅却セサルヤトノ疑惑ヲ抱クモノ無キヲ保セス然レ共吾人カ國恥一覽表ヲ一瞥スレハ甲午ノ役ヨリ引続キテ發生シタル案件殊ニ五九、五三〇、五三三等ノ重大事件ハ之日本帝國主義カ永久忘レ難キ創痕ヲ吾人ニ与ヘタルモノニシテ其ノ悲痛憤恨實ニ窮無キモノナリ何ヲ以テカ日本ト妥協スルコトヲ得ンヤ況ンヤ濟南事件ハ日支懸案ノ一ニ過キスシテ其ノ解決モ人意ニ滿タサルモノアリ近來日本帝國主義者ハ積極的ニ滿蒙ヲ侵略シ兵艦ヲ長江一帶ニ布置シ我主權ヲ蔑視シ國體ヲ侮辱スルコト甚ダシ吾人カ茲ニ濟案解決ヲ以テ直ニ軟化セシカ五分間ノ熱度ニ陥ルニ非サヤ今回吾人ノ名称變更ハ策略ニ過キスシテ絶対ニ軟化或ハ妥合ニ非サルヲ以テ忠実ノ同志懷疑スル事勿レ極惡ノ奸商暗ニ喜悅スルノ要無シ若シ

シタルニ過キサルモノカト認メラルルカ兎ニ角交渉署ニ対シ其ノ不都合ニ付嚴重抗議セシメ置ケリ  
北平、漢口、南京ヘ転電セリ

417 昭和4年4月(11)日 在漢口桑島總領事より  
田中外務大臣宛(電報)

対日罷工運動勃発以來上海より増遣の陸戦隊の帰還並び上海その他より増派の軍艦移動および漢口の反日運動終息の実状について

漢口 発

本省 4月11日後着

第二八五号

反日運動近況左ノ通

一、海軍側入港ニ依リ対日状況改善セルヲ機トシ此ノ際水案解決ヲ希望シ本官ニ於テモ一昨八日李交渉員来訪ノ節同伴ノ交渉ヲ進メ度キ意嚮ヲ仄メカシ置キタル処何分同員ハ新任早々多忙ニテ各國領事ノ答訪サヘ受クル餘裕ナキ状態ニテ海軍ハ右解決ヲ俟タス形勢一段落ノ此ノ際不取敢罷工勃発以來上海ヨリ増遣シ來レル陸戦隊ハ帰還セ

シメ上海及他地ヨリ増派ノ軍艦ハ他ニ移転セシム十一日  
何レモ決行ノ筈又司令官ハ本月十七日一応上海ニ引揚ク  
ル豫定ナリ

二、先般来宜昌方面ノ反日運動ハ相当峻烈ナル報告アリ更  
ニ本十日浦川領事代理発本官宛電報第二六号ノ次第モア  
ルニ付此ノ際当地交渉員ニ対シ之カ取締方懇談ノ心組ナ  
ルモ前頭ノ実状ニテ交渉員トノ会見困難ト認メ不取敢田  
中ヲシテ同署員ニ会見詳細説明ノ上至急之カ取締措置方  
交渉員ニ伝達ヲ求メ置カシメタリ(委細公信)

三、累次電報ノ如ク目下当地反日運動ハ終熄ノ実情ナル処  
昨日来当地支那新聞ニ漢口特別市反日會中央接管委員會  
ノ名ヲ以テ「従前ノ当地反日會ニハ附逆分子アリ且國民  
革命ノ趣旨ニ反セルヲ以テ中央委員ヨリ接管委員ヲ委任  
シ来リ本月八日ヨリ漸次右委員會ノ名ヲ以テ続行シ反日  
工作ハ旧ニ照シテ進行ス」云々ノ公告ヲ為シ其ノ目的ハ  
從來ノ反日會ノ収支計算等ノ後始末ヲ為シ其ノ末路ヲ有  
耶無耶ナラシメサルニアルカ如キモ一般支那商人ハ右ニ  
依リ反日會ノ暴行再現ヲ危懼シ一時好転セル対日取引ヲ  
手扣ヘセルノ模様アルモ時日ノ經過ト共ニ恢復セラルル

ノ密令ヲ發セシムルコトナリタルカ更ニ國民政府ヨリモ  
熊衛戌司令ニ対シ同様密令ヲ發スルコトナレリト述ヘ但  
シ此ノ事ハ新聞等ニモ出ササル様秘密ニ顧度シト附言シタ  
ルニ付本官ハ其ノ配慮ヲ謝スルト共ニ尚昨日御話アリタル  
福州当局ヘ其ノ命令ハ既ニ手配済ミナリヤ尋ネタルニ王ハ  
今朝譚延闓ニ至急發令方申出テ置タリト答ヘタリ  
外務大臣、北平、福州ヘ転電セリ

419 昭和4年4月12日 在上海重光總領事より  
田中外務大臣宛(電報)

救国会の排日運動中止並びに其の趣旨を一般  
に周知させる様蔣總司令に伝達方芳澤公使よ  
り依頼について

第四八四号

本官發漢口宛電報第二三三号

芳澤公使ヨリ

至急蔣司令ニ左ノ通伝達方取計ハレタシ

上海 4月12日後發  
本省 4月13日前着

モノト認メラル  
支、上海、南京、天津ヘ転電セリ

418 昭和4年4月11日 在南京岡本領事より  
田中外務大臣宛(電報)

王外交部長の上海反日會の排日運動制止方に  
関し中央党部より上海市党部に密令発出との  
言明につき堀内参事官より芳澤公使宛報告

南京 4月11日後發  
本省 4月12日前着

第三七二号  
本官發上海宛電報

第三三三号

貴電第三三〇号ニ関シ

堀内ヨリ芳澤公使ヘ

十一日王部長ト会見ノ際王ハ今朝ノ新聞ニ依リ上海反日會  
ニテハ救国会ト改名シタルニ拘ラス依然トシテ反日運動ヲ  
継続スヘキ旨ノ声明ヲナシ居ルコトヲ承知シタルニ付本日  
午前ノ中央党部常務會議ニ諮リ早速上海支党部ニ排日制止

今回ノ時局ニ対スル貴總司令ノ迅速ナル措置ニ依リ中央政  
府ノ基礎ヲ一層鞏固ナラシメタル多大ノ御成功ニ対シ祝意  
ヲ表スルト同時ニ排日運動ニ関シ茲ニ貴總司令ノ御配慮ヲ  
煩ハシタク即チ御承知ノ通濟南事件解決ト同時ニ全国ニ於  
ケル排日運動ハ終熄スヘキ筈ニテ本使ハ勿論日本政府及在  
支一般商民モ亦之ヲ期待シ居タル処上海ニ於ケル反日會ハ  
数日前其ノ名称ヲ國民救国会ト改メタルモ反日ハ依然トシ  
テ続行スルコトヲ宣言シ凡ユル迫害ヲ加ヘ其ノ行動再ヒ活  
潑トナリタル結果排日運動ハ従前ヨリモ寧ロ峻烈ナルヤノ  
感アリ此ノ事態ニ直面スル日本官民トシテハ非常ナル失望  
ト憤慨ヲ禁セサルヲ得ス右ニ付数日来当地ニ於ケル中国官  
憲及南京ニ於ケル外交部長等ニ直接間接交渉シツツアルモ  
未タ効果ヲ見サル処仄聞スル処ニ依レハ一旦其ノ態度ヲ緩  
和シタル地方党部ニ於テモ上海ニ於ケル排日運動ノ形勢ヲ  
觀望シツツアル趣ニテ差当リ上海救国会ノ妄動ヲ取締ル事  
最モ必要ト認メラルルニ付テハ此ノ際貴總司令ニ於テ至急  
適當ノ向ニ御命令ノ上斯ノ如ク不法ナル行動ヲ直ニ中止セ  
シムルト共ニ其ノ旨一般ニ周知セシムル様何等カノ方法ヲ  
執ラルル様特ニ御配慮ヲ煩ハシタシ

大臣、北平、南京へ転電セリ

420 昭和4年4月13日 在漢口桑島総領事より  
田中外務大臣宛(電報)

蔣介石に接見し反日運動取締り方申入れたところ  
蔣は速に中央政府に電命する旨回答について

漢口 4月13日後発  
本省 4月14日前着

第三〇一号

往電第二七四号(回)ニ関シ

本官田中及原田ヲ帶同本十三日午後四時蔣介石ヲ訪問セル  
処蔣ハ一般接見時間ナルニ他ノ訪問客ヲ絶チ一時間近ク快  
ク会见セリ本官ハ一応中央政府力濟案初メ日支諸懸案ノ解  
決ニ努力ノ結果兩國關係ハ着々好転ニ向ヒツツアルハ日本  
朝野ノ等シク喜ヒ居ル処ニシテ更ニ当地方ニ於テモ蔣來着  
以來日支關係ハ特ニ改善セラレ最近迄不愉快ノ因トナレル  
反日会乃至対日罷工会ハ全ク其ノ活動ヲ停止シ在留邦人モ  
漸ク其ノ業ニ安スルノ氣運ヲ迎ヘ得タルヲ欣佩シ居ル旨  
ヲ述ヘ尚此ノ機会ニ在上海芳澤公使ヨリノ訓令トシテ在上

第五〇〇号

芳澤公使ヨリ

往電第四九七号撤兵延期ニ関スル王部長ノ申出ノ機ヲ捉ヘ  
排日問題ニ関シ談シ込ムコト適當ト思考シ重光ハ右応答ニ  
引續キ此ノ機会ニ於テ自分ハ日本側ノ立場ヲ申上ケタシト  
テ日本軍ノ山東撤去ハ支那人民ノ切ナル希望ニシテ支那側  
ヨリ見レハ濟南問題ノ解決ハ日本軍ノ撤去ヲ意味シ排日運  
動モ実ハ撤兵ヲ目標トシ居ル位ナリ然ルニ若シ日本側ニテ  
支那側ノ希望ヲ容ルルトセハ支那側ノ希望ニ基キ撤兵ヲ延  
期シツツ之カ為他方ニハ排日運動ニ更ニ油ヲ注ク結果トナ  
ルコトアリ得ヘク余リニ奇ナル現象ナルニ驚カサルヘシ  
現ニ濟南問題解決後ノ排日状況ヲ見ルニ支那側度々ノ約言  
アルニ拘ラス一向豫期ノ如ク終熄セサルノミナラス益々悪  
化スル様認メラル是カ為ニ当地日本商人ノ激昂一方ナラス  
種々ノ硬論モ擡頭シ居ル次第ナリト述ヘタル処王部長ハ最  
近救国会ノ活動ノ様子ニ付自ラ説明シ此等ノ運動ハ是非之  
ヲ終熄セシメサルヘカラス此ニ付テハ自分等ハ確乎タル決  
心ヲ有ス実ハ内密ニ御洩シスル次第ナルカ昨十二日南京中  
央党部ニ於テ協議ノ結果各地方党部ニ命令ヲ発シ反日会等

海総領事発本官宛第二三三号電報ノ趣旨ヲ傳達セル処蔣ハ兩  
國ノ關係ハ兩國々民ノ善良ナル諒解ニ依リ改善セラルルモ  
ノニテ之ヲ高圧的ニ処置セントスルモ効果少ナク支那側ニ  
於テモ極力右諒解速成ニ努力シ円満ナル關係ニ復帰セシム  
ヘキニ付安心セラレタシ尤モ折角ノ申出モアリ特ニ中央政  
府筋ニ対シ速ニ反日運動取締方電命スヘシト答ヘタルヲ以  
テ右芳澤公使訓令ノ趣旨ハ本官ヨリ為念改メテ書面ヲ以テ  
申入ルヘキ旨ヲ述ヘ置ケリ  
尚本会见ニ際シ蔣ハ特ニ昨十二日來着ノ殷汝耕ヲ同席セシ  
メタリ  
北平、上海、南京へ転電セリ

421 昭和4年4月15日 在上海重光総領事より  
田中外務大臣宛(電報)

王外交部長の山東撤兵延期申出を機会に排日  
貨運動終息方を求めた重光・王会談に関する  
芳澤公使報告

上海 發  
本省 4月15日後着

ノ如ク

特定ノ國ヲ名指シテ排斥スルコトヲ禁スルト共ニ(但シ帝  
国主義反對又ハ共產主義反對ハ致シ方ナシト言ヘルニ付重  
光ハ反帝國主義ノ名ノ下ニ日本排斥ヲヤルカモ知レサルニ  
アラスヤト言ヒタルニ王部長ハ其ノ場合ハ之ヲ取締リ得ヘ  
シト答ヘタリ)如何ナル「オリヂン」ノ貨物ニセヨ之ヲ差  
押ヘルコト及之カ運搬ヲ妨害スルコト次ニ之ヲ売却(買取  
ルコトニ言及スルコトハ態ト避ケタリ)スルコトヲ禁スル  
命令ヲ發シタリ就テハ一週間以内ニハ右命令徹底ニ効果ヲ  
齎スヘシト述ヘタルニ付重光ハ然ラハ運搬売却ニ付テ妨害  
ヲ受ケタル場合ハ直ニ之ヲ支那官憲ニ訴ヘ出テ充分ナル保  
護ヲ受ケ得ル次第ナリヤト問ヒタルニ然リト答ヘタリ重光  
ハ更ニ右ノ如キコトハ何等ノ方法ニ依リ一般ニ周知セシム  
ルノ方法ヲ執ラサレハ効力薄キニ付右ノ手段ヲ執ラレタシ  
ト述ヘタル処王部長ハ之ヲ公安局ニ命令スヘシト言ヘリ尚  
重光ハ從來差押ヘタル荷物ハ十二件ニ亘リ未解決ノ儘今日  
ニ及ヒ居リ此等ニ対スル官憲ノ処置不満足ナリト述ヘタル  
ニ王部長ハ事情ハ充分承知ス何レニシテモ満足ニ解決スル  
様尽力スヘク現ニ今日モ金交渉員ト打合セタル次第ナリ

云々ト語リタル趣ナリ  
北平、南京、天津へ転電セリ

422 昭和4年4月17日 在上海重光総領事より  
田中外務大臣宛(電報)

領事団会議において首席公使より国民政府に

反日会の非法停止申し入れ方提議について

上海 本省 4月17日前着

第五一三号

本月九日領事団会議ノ席上各国領事申自国商人ニ於テ排日運動ノ為日本商人トノ取引及日本品ノ取扱ヲ阻害サルコト多キ旨ヲ述ヘ反日会ノ暴行ヲ非難スル向多カリシカ曩ニ当地万国商業会議所(事実英国系)ヨリ首席領事ニ宛テ(一)往電第一九五号押収事例(b)ノ吉田洋行等カ支那商人ニ売渡シ怡和洋行ノ船ニ積載セル綿布押収ノ事実(二)China Soap Co. カ青島ニ油脂ヲ註文セルニ右日本人買手ニ渡ル懼レアリトノ理由ニテ反日会カ契約成立ヲ不可能ナラシメタル事実ヲ挙ケ斯ル支那側ノ不法行為ヲ看過

第三一六号

在上海総領事発本官宛電報第二三号ニ関シ

内田海軍政務次官一行ハ昨十六日午後四時蔣介石ニ面会ノ豫定ナリシ処蔣ハ右時刻ニテハ多忙ノ為緩々会談シ得ストテ特ニ晚餐ヲ準備シ午後七時一行ニ本官、田中海軍駐在武官及佃信夫、主人側ニ殷汝耕及宋子文ノ弟ヲ加ヘ招待セリ(佃ハ数日前来漢セル由ニテ主人側ニ於テ適宜加ヘシモノナリ又司令官モ招待セラレシカ差支ノ為缺席ス)其ノ際次官ヨリ先ツ上海方面ノ救国会ナルモノハ済案解決後ノ今日従前ノ反日会ノ夫レニ比シ更ニ激烈ナル排日行動ヲ逞シクセル実情ヲ指摘シ之カ為上海在留邦人ハ勿論日本朝野ハ失望ト憤激ヲ禁スル能ハス若シ此ノ際速ニ南京政府カ誠意ヲ以テ之カ取締ヲ為ササルニ於テハ日本人ヲシテ今後一切ノ日支交渉ニ対シ真面目ニ当ルハ愚ナリトノ見解ヲ懷カシムルニ至リ兩國将来ノ為甚タ憂慮ニ堪ヘサル次第ヲ説明セシ処蔣ハ右ヲ諒トシ既ニ中央政府ニ対シテハ書面ヲ以テ至急取締方指図シ置ケルニ付(往電第三〇一号本官ヨリ交渉ノ結果ト認メラレ其ノ際蔣ハ電報スル旨ナリシヲ事実書面ヲ以テセシモノノ如シ)近ク相当ノ効果アルヘキニ付安心ア

スルニ於テハ単ニ英国ノ利害ノミナラス延テハ全上海港ノ貿易ヲ阻害スルコトナルヘキニ鑑ミ領事団ニ於テ本件考慮方申出テノ次第アリ右ニ関シ首席領事ハ四月十三日附回章ヲ以テ首席公使ヨリ国民政府ニ対シ反日会ノ非法停止方申入レラレ度キ旨同公使宛稟請センコトヲ提議シ各国領事ノ意見ヲ求メタル処一同異議ナク十七日右ノ趣旨首席公使宛申送ルコトナレリ尚本件ニ関シ首席領事提案通リ外交団ニ稟請スルト同時ニ当地ニ於テモ領事団ヨリ金交渉員宛取締方要求スルコト効果アルヘシト認メラレタルニ依リ十六日右首席領事宛提議シ置キタリ

北平、南京、漢口、福州へ転電セリ

423 昭和4年4月18日 在漢口桑島総領事より  
田中外務大臣宛(電報)

蔣介石が内田海軍政務次官一行に對し排日行動取締り効力発生につき幾分の猶予を求めたことについて

漢口 本省 4月18日前着

リタシト答ヘ尚急激ニ取締ノ実ヲ収メントスルハ対内關係上諸種ノ困難ナル事情アルニ付藉スニ幾分ノ猶豫ヲ以テセラレタシト述ヘタリ更ニ次官ヨリ先般蔣カ漢口ニ向ケ進軍ノ際日本軍艦ノ行動ニ対シ誤解ヲ抱キタルコト(在上海総領事發大臣宛電報第四三〇号ヲ意味ス)アルヲ聞クカ日本海軍ハ不偏不党ニシテ蔣ノ行動ニ対シ妨害ヲ加フルカ如キ意図ナキハ勿論ナル旨ヲ述ヘシニ蔣ハ元來日本海軍カ常ニ我國民革命ニ好意ヲ寄セラルルハ充分感謝シ居ル処ニシテ前記誤解ノ如キ釈然トシテ何等問題トシ居ラサルカ如キ口吻ヲ洩シ其ノ他雜談ノ間日支親善ヲ中心トシ意見ヲ交ヘ極メテ打解ケン態度ヲ以テ快ク待遇サレタリ御参考迄

支、上海、南京へ転電セリ

424 昭和4年4月18日 在天津田代総領事代理より  
田中外務大臣宛(電報)

国民党部の反日工作停止命令に對し天津反日会が同命令の取消方等を請願した趣について

天津 本省 4月18日後着

第八九号

往電第七九号ニ関シ

(一)十六日当地反日会ハ中央党部ヨリ濟南事件解決ノ今日從來ノ反日工作ハ全国的ニ停止スヘシトノ命令ヲ受ケタル由ノ処反日会ハ緊急會議ヲ開キ一方各団体ノ声援ヲ求メ中央政府ニ対シ右命令ノ取消方ト反日工作永久継続方ヲ請願セル趣ナリ

右ニ対シ本官ハ過日蘇交渉員カ反日取締ニ付本官ヘノ声明モアリ旁更ニ嚴重抗議申入ノ答ナリ

前週中ノ反日推移

- (イ)反日会ハ大規模ノ五三記念游行大会ヲ舉行スヘク過日ヨリ準備中ナルカ宣伝標語等ハ既ニ出来上リ居レリト
- (ロ)反日会ハ官憲ノ注意ニ依リ日貨運搬者ニ対スル木籠街上引廻シ等ヲ手控ヘ其ノ代リニ拘留所内ニテ皮鞭ヲ以テ毆打スルコトトシ又累犯者ハ写真ヲ執リテ市内ニ掲示スヘシトノ事ナルカ官憲側ハ商民毆打ノ行為ニ対シテハ嚴重將來ヲ戒メタリトノ事ナリ
- (ハ)日貨密運者ハ近來検査峻烈トナレル為其ノ影ヲ潜メツツアル模様ナリ

(四)モ左シタル変化ナシ

尚其ノ他商業會議所ハ濟南事件解決ノ今日尚反日会カ運動ヲ停止セサルノミナラス却テ積極的工作ヲ進メツツアル暴狀ニ顧ミ十五日役員会ヲ開キ其ノ決議ヲ貴大臣ニ打電スルト共ニ芳澤公使堀代理公使並ニ本官其ノ他關係方面ヘ決議文ヲ送付シ嚴重交渉方ヲ請願セリ

北平、上海、奉天、青島、漢口、廣東ヘ転電セリ

425 昭和4年4月20日 在上海重光總領事より  
田中外務大臣宛(電報)

国民政府より各地に対して排日制止命令発出  
方王外交部長に督促した旨の芳澤公使報告

上海 発

本省 4月20日前着

第五四八号(極秘)

(1) 往電第五一〇号ニ関シ

芳澤公使ヨリ

十六日王部長ト会見ノ際本使ハ前日ノ会谈ニ引続キ上海ニ於ケル排日貨運動依然緩和ノ模様ナク日本商人等ハ最早忍

(二)十二日邦商金山洋行カ開港ニ売却済ノ「カーバイト」

六十八箱ヲ運送ノ途次反日検査員ニ抑留サレタルカ同洋行ハ自ラ抗議ノ結果間モナク貨物ヲ取戻セリ

(ハ)<sup>(2)</sup>十三日反日検査員カ日貨検査ノ為支那町染物屋(支那商)ニ至リ却テ袋叩ニ遭ヒタル事実アリ之ヲ聞知セル検査隊ハ二三十人ニテ加害者ヲ反日会ニ拉致毆打スルト共ニ更ニ同染物屋ヨリ商品全部ヲ没収シ来レル趣ナルカ袋叩サレタル検査員ノ一名ハ帰来后死亡セリト伝ヘラル

(二)(イ)本邦品麦粉前週中ノ輸入約七万袋出庫数約三万三千袋其ノ他ハ大差ナシ

(ロ)排日永続ニ依ル支那商品ノ發展ハ目覓シキモノアリ綿糸布ノ如キ近年ニナキ好成绩ヲ挙げ就中綿糸ハ上海青島ノ日本工場品ヨリ遙ニ粗悪ノ品質ニテ二十両以上ノ値開キニテ売買サレ而モ三四ヶ月后ノ製品モ殆ド全部売却済ノ有様ナルカ他方支那工業界ノ進展モ著シク山西省晋華紗廠ノ如キ最近事態極メテ良好ニシテ目下工場ノ大拡張ヲ計リ居レリト云フ

(三)麦粉邦人持滞貨約二十一万七千袋其ノ他大差ナク

耐シ難シトテ曩ニ外務大臣等ニ送リタル陳情電報(往電第五〇一号)ヲ愈発表スヘシト敦囑居リ且前日王ノ排日問題ニ関スル新聞記者ニ語レル談話ニモ頗ル不満足ノ意ヲ表シ居ル旨ヲ述ヘ王ノ注意ヲ喚起シ置キタルカ更ニ十七日会見ノ際ハ北平発閣下宛電報第三五六号等ニ依リ最近ニ於ケル排日ノ状況ヲ一々具体的ニ説明シタル上尚右ノ外多数ノ報告ニ接シ居リ各地ノ排日状況ハ何等緩和ノ兆ナキノミナラス却テ悪化ノ風アルハ本使ノ甚タ遺憾トスル処ニシテ本使モ王部長ノ誠意ト約束トニ信賴シテ今日迄忍耐シ居リタルカ忍耐ニモ限度アリ王部長ニ一段ノ努力ヲ望マサルヲ得スト述ヘタルニ王ハ貴公使ノ言ハ充分諒解セリ実ハ十五日日本件ニ関シ貴公使ヨリ御話アリタルニ依リ即日譚主席代理ニ電報スル処アリ昨日モ日貨ノ検査ハ絶対ニ取締ル様發令アリタキ旨詳細電話ニテ譚代理ニ話シ置キタリ実ハ自分カ帰寧ヲ急キ居ル目的ノ一ハ排日ノ有効ナル取締方ニ関シ党部方面及政府ト隔意ナキ意見ノ交換ヲ行ハンカ為ニシテ必ス貴公使ノ意ニ副フ様努力スヘシト答ヘタリ

(2) 依テ本使ハ之ヲ感謝スルト共ニ熊警備司令モ帰滬シタリトノ事ナレハ至急談合ノ上上海ノ排日ハ直ニ終熄セシムル様

取計ハレタシト述ヘタルニ王ハ今夜同司令ヲ往訪シ協議スヘシト答ヘタリ依テ十八日会見ノ折重ネテ熊ト談合ノ有無ヲ尋ネタルニ王ハ昨夜問合セタル処熊司令ハ未タ帰滬セストノ事ニテ未タ面会セストノ事ナリシニ依リ本使ハ更ニ北平発閣下宛電報第三五八号等ノ要領ヲ述ヘ速ニ各地ニ命令發電方要求シタル処王ハ北平商震ニ対シテハ今朝「濟南事件解決シタルニ付出来得ル限り排日運動ヲ制止スヘシ右ハ中央政府ノ決定ナルニ付克ク之ヲ体スヘシ」ト電命ヲ発シタリト答ヘタルニ依リ福州ニテモ中央ヨリ命令ナキ為取締出来ストノ報告アリト述ヘタルニ中央政府ヨリ既ニ地方政府ニ命令ヲ出シタルカ福州ニハ更ニ命令スヘシト述ヘタリ依テ本使ハ天津ニモ特ニ命令セラレタシト述ヘタルニ王ハ承諾セル旨答ヘタル上日本人方面ニ於テモ餘リニ支那側ノ感情ヲ刺戟スルカ如キ言動ナキ様希望スト述ヘタルニ依リ其ノ点ハ自分モ特ニ注意シ居ルカ国民政府ノ排日取締頗ル遅タトシテ効果現ハレス日本商人側ニ於テ最早我慢シ得サル様ナリタルハ本使モ甚タ遺憾ニ存シ居ル次第ナリト述ヘ置キタリ

北平、南京、天津、福州、漢口、廣東へ転電セリ

レムコトヲ請願ス

427 昭和4年4月21日

在南京岡本領事より  
田中外務大臣宛(電報)

不法行為取締り(排日禁止)に関する国民政府令公布について

第四〇〇号

南京 4月21日後発  
本省 4月21日後着

往電第三九三号ハ御想像ノ如ク芳澤公使累次ノ督促ニ基キ王正廷幹旋ノ結果政府窮餘ノ策ニシテ当局者モ亦「此ノ際明ニ排日ヲ禁ストセハ却テ民衆ヲ刺戟スルノ懼アリ苦心ノ存スル処ナリ」ト語り居リタルカ未タ政府公報ニハ掲載セラレサルモ本二十一日ノ各新聞ハ国民政府令トシテ左ノ通掲載シ居リ右ハ既ニ正式ニ公布セラレタルモノト思考ス世界各国ノ人權ハ等シキ法律ノ保障ヲ受ク此ノ訓政開始ノ時ニ当リ法治ノ基礎ハ速ニ宜シク確立スヘシ凡ソ中華民國法權ノ管轄内ニ於テハ個人タルト団体タルトニ論ナク等シキ非法行為ヲ以テ他人ノ身体ノ自由及財産ヲ侵害スルコトヲ

426

昭和4年4月20日

上海日本商工会議所内金曜会より  
田中外務大臣宛(電報)

日貨排斥運動は濟南事件解決後も好転の兆なきため速に終息方対策を講ぜられる様請願について

上海 4月20日後発  
本省 4月20日後着

濟南事件ノ解決ニ依リ排日運動ハ終熄スヘク期待サレタルニ拘ラス解決後約一個月ノ今日更ニ好転ノ徴ナク曩ニ救国会ノ為没収セラレタル邦人所有ノ商品サヘ未タ返還セラレス一方救国会ハ一切ノ不平等条約解決迄ハ排日運動ハ継続スト宣言シ經濟絶交ヲ叫ビ日貨糾察ヲ行ヒ商民ヲ威嚇シツツアル為当地市場ハ極端ニ脅威ヲ感シ日貨ニ対スル取引商談ハ全然杜絶シ市況ハ濟南事件解決以前ヨリモ更ニ陰惡トナレリ最近内地ニアリテハ往々濟南事件解決ノ為排日貨ハ既ニ終熄セルモノト誤リ伝ヘラルルハ甚タ遺憾トスル処ナリ依テ此ノ際特ニ内地各方面ノ誤解ナカラムコトヲ希望シ日貨排斥ノ一日モ速カニ終熄スル様適當ナル対策ヲ講セラ

得ス違反者ハ即チ法ニ依リ嚴重懲弁シテ仮借セス市政司法各員ヲシテ順照方通令セシム茲ニ令ス

漢口ヨリ上流へ転電アリタシ

北平、上海、奉天、天津、濟南、青島、漢口、福州、廣東、厦門、汕頭、蘇州、杭州、九江、蕪湖、香港へ転電セリ

428

昭和4年4月22日

在上海重光總領事より  
田中外務大臣宛(電報)

上海特別市救国会が民国日報付録として「救国週報」発刊並び同会の我が対滿蒙政策に關し各地党部、救国会宛に通電発出について

上海 4月22日後発  
本省 4月23日前着

第五六七号

一、本月二十一日上海特別市救國會ハ国民党機關紙民國日報附録トシテ小型四頁ノ救國週報ヲ発刊シ全紙悉ク激烈ナル排日記事ヲ以テ埋メ其ノ題目ノ主ナルモノハ(一)上海特別市救國會宣言(往電第四六二二号報告)(二)救国トハ何

ソヤ排日ハ唯一ノ救国手段ニシテ対日経済絶交ハ日本帝國主義ノ死命ヲ制スルモノナリ(三)日本ハ果シテ対支親善ヲ肯スルヤ日本ノ親善ハ一ノ口頭禪ニ過キス滿蒙増兵計画中国内乱ノ助長漢口ニ於ケル殺戮日本官憲ノ排日取締要求ノ如キハ最近ノ好適例ナリ吾人ハ日本カ対支一切ノ不平等条約ヲ撤廃シ一切ノ特殊權益ヲ放棄セサル限り徹底的経済絶交ヲ実行セントス日本ノ撤兵ト日貨抵制今次ノ撤兵ハ当然ノコトニシテ何等支那カ得ル処ナシ然ルモ日貨ノ抵制ハ国民一致ノ意嚮ト救国ノ熱誠ヨリ出ツルモノナレハ政府ト雖干涉スルコトヲ得ス況ヤ撤兵ト交換条件トナシ得ヘカサルモノナリ(四)日本帝國主義ノ滿蒙積極政策(六)救国会組織条例(本月十一日公信第三八五号参照)其ノ他最近ニ於ケル日支貿易ノ消長並上海ニ於ケル日貨取引ノ状況ヲ記述シテ暗ニ排日ハ日本ニ對抗スル唯一ノ方策ナル所以ヲ高調シテ排日ヲ慫慂スル全ク傍若無人ノ論説記事ヲ弄シ居レリ

二、又二十一日民國日報ハ濟南、南京來電トシテ張宗昌便衣隊百餘名濟南商埠地ニ於テ重大事件ヲ惹起シタリ右ハ日本軍カ撤兵ヲ延期セシメ為ニ匪徒ト結託シテ事端ヲ繁

クセントシタルニ依ル次ニ伊藤主計射殺事件共產黨員逃亡事件ト日本軍ノ治安維持トヲ結ヒ付ケ引継軍隊至急到着シテ事端ノ發生ヲ避クル様民衆ハ熱望シ居レリ等ト排日記事ヲ掲載セリ

三、<sup>(2)</sup>上海特別市救國會ハ我對滿蒙政策ニ関シ最近各地党部及救国会ニ宛テ左記要領ノ「反日通電」ヲ發シタル趣ナリ日本ハ日支諸懸案未解決ノ機ニ乘シ滿蒙侵略ノ野心ヲ逞フスヘク目下駐滿官憲ヲ召集シテ重要會議開催中ニシテ其ノ議題ハ秘密ニ附シ居レルモ右ハ主トシテ吉會長大兩鐵道ノ起工營口、瓦房店間南滿線トノ聯絡新線ノ承認問題及商租權等ノ解決方法トシテ武力行使ニ出テムトスルモノナルニ付政府ハ嚴重抗議ヲ為スト共ニ全國同胞ハ死ヲ誓テ對日經濟絶交ヲ勵行シ日本帝國主義者ノ經濟的崩壞ヲ促シ而シテ實力ヲ充實シテ最後ノ準備ヲ為シ雪辱救亡ニ努メサルヘカラス云々

尚東方<sup>(マコ)</sup>ノ得タル情報ニ依レハ最近上海特別市党部宣傳部ハ市救国会ニ對シ反日会ハ上海特別市執行委員會ノ命ニ依リ國民救国会ト改称セラレタルヲ以テ今後ハ積極消極兩方面ノ任務ヲ兼務スヘキモノニシテ其ノ組織條例第一

条ニ規定シアル如ク終始對日經濟絶交ヲ貫徹シテ日本帝國主義者ニ持久的打撃ヲ与フルノミナラス生産ノ奨励國貨ノ提唱農作ノ發展及建設ノ援助ヲ為サムトスルモノナレハ之ヲ反日会ニ比スレハ其ノ効果及仕事ノ範圍大ナルモノナリ右特ニ誤解ナキ様民衆ニ説明シテ党國ノ為ニ尽瘁セサルヘカラストノ趣旨ノ密令ヲ發送セル趣ナリ

北平、南京ヘ転電セリ

429 昭和4年4月22日 在南京岡本領事より 田中外交大臣宛(電報)

目下実効ある排日取締りに努力中との周龍光  
の申越しに關し芳澤公使宛電報

南京 4月22日後發  
本省 4月23日前着

第四〇二号

本官發上海宛電報

第三四九号

芳澤公使へ

貴電第五三三三号本二十二日接到直ニ王正廷ヲ訪問セル処政

府會議出席中ナリシヲ以テ周龍光ニ委曲御訓令ノ次第ヲ申入王部長ノ明確ナル回答ヲ求メ置キタル処午後周ヨリ左ノ通申越セリ

一、反日運動依然終熄セサルハ遺憾ナルモ之ヲ以テ政府ニ誠意無シト断セラルルハ迷惑ナリ政府ニ於テ出来得ル限りノ手段ヲ尽シツアルハ御來示ノ反日会決議ナルモノノ冒頭ニ於テ「党部ハ吾人反日会ヲ解散スルノ權能ナシ」云々ト云ヘルニ見ルモ明カニシテ只急速高圧ヲ加フルハ却テ反感ヲ助長スルノ恐アリ取締ノ実効アラシムルニハ慎重ノ考慮ヲ要スルヲ以テ政府ニ於テモ熟議ノ結果今回一般ニ對シ通令ヲ發シタル次第(往電第四〇〇号)ニシテ特ニ不穩ナル北平、福州等ニ對シテハ右通令以外「本通令ニ基キ嚴重取締ヲ実行スヘキ」旨電報セリ

之ヲ要スルニ政府ニ於テハ誠意ヲ以テ実効アル取締ヲ為スヘク努力中ナルヲ以テ其ノ点與々モ諒トセラレタシ云々

依テ本官ヨリ貴意ハ諒トスルモ國民政府膝下ニ於テサヘ依然反日会ノ看板ヲ掲ケ各種ノ通電ヲ發スル等ノ不穩行為アルニ對シ何等ノ手段ヲ講セラレサル事實ニ見テ政府ノ誠意

ヲ疑ハサルヲ得ス百ノ弁解モ一ノ実行ニ如カスト重ネテ其ノ反省ヲ促シタル処周ハ貴説尤ナリ速ニ実績ヲ示シ得サルハ遺憾ナルモ好結果ヲ現ハシ得ヘシ首都反日会ノ看板取外シニ付テハ早速部長ニ申入ルヘント約セリ  
大臣、北平、漢口、福州へ転電セリ

430 昭和4年4月24日 在上海重光総領事より  
田中外務大臣宛(電報)

排日問題に關し上海總領事館にて開催の領事  
會議狀況報告

上海 4月24日後発  
本省 4月24日後着

第五七九号

本官發南京、蘇州、杭州、蕪湖宛往電合第一七四号ニ関シ二十三、二十四ノ両日当館ニ於テ領事會議開催セリ(横竹商務参事官出席)排日問題ヲ議題ニ供シタル処各館管内ニ於ケル最近ノ排日狀況ニ付大要右ノ通報告アリ

一、蘇州管内

本年二月初旬日華交渉樂觀説伝ヘラレ且反日会内部ノ腐

紀念日ノ近付クニ連レ何等策動シ居ルモノノ如キモ反日会ヲ除キ一般官民ノ対日態度ハ濟南事件ノ解決ヲ一転機トシ漸次緩和シ来レルモノト觀測セラル

管内輸出品ノ大宗タル鉄ニ対シ反日会ニ於テ策動ノ手ヲ染ムル事無キヤトハ從來憂慮シ居リタルカ最近迄未タ其ノ事實無シ一般日貨ノ輸入ハ殆ト杜絶ノ状態ニアリ只日本雜貨類ニ付テハ取扱邦商ニ於テ反日会側ト聯絡ヲ遂ケ相当利益ヲ収メツツアルカ如シ

三、杭州管内

杭州ニ於テハ反日運動ハ南京上海等ノ形勢ニ左右セラルルヲ常トス地方的ニハ主トシテ党部ヲ中心トシテ学生之ニ参加シテ行ハル從來排日宣伝ハ相当執拗ニ行ハレタルモ實際運動ハ極メテ微温的ニシテ日本人及日本人取扱貨物ニ対シテハ何等被害ノ事實無シ又日支交渉開始以來省政府ハ勿論党部側ニ於テモ特ニ排日激勵ノ模様無ク殊ニ濟南事件解決後ハ宣伝片モ蔭ヲ潜メ支那商人ノ日本品取扱何レモ漸次擡頭シツツアリ但シ反日会其ノモノハ解体セラレス却テ昨年来漸次其ノ組織完備シ省城ヲ中心トシテ各地方ニ及ヒ居ルヲ以テ今後中央ノ方針如何ニ依リテ

敗等ニテ活動ハ一時手ヲ緩メ居タル処三月十八日同会カ国民救国会ト改称スルニ及ヒ更ニ陣容ヲ新シタル觀アリ蘇州ハ勿論辺陲ナル常熟等ノ地ニ至ル迄奸商懲罰ノ木籠ヲ設クルニ至リタルカ同二十八日濟南事件解決ニ依リ少クトモ緩和セラルヘントノ豫想ハ全然裏切ラレ彼等ハ「不平等条約ノ撤廃ヲ見サル限り絶対ニ反日運動ヲ停止セス」ト揚言シ爾来一層日貨ノ検査封存ニ力ヲ注ギツツアリ即チ客年九月頃ヨリ濟南事件解決前迄ノ蘇州ニ於ケル日貨封存ハ約七件其ノ後四月二十日迄約三週間内ニ於テハ実ニ八件ニ達ス

右ハ一時的現象ナリヤ永続的性質ヲ有スルヤハ目下ノ処蘇州ノ関スル限り豫断シ難キモ一方濟南事件解決カ一般支那官民ノ対日感情ニ好影響ヲ与ヘタルハ各般ノ点ニ於テ看取シ得ラルル処ナリ

二、蕪湖管内

蘇州ト大体同様ニシテ反日会側ニ於テハ濟南事件解決スルモ反日運動ハ依然繼續スヘント称シ木籠ヲ増設シ検査員ヲ要処ニ配置シ又新聞紙上ニハ排日ニ関スル歌謡、漫画及標語等ヲ懸賞附ニテ募集スル等五月三日濟南事件等

ハ可成徹底的ニ排日運動行ハレ得ル可能性ハアルモノト云フヘシ

四、南京管内

五院成立以來モ引続キ排日運動ハ南京ニ於テハ之ヲ許サストノ政府ノ方針ニテ衛戍司令ニ於テモ之カ取締ヲ明言シ居リ各種排日ノ組織ノ如キモ常ニ他地ヨリ遅レテ出来上ル状態ニテ裏面ニ於テハ日貨ノ取引支障ナキカ如シ邦人某ノ如キハ最近數ヶ月間ニ排日ヲ利用シテ約百万円ニ上ル綿絲布取引ヲナセシ事實アリ從テ排日ハ邦人ニ対シテハ他地方程ノ実害ナク支那側日貨取扱商ノ打撃亦左程大ナラス只公然ノ取引支障アル現状ナリ

鎮江方面亦同様ニシテ同方面ニ對シ邦商亦相当ノ取引ヲ行ヒツツアリ最近同地反日会ハ内部ニ紛糾生シ解散セルヤノ聞込アリ實質的ニ言ハハ南京管内ニ於テハ排日気分濃厚ナラス只形式及組織方面ニ於テ排日存在スルモノト云フヘシ

五、上海管内

最近迄支那商一般気構ヘノ態度ヲ持シ居タルモ政府ノ暴民取締令一般ニ伝ハリタル為カ茲一兩日来一部支那商ハ

租界内ニ於テ弗々乍ラ公然日貨ノ受渡ヲ始メ又反日団体ノ日貨差押ヘテ豫期シテ差当リ取引ヲ差控ヘ居タルモ冒險的ニ日貨ノ運搬ヲ求メ救国会ノ排日活動ヲ「テスト」スル等支那商方面ニ排日運動ニ対スル對抗的気配モ見ヘ来リ一般ノ情勢多少好転ノ徴アリ

尚芳澤公使モ特ニ会議ニ出席セラレタリ  
支、南京、蘇州、杭州、蕪湖、漢口ニ転電セリ

431 昭和4年4月24日 在上海重光総領事より  
田中外務大臣宛(電報)

我が領事會議に於ける排日運動対策の討議結果について

上海 4月24日後発  
本省 4月24日後着

第五八〇号

往電第五七九号ニ関シ

各領事ニ於テ之カ対策ヲ討議研究シタル結果ヲ綜合スルニ左ノ通

濟南事件解決後日支人間ノ感情ニ於テ融和ノ徴歴然タルモ

(転電先前電ノ通)

432 昭和4年4月24日 在中国堀臨時代理公使より  
田中外務大臣宛(電報)

排日取締りの政府命令受領後における商震の動向について

別電 四月二十四日発在中国堀臨時代理公使より田  
中外務大臣宛第三九四号  
排日取締りに関する行政院命令

上海 4月24日後着  
本省 4月25日前着

第三九四号

往電第三八八号ニ関シ

二十四日商震ヲ往訪シ劈頭排日取締ニ関スル政府ノ命令受領セラレタル趣ナルカ之ニ対スル処置振如何ト問ヒタルニ商震ハ右ニ付本官ヲ来訪ノ答ナリシト前提シタル上前回貴官トノ会見後直ニ政府及中央党部ヘ電報シ置キタル処中央党部ヨリハ今以テ何等ノ返電ナキモ行政院ヨリハ別電ノ十八日附電報十九日接到シ次テ外交部ヨリモ長文ノ返電ニ接

ノアルハ事実ニシテ排日運動モ大体ニ於テ好転ノ傾向アルヲ認メ得ルモ右運動ハ今日迄国民党ヲ背景トスル全国的組織ノ下ニ根強ク行ハレ之ヲ以テ引続キ対日政策ノ武器トシテ利用セントスル政治的理由伏在シ支那側ニ取締ノ誠意缺クル処尠カラサルヘキノミナラス他方国貨提唱ヲ題目トシテ職業排日家及之ニ依リ利益ヲ受クル支那商ハ裏面ニ活動シテ排日続行ヲ運動シ居ルカ為ニ力取締上幾多困難アルハ事実ト認メラルル処排日終熄ノ約束ヲ件フ濟南事件解決ノ機ニ於テ所有方法例ヘハ各地ニ於テ交渉員其ノ他官辺又ハ民間ノ有力機関ニ嚴談スル外蔣介石其ノ他ノ要人ニモ交渉スル等ノ手段ニ依リ排日ノ取締ヲ行ハシムルコト固ヨリ必要ニシテ其ノ効果ヲ待チ支那ノ態度如何ヲ見極メツツ我方ハ飽迄確平冷静ナル態度ヲ以テ徐ニ進ムコト時宜ニ適スヘク何レニセヨ(イ)事端ヲ醸シ排日ノ口実ヲ与ヘサル様慎重事ニ当ルハ勿論(ロ)我方ハ飽迄合理的態度ヲ持シ同情ト理解トヲ以テ支那側ニ対シ又濫リニ支那ニ惡感ヲ抱カシムルカ如キ我方ノ言論ノ如キハ支那ニ於ケル反響ノ意外ニ大ナルニ鑑ミ殊ニ注意シテ指導スルノ要アルヘク斯ノ如クニシテ排日ノ空氣ハ漸次緩和スヘシト思考セラル

シタルカ右要領ハ行政院ト大同小異ナルカ只兩者ノ相違セル点ハ行政院ノ「反日運動自應妥為制止」外交部ヨリハ「自應妥為處理」トアル為該電報接到後何市長其ノ他關係当局ヲ召集シ右兩電報ニ付討究ノ結果徹底的ノ取締ニ出ツルニハ制止又ハ處理ノ如キ文字ニテハ輕キ印象ヲ与ヘ面白カラス武力行使ノ取締ニハ更ニ切ナル文句アル命令ヲ要ストノ說ニ一致シ更ニ自分(商)ヨリ何成濬ヲ通シ蔣介石ニ電報シタル処右ニ対シ蔣ヨリ「反日會軌外行動自應嚴令制止」ノ切ナル文句ヲ用ヒ且北平總商會ノ五月三日反日會ノ日貨封鎖ニ対シ取締請願ノ件モ一括取締ルヘキ旨命令セル電報二十三日夕接到シタルニ付本日午後何市長以下關係當局ヲ召集シ右三通ノ電報ニ基キ嚴令ナル取締命令ヲ發出スル心組ナリト語り尚且下市党部指導委員谷正鼎ノ反政府行為歴然タルモノアレハ中央ニ対シ彼ノ免職ヲ申請中ニテ右許可アリ次第同時ニ市党部ノ改組ヲモ行ヒ内外ヨリ反日會ヲ圧迫セムトスル計畫ナル旨附言セリ依テ本官ハ前回会見ノ際貴主席ハ政府ヨリノ取締命令ナラハ此ノ上無キモ濟案解決セリトノ通知文ニテモ接到セハ直ニ取締ヲ行フ旨言明セラレタルニ

十九日外交部及行政院ヨリノ取締電報ヲ受領シツツ前記約束ヲ履行セラレサルハ本官ノ意外トスル処ナル旨難詰シタル上既ニ蔣主席ノ明快ナル命令アル以上此ノ上ノ遷延ハ無カルヘシト思ハルルカ如何ト述ヘタル処商ハ当初其ノ心組ナリシ処部下カ職權行使ノ關係及彼等反動団体ヲシテ藉口セシメサル為政府ノ電報ニ満足セス最高責任者ノ命令ヲ受取り慎重ノ態度ニ出テタル次第ナリト一応ノ弁明ヲ試ミタル後右本日直ニ取締命令ヲ發出スヘキ旨繰返シタルカ故ニ本官ハ其ノ尽力ヲ感謝シ更ニ其ノ取締ノ具体的方法ニ付意見ヲ叩キタルニ対シ商ハ右具体的方法ハ代理衛戍總司令ヨリノ取締命令發出ノ後警備司令、公安局長協議取極ムルモノニテ其ノ際自分(商)ヨリ適宜指示スル積リナルカ先ツ以テ反日会ノ名義ハ中央ノ方針ニ基キ之カ使用モ禁止スル事トナルヘシト答ヘタルニ付本官ハ屢次報告ノ反日会ノ本邦商店及順天時報營業妨害並ニ各種宣傳標語ノ撤去、唐山反日会等ヲ列挙シ總テ兩國國交ニ有害ナル越軌行動絶滅方執拗ニ念ヲ押シ商ノ言質ヲ取り置ケリ

尚右会合ヨリ帰來後何其輩ハ方夢超ヲ本官ノ許ニ派シ別電何其輩宛行政院ノ取締命令ヲ持參セシメ自分(何)ハ兵權

433

昭和4年4月26日

在天津田代總領事代理より  
田中外務大臣宛(電報)

天津在留邦人および商業會議所関係者等が中国当局の排日取締り振りに不満表示について

天津 4月26日後発

本省 4月27日前着

第一〇二号

本官発北平宛電報

第六七号

今次ノ反日運動ハ意外ニ長引キタル為当地在留邦人ノ受ケタル経済的打撃ハ頗ル深刻ニシテ何レモ排日ノ終熄ヲ鶴首シ居リタル折柄濟南事件解決シタルヲ以テ排日終熄ノ機終ニ到レリト為シ多大ノ期待ヲ有セシニ拘ラス却テ反日運動ハ旧ニ倍シテ猖獗ヲ極ムルカ如キ状況トナリタル為久シク隱忍自重シ居レル当地邦人モ將ニ勘忍袋ノ緒ヲ切ラムトシ中ニハ此ノ際居留民大会ヲ催シ氣勢ヲ挙ケムト敦囑クモノスラアリ此ノ間ニ在リテ本官ハ邦人ノ主ナルモノニ対シ差支ナキ限り支那側トノ折衝成行ヲ内示スルト共ニ輕率妄動ヲ敵ニ戒メ反日会ニ新ナル口実ヲ与ヘサル様現ニ努力シツ

ヲ有セサル故ニ本官ヨリ商震ニ取締ヲ促ス様内容注意シ来リタルニ付本官ハ何ノ好意ヲ謝スルト共ニ本日商トノ会見ノ次第ヲ簡單ニ告ケ此ノ上トモ内部ニ於ケル何ノ尽力ヲ依頼シ置ケリ

右様ノ次第ニテ商震並ニ何其輩ハ中央ノ電報ニ依リ相当信頼シ得ル態度ヲ示シツツアリ今回ハ取締ヲ実行スルヤニ見受ケラルルカ何分其ノ結果ヲ見届ケタル上ナラテハ如何トモ断言シ難キヤニ思料セラル

上海、南京、天津ニ転電セリ

(別電)

北平 4月24日後発

本省 4月25日前着

第三九五号

國急北平商主席何市長鑒樞密册電悉中央已飭各地反日會均改爲救國運動會別定規則平津反日運動自應妥爲制止行政院巧印

ツアル処本二十六日商業會議所及排貨対策実行会幹部本官ヲ來訪シ支那側官憲ノ反日取締ノ誠意ナキヲ慨嘆シ取締布告ノ發表並ニ反日会検査員ノ撤廃(何レモ大臣宛往電第九五号本官交渉員及警備司令ト会见ノ際申入レ置キタルモノ)ヲ支那側ニ対シ至急促進方願出ツルト共ニ商震ニ對シテハ既ニ蔣介石及南京政府ヨリ夫々取締ノ訓電到達シタル趣ナルニ付(当地交渉員ニハ未タ中央政府ノ命令到達セス)北平ニ於ケル反日取締ノ実挙カルニ於テハ当地支那官憲モ之ト歩調ヲ一ニスヘシトテ北平ノ取締振ニ付テモ多大ノ期待ヲ有シ居レリ尚五三当日支那側游行ノ許サルルカ如キコトアラムカ反日会ニ一段ト氣勢ヲ添フルコトトナルヲ以テ遅クトモ同日迄ニ支那官憲ヲシテ反日取締ノ実ヲ挙ケシムル様尽力方繰返シ申述ヘタリ

本二十六日白井ヲシテ公安局長ヲ訪ハシメ排日取締実行方鞭撻セシメタルニ同局長ハ中央又ハ閩總司令ヨリノ命令未接到ナル為有効ナル手段ニ出テ得サル次第ヲ釈明スルト共ニ反日会幹部ニ對シ自発的ニ終熄スルコトヲ勸説シ木檻ヲ撤去セシメ「ボスター」モ一部既ニ撤去済ナル当地方官憲トシテ相当手段ヲ尽シツアル旨ヲ語り又五月三日ノ游行

運動禁止ニ付傳警備司令ト共ニ考慮中ナルカ警備司令部政治部長ヲ既ニ貴地ニ派シ徹底セル命令発令方請訓セシメ居ル旨附言セル趣ナリ  
大臣、上海へ転電セリ

434 昭和4年4月27日 在長沙糧谷(廉)領事より  
田中外務大臣宛(電報)

排日運動が済南事件解決後も緩和の様子なき  
ため蒋介石、何鍵に対し中国側の誠意ある取  
締方要求について

長沙 発  
本省 4月27日後着

第三六号

当地方排日問題ニ関シテハ累次ノ報告ニ依リ御承知ノ通ナル処済案解決シタル今日モ別段緩和ノ状態メラレサルニ付本官ハ往電第三五号就任式参列後特ニ別室ニ於テ蒋介石及何鍵ニ面会本件ニ言及シ先ツ支那側ノ誠意アル本件取締方ヲ要求シタル後差当リ来月ニハ済案一週年記念日ヲ初メ幾多ノ排日記念日アリ孰レモ排日会ヲ中心トシテ夫々游街其

支、漢口、上海、南京へ転電セリ

435 昭和4年5月2日 在中国堀臨時代理公使より  
田中外務大臣宛(電報)

外交団の一致によるボイコット停止提議行動  
困難について

北平 5月2日前発  
本省 5月2日後着

第四一七号

上海発閣下宛電報第五一三三三号ニ関シ  
一日首席公使ヨリ回章ヲ以テ上海発閣下宛機密第三九七号公信添付ノ上海首席領事発同公使宛書翰ヲ回覧ニ附スルト共ニ各公使ノ意見ヲ承知シタキ旨申越シタルカ既ニ回覧済ナル米英伊三国公使中米國公使ハ「ボイコット」委員会ノ不法行為範圍拡張ニ対シテハ各事件毎ニ当該公使館ヨリ支那側ニ対シ適宜措置ヲ執ルコト一層実効アリヤニ感セララル旨ノ「オブザーベーション」ヲ附記シ英伊兩國公使ハ何等意見ヲ附記セスシテ単ニ署名シ居レリ  
本官トシテハ

ノ他排日運動計画ノ趣聞込ミアル処日支ノ国交力漸ク常道ニ復セムトスル折柄此ノ種計画アルヲ聞クハ甚タ遺憾トスル処ナルニ付之等記念日ニ際シテハ軌外行動ハ勿論示威游街等ハ特ニ充分取締ラレ度旨申入レタルニ蔣ハ之ヲ快諾シ直ニ何ニ対シ右嚴重取締方命令スル処アリタリ

本件取締方ニ関シテハ往電第三〇号末段ノ次第モアリ支那側ニ於テモ相当誠意ヲ以テ当ルヘク從テ目下ノ処何等事故ナク経過スヘシト察セラルルモ他方一般の排貨運動ハ下流方面ニ於ケル状況緩和セサル限リ当地方ノミ今直ニ終熄スヘシトモ思ハレス今後共成行折角注意スヘキモ不取敢  
尚蒋介石ハ豫定ノ通本二十六日午後当地発汽車ニテ漢口ニ向フ由  
前電ノ通転電セリ

今後トモ嚴重取締ルヘキモ急激ナル取締ハ却テ刺戟ヲ与ヘ面白カラサルニ付諒承アリタク尚衡州着後更ニ取締方留守代理者ニ電命スヘシ云々

当地市面平靜在留民亦安定シ居ルノミナラス前電蒋介石ノ何ニ対スル申含メモアリ旁目下ノ処何等突発事件発生セサル限リ之等記念日ハ平穩ニ経過スルモノト豫想セラル

(一)上海領事団ニ於テハ目前ニ通商ノ妨害ヲ受ケ居ル關係モアリ商業會議所ノ要求ヲ支持スル決議ヲ為シタルモ外交団ノ空氣ハ自ラ之ト異ナルモノアリ米國公使ハ既ニ前記ノ如キ意見ヲ附シ英國公使ハ過日日本官ト会谈ノ際餘リ氣乗リセサル口吻ヲ漏シ又首席公使モ前年支那ノ対英「ボイコット」ノ際外交団トシテ一致ノ行動ヲ執リ得サリシ事情モアリ今回モ一致ノ行動ニ出ルコト困難ナルヘシトノ意見ニ傾キ居ルカ

(二)仮令外交団ヨリ南京政府ニ対シ申入ルコトナルモ從來ノ經驗ニ依リ果シテ実効ヲ挙げ得ルヤ疑アリ  
(三)且排日運動モ日支諸懸案ノ解決ニ依リ漸次緩和シ来リ居リ從テ本官ヨリ米國公使ノ意見ニ反対シテ外交団ノ協同措置ヲ提議スルコトモ考ヘモノナリト思考シタルニ付回章ニハ何等意見ヲ附セス単ニ署名シ置ケリ

上海、南京、漢口、廣東、天津、福州へ転電セリ

436 昭和4年5月(3)日 在ハルビン八木總領事より  
田中外務大臣宛(電報)

済南事件一周年記念日におけるハルビン学生

団の排日行動について

ハルビン

発

本省 5月3日後着

第一〇〇号

五月三日濟南事件一週年記念日ニ当リ当地支那学生ハ早朝ヨリ集合シ市中行列ヲ為ス模様アリシニ依リ館員ヲ交渉員署ニ遣ハシ取締方警告シ置キタルカ既ニ集合シタル学生団一千五、六百名ハ午前十一時頃ヨリ巡警監視ノ下ニ游行ヲ始メ排日伝單ヲ撒キ午後三時頃解散セリ支那官憲ハ当館ヨリノ交渉ニ依リ遅滞キ乍ラ学校当局ニ警告シ学生ノ出動ヲ阻止セムト努メタル如ク夫ニ本日ハ寒風吹キ荒ミ游行ニ便ナラサル為学生団氣勢上ラス何等事故ナク解散セリ  
北平、奉天、上海へ転電シ吉林、長春へ暗送セリ

437 昭和4年5月(4)日

在南京岡本領事より  
田中外務大臣宛(電報)

国民政府は国恥記念日挙行に当り補充弁法を  
公報に発表について

第四七八号

往電第三八三号ニ関シ

国民政府ハ中央執行委員会ノ訓令ニ依リ各機関ニ対シ五三、五四、及五九ノ三記念日ヲ国恥記念日トナシ其ノ記念弁法ハ既報ノ外補充弁法トシテ消極的ニ工作ヲ停止スルコト無ク積極的に生産ヲ増加シ臥薪嘗胆ノ精神ヲ以テシ殊ニ記念日前後ニハ游行宣伝ヲ行ハス以テ吾人ノ敵愾心ヲ暴露スルコトニ依リ敵人ヲシテ之ニ備ヘシムル事無キヲ原則トシ左ノ五項ニ依ルヘキ旨通電ヲ発シ本三日ノ政府公報ヲ以テ発表シ居レリ

(一) 国恥記念日ニハ各党部、学、機関、軍隊、「ケンジョウウキョク」各団体ハ平常通り工作シ休暇ヲ許サス

(イ) 工作時間中一時間講演シ

(ロ) 講演前後隊ヲ結ヒテ游行シ又ハ何等遊芸ヲ挙行スル事ヲ得ス

(ハ) 講演ハ当該各機関ノ内部ニ於テ為シ

(ニ) 五分間黙視<sup>(痛カ)</sup>シ

第四八三号

往電第四七八号ニ関シ

昨三日当地ニ於ケル主ナル紀念式挙行状況左ノ通

一、中央党部、午前六時開会蔣介石、戴天仇、胡漢民、何應欽、孫科始め党部及政府ノ要人代表者等数百名参集先ツ主席胡漢民ヨリ日本軍ノ暴状ナルモノヲ挙ケ其ノ深刻ナル印象ハ眼ノ辺見ルカ如シト述ヘ蔣介石ハ五三惨案ハ自ラ其ノ恥辱ヲ受ケタリトテ当時ノ事情ヲ詳細説明シ吾人ハ一致団結己ノ力ヲ充実スルノ要アリト結ヒ次テ戴天仇其ノ他ノ演説アリ八時散会

二、国民政府午前八時開会中央党部ノ紀念式ヨリ帰レル胡文官長主席トナリ党部ニ於ケル前記蔣介石ノ演説ヲ敷衍シテ永久ニ五三惨案ヲ忘ルル勿レト説キ次テ来賓等ノ演説アリ

三、首都各会五三惨案週年紀念大会午前九時第一公園ニ於テ開催各機関、学校、団体等ノ代表ト称スルモノ数百名参集会場ニハ遭難者ノ祭壇ヲ設ケ豫テ募集中ナリシ花環弔旗等ヲ飾リ反日会ノ連中交々立テ悲憤慷慨的演説ヲナシ排日口号ヲ唱ヘ十二時頃散会右開会ニ当リ数台ノ自働

438 昭和4年5月4日

在南京岡本領事より  
田中外務大臣宛(電報)

南京における五三記念式典の挙行状況報告

南京 5月4日後発  
本省 5月5日前着

(一) 講演ノ内容ハ中央党部所定ノ宣伝大綱及宣伝要項ニ依リ行フ  
(二) 各級党部ハ各記念日当日午前六時ニ黨員關係員及民衆団体、学生代表ヲ召集シ記念式ヲ行ヒ七時ヨリ各学校団体ニ入ヲ派シ講演セシム  
(三) 各団体ニ於ケル記念講演ハ午前七時ヨリ八時迄トス  
委細公信  
支、上海、奉天、天津、濟南、青島、漢口、廣東、福州ニ転電セリ

車市中ニ排日伝單ヲ撒布セル外二隻ノ飛行機モ会場上空ヲ飛翔シ多数ノ伝單ヲ撒布セリ

四、官憲ノ取締厳重ニシテ游行等ナク市中平穩當館一带ニ配置セラレタル軍警ハタ刻引揚ケタリ委細公信

北平、上海、奉天、天津、濟南、青島、漢口、廣東ニ転電セリ

439

昭和4年5月(5)日

在濟南西田(畔一)総領事代理より  
田中外務大臣宛(電報)

## 濟南における五三、五四記念大会の状況報告

濟南

発

本省 5月5日後着

第二三四号

往電第二二六号ニ関シ

(一)五月三日当地城内中学校内ニ開催サレタル濟南事件紀念大会ニ出席セルモノハ国民党部政界反日会婦女協會農民協會總工会商會學生聯合會社交界等ノ各代表者約五百名ニ達シ或ハ型ノ如ク党国旗及總理ノ写真ニ対シ礼拝シ總理ノ遺囑ヲ讀ミタル後五三事件ニ遭難支那人ノ為ニ三分

ルモノ其ノ排日ヲ鼓吹シ不平等条約ノ破棄帝國主義ノ打破等ヲ高調セルハ前日ト殆ト大同小異ナリ

(二)三日及四日トモ市内殊ニ党団旗ヲ掲揚セルモノ多数アリ国民党市党部ヨリ市民ニ三日ハ半旗掲揚ヲ通告セルモノ半旗ヲ拳ケタルモノハ極メテ少数ヲ見タルノミ前掲会場ニ配布セル伝單ハ出席者各自ヲシテ市内ニ撒布セシムル手筈ナリシモノ多クハ日本軍ノ途中検査ヲ懼レテ之ヲ破棄シ市内ニ撒布サレタルモノハ少数ナリシト謂フ

(四)当地漢字新聞ハ紀念日に関シ何等強論ヲ掲ケス又三四日日共ニ路上演説市街游行等一切ノ屋外団体運動ヲ禁シアリ邦人ニ対シ不快ヲ与フル如キ言動アリシヲ聴カス三日我査問隊員三名ノ不祥事件後極メテ無事ニ経過セリ

北平、青島、上海、南京へ転電セリ

440

昭和4年5月(7)日

在漢口桑島総領事より  
田中外務大臣宛(電報)

李交渉員が水杏林事件に関する解決条件を提示したので我が方は罷工問題は勿論一切の反日運動取締りを求め応酬したことについて

間哀悼ノ黙禱ヲ行ヒテ式ヲ終リ続イテ各会代表ノ演説アリ何レモ五三事件ノ惨害日本出兵ノ非法侵害主義ノ恐ルヘキコト日本軍閥ノ打破日本ニ対スル報復等激烈悲壯ナル論ヲ述ヘタリ会場ニテハ国民党濟南市党部ニ於テ豫テ準備セル別電第二三六号ノ意味ヲ記シタル五三惨案一週年ニ民衆ニ告クルノ書ヲ配布シ誓テ死亡同胞ノ為復仇ス日本帝國主義ノ打破不平等条約ノ破棄反日運動ノ拡大革命外交ノ勵行等ノ口号ヲ唱ヘ最後ニ總工会ノ提議ニ依リ元治安維持會長柴勤唐ハ公金私消元治安警察庁督察長黃錫齡ハ日探ノ売国奴又元治安維持會顧問孫保珍ハ反革黨ノ各罪狀アリトシ其ノ通緝令發布方ヲ請願ノ件及王正廷崔士傑ハ売国奴李慶施ハ公金私消ノ各嫌疑アリトシ之ヲ查弁方請願ノ件ヲ大会ニ附議シタルニ本大会ニ於テ決議スルハ面白カラス市党部ノ提案トシテ閉會後別會ニ於テ決議スルコトニ決定シ一応閉會ヲ告ケ引続キ別會トシテ右提案ヲ其ノ儘決議セル趣ナリ

(二)昨四日ノ五四記念大会ノ出席者ハ前日ノ顔触ニ加ヘ學生ノ参加セル者約四百名アリ式ハ前日ト型ヲ同シウシ只黙禱ヲ缺ケリ演説ニハ五四記念ノ感想等其ノ頭目ヲ異ニセ

漢口

発

本省 5月7日後着

第四〇二号

往電第三九一号水案ニ関シ一昨四日午前李交渉員來訪王正廷來電ヲ原紙ノ儘提示シ解決条件トシテ撫恤金二千元以上(王正廷ノ意嚮ハ支那側当初ヨリ主張三千六百元ト我方主張ノ一千元ヲ折衷シ二千二、三百元トスルモノノ如シ)ノ申出アリシニ付本官ハ右ハ到底承認シ難キモ若シ右条件及遺族ニ対シ氣ノ毒ノ意ヲ表スル旨本官ヨリ交渉員ニ書面ニテ申入ルルニケ条ヲ以テ解決シ陸戦隊及復工問題等ニ付全然触ルルコトナク且我方ヨリ要求シツツアル「本件解決ト同時ニ罷工問題ハ勿論一切ノ反日運動ヲ断然取締再ヒ紛擾セシメサル」旨ノ一項ヲ支那側ニ於テ承認セラルル意嚮ナラハ成否ハ不明ナルモノ一応政府ニ電照スヘシト応酬セルニ李ハ同日午後当地各機關及党部代表者ノ外交問題聯席會議アルニ付右會議ニ附議シ大体反對無キニ於テハ其ノ旨回答スヘキニ付右回答ヲ待ツテ日本政府ニ電照セラレタシト申出別レタリ依テ本六日田中ヲ遣ハシ右聯席會議ノ結果ヲ尋ネシメシ処李ハ非常ニ困惑ノ態度ヲ以テ右會議ハ実ハ意外

ニ紛糾シ殊ニ党部代表者側ニ於テ反日運動取締ト陸戦隊撤退ヲ同時ニ実行ノ条件ヲ固執シ他ノ諮機関代表ノ勧誘アリシニ拘ラス態度甚タ強硬ニテ若シ前記ノ条件ニテ水案ヲ解決スルニ於テハ到底門満ニ治マル見込ナク同員ハ從來本官トノ話ノ成行モアリ其ノ処置ニ窮シ居ル旨ヲ語り尚詳細書面ニテ申出ツヘキニ付右ニテ御承知有リタシトノ趣ナリ不取敢

支、上海、蘇州ニ転電セリ

441 昭和4年5月(7)日 在漢口桑島総領事より  
田中外務大臣宛(電報)

李交渉員より水案及び反日会、罷工委員会取消に關し先ず日本側が陸戦隊を撤退して誠意を示す様申越しについて

漢口 發  
本省 5月7日後着

第四〇四号(至急)  
往電第四〇二号末段ニ關シ  
李交渉員ヨリ六日附書面ニ接シタル処其ノ大意左ノ通

「水案解決及反日会、罷工委員会取消ニ關シ總司令部(蔣介石ノ留守機關)並湖北省政府党政各機關代表聯席會議ノ結果水杏林ハ陸戦隊機關銃ノ為轢殺セラレタルハ事実ナルヲ以テ日支修好ノ為日本側ハ先ツ陸戦隊ヲ撤退シテ誠意ヲ示サレタク右ニ關シテハ李ヨリ外交部ニ對シ直接芳澤公使ニ協商方既ニ電請シ又支那側トシテハ極力兩國親善ヲ計ル為誠意ヲ示シ本日以後所有武漢地方反日会及罷工委員会等ノ反日民衆団体ニ關シ李ヨリ省政府ニ請求シ同政府ヨリ日貨ノ検査及沒収ノ行為ハ一律之ヲ制止スヘキ旨ノ通令ヲ發シタルニ付本官ヨリモ速ニ政府ニ對シ陸戦隊即時撤退方電報セラレタシ」

右ニ依レハ支那側ハ水案ト陸戦隊撤退ト同一問題トシテ解決シ更ニ

水案ニ關係ナク從來活動シツツアリシ反日会モ此ノ期ニ全然取締ル意思ヲ示セルモノナルカ文意簡ニシテ彼此ノ關係明瞭ヲ缺ケルヲ以テ本七日李ニ會見シ水案ト陸戦隊トハ甘交渉員ト交渉ノ際ニモ既ニ別個ノ問題トシテ取扱居リ而モ陸戦隊ニ關シテハ僅ニ將來ノ撤退ニ關スル聲明ノ範圍ヲ出テサリシニ若シ前記書面ノ如ク水案解決条件トシテ陸戦隊

442 昭和4年5月7日 在上海重光總領事より  
田中外務大臣宛(電報)

日本商工会議所金曜会で報告された日貨取引  
状況について

上海 5月7日後發  
本省 5月7日後着

第六三七号

即時撤退ヲ要求セハ仮ニ政府ニ於テ右撤退ノ意嚮アリトスルモ体面上其ノ決行ヲ躊躇スルヤモ計リ難ク本官ノ意見トシテハ李ニ對シ当初ヨリ主張ノ通水案ハ水案トシテ解決シ一方反日ニ關スル諸機關ヲ取消シ一切此ノ種行動ヲ取締リ若シ日貨検査等ノ事例發生ノ場合ハ武力ヲ以テモ之ヲ取締ルノ措置ニ出テ右取締リ徹底シ本邦商ハ勿論支那商モ何等憚ル処ナク日貨ノ取引ニ至ラハ貴方ノ希望ニ依リテ本官トシテモ政府ニ對シ陸戦隊撤退方稟申シ得ル旨ヲ告ケ如何ニ時局改善ニ急ナレハトテ餘リニ前後ヲ誤リ事理ヲ没却セル前記申出ヲ其ノ儘政府ニ取次キ難キ次第ヲ懇々説示セシニ李モ素ヨリ異論ナク只現状ニ於テハ市党部等ノ要望ハ地方官憲トシテハ或ル程度迄抑留シ得サル事情アルヲ以テ不取敢王正廷ニ對シ此ノ際中央政府ヨリ中央党部ニ当地党部説得方要請スル様取計方本日電請シ更ニ一方当地各官憲協力シ党部ノ指導シツツアル反日運動停止方説得スヘキニ付此ノ数日間ノ反日運動ハ如何ニ推移スルヤ又日貨ノ引取如何ニ開始セラルルヤ其ノ結果ヲ見ラレタシト答ヘタルニ付本官モ一応右成行ヲ見ルヘキ旨答ヘ置ケリ不取敢

北平、上海、南京ヘ転電セリ

当地ノ排日貨運動ハ屢次電報ノ通官憲ノ指導取締微温ナカラ加ハリ目下積極的排日活動停止セラレ居ルカ為租界内ハ勿論支那町方面ト雖日貨ノ封存糾察押収ハ公然行ハレサルモ市党部救国会学生会工会等ハ依然惡辣ナル排日宣伝ニ没頭シ且奧地方面例ヘハ無錫、鎮江、常州、溫州、蘇州、杭州、寧波、蕪湖、九江等ニ於テハ日貨ノ糾察依然熾烈ニシテ抑留処罰事件頻出シ居ル趣ニテ大体ニ於テ日貨ニ對スル人氣漸次回復シ一般ニ氣分好転シツツアルニ拘ラス支那商ハ今尚前途ヲ懸念シ一般ニ氣分ノ状態ヲ続ケ居レリ尤モ兩三日來排日紀念日平穩無事經過及官憲ノ取締振リニ依リ状況幾分好転氣配ヲ示シ來レリ本月三日金曜会ニ於ケル當業

者ノ報告左ノ通

(一) 在華紡績、客月末頃ハ相当出荷アリタルモ昨今再び停頓状態トナレリ右ハ原綿安相場下押シ気味ト奥地排日依然烈シキ為積出シヲ躊躇セルト五月中ノ各種記念日ノ前途見極メ附カサル為ナラム

(二) 加工綿布、奥地ニ於ケル排日何等改善セサル為積出シ荷物統々抑留セラレ前週中ノ荷動キ三千餘俵

(三) 輸入綿絲、客月末頃出荷稍良好ナリシモ兩三日来又復逆転

(四) 砂糖、奥地状態不良ノ為取引数量増加セス

一方新規契約品続々入荷アリ相場下落日支商人トモ難渋ノ態

(五) 紙、蘇州杭州地方ハ救国基金ニ依リ送荷可能当地支那町

及其ノ他地方トモ一般ニ商ヒ出来ス済案解決前ト同様

(六) 海産物、依然不良中央ヨリ地方反日会ニ取締命令ヲ発スルモ其ノ地反日会ノ手ニ握リ潰サル取締命令ノ周知方ヲ講スル要アリ

(七) 工業製品、最近独逸品米国品ニ圧迫セラレ苦戦ノ状態アリ

レハ即時釈放方交渉員ニ対シ嚴達スヘシトテ本官ノ面前ニ於テ右電信案ヲ起草シ發電ノ手續ヲ取リタリ尚王部長ヨリ政府ノ注意ヲ喚起シ党部ヘモ命令セシムル事トセリ其ノ節周龍光ハ貴地反日会側ヨリ外交部ニ対シ水案ニ関シハケ条ヨリ成ル要求条件ヲ附シ激越ナル電報ヲ寄越シタリ外交部トシテハ勿論之ヲ取上クル次第ニ非サルモ陸戦隊ハ成ルヘク速ニ撤退ノ取計ヲ得度ク李交渉員ニモ陸戦隊ハ全々別個ニ取扱ヒ水案解決ニ付テハ同問題ニ触レス日本ヲシテ快ク撤退セシムル様専ラ取計フヘキ旨訓令セリト語レリ  
大臣、北平、上海ニ転電セリ

444 昭和4年5月11日

在上海重光総領事より  
田中外務大臣宛(電報)

王外交部長に対し長江流域地方において依然  
日貨の糾察盛んな折から新に同地方に排日取締命令の徹底取計方を求めたことについて

第六五八号

上海 5月11日午後  
本省 5月11日午後

(八) 穀肥、輸入品ハ排日ノ影響ヲ受ケス麦粉雜穀外米等ノ輸入品ハ奥地ノ排日ヲ虞レテ商談ナシ

(九) 雜貨類、荷動キ依然滞滯済案解決前ト略々同シ  
北平、南京へ転電セリ

443 昭和4年5月9日

在南京岡本領事より  
田中外務大臣宛(電報)

外交部に対し抑留日貨の返還取計方申入れ並び  
び同部より水案に関連して我が陸戦隊撤退取  
計方申出について

南京 5月9日午後  
本省 5月10日午前

第五一三号

本官發漢口宛電報

第五五号

貴電第二七八号ニ関シ

本九日他用ヲ以テ王正廷往訪ノ際同席ノ周龍光ニ対シ御来示ノ次第ヲ委曲説明シ至急抑留貨物ノ返還取計方申入レタル処周ハ右ノ行為ハ正ニ中央ノ命令ニ違反シ甚タ不都合ナ

往電第六五六号ニ関シ

十一日朝王部長ト山東接収ニ付会談シタル後ヲ受ケ本官ハ王ニ対シ此ノ際排日取締ニ付更ニ貴部長ノ考慮ヲ願度シト前置シ最近排日運動ノ情勢ヲ通觀スルニ貴部長等ノ努力ニ依リ或ル地方ニ於テハ相当緩和ノ微現ハレタルカ他ノ地方ニ於テハ緩和セサルノミナラス寧ロ以前ニモ増シ惡化セル模様モアリ右ハ日本商人方面ヨリノ情報ニ依ルモ明カニシテ特ニ長江筋甚タシク例ヘハ漢口、九江、蕪湖、寧波、鎮江、無錫、常州、蘇州、杭州等ニ於テハ日貨ノ糾察依然盛ニ行ハレ居レリ右ハ各種記念日等ノ催シニ刺戟セラレタル事情モアルヘキカ今尚スル状態ニテハ愈兩國間ノ空氣ヲ惡化スヘシ現ニ日本商人ノ如キハ常ニ日本ニ電報シ排日ニ対スル支那側取締ノ不充分ナルコトヲ指摘シ支那側ノ約束ハ當ニシ得スト迄極言シ居レル程ニテ自分等ハ斯ル意見ノ日本ニ拡マルコトヲ希望セサルニ依リ出来得ル限り抑ヘ居ル次第ナルカ右ノ如キ空氣一般ニ波及スルニ於テハ今後兩國間ニ於テ処理スヘキ交渉ニ妨アルヘク且排日運動ノ如キハ所詮支那自身ニトリテモ不利ナルコト勿論ナルニ依リ前述シタル尚盛ナル各地ニ対シテハ新ニ取締ノ命令ヲ出シ右命

令ノ徹底ヲ期スル為新聞等ニモ公表シ一般ニ周知セシムル様取計ハレ度シト述ヘタルニ王ハ排日運動取締ニ付テハ全然御同感ニテ着々努力シ居リ成績ヲ挙げ居ル積リニテ殊ニ山東ノ撤兵極メテ満足ニ行ハレ居ル現状ハ一般ノ対日感情ニモ好影響ヲ与フル事ト期待シ居ル次第ナリ尤モ只今御希望ノ措置ハ出来得ル丈ケ速ニ取計フヘシト答ヘタルニ依リ本官ハ豫メ用意シ置キタル各地排日状況ヲ簡單ニ認メタル「メモ」ヲ手交シ置キタルカ午後再ヒ王部長ト会見ノ際更ニ念ヲ押シ置ケリ

北平、南京、蘇州、杭州、漢口、九江、蕪湖へ転電セリ

445 昭和4年5月14日 在奉天林総領事より  
田中外務大臣宛(電報)

奉天商工總會、教育会等発起の民衆教育大会  
開催について

奉天 発  
本省 5月14日後着

第三二六号

当地商工總會、教育会、青年会及各学校新聞社ノ発起ニテ

当地反日状況ハ往電第一〇四号及往電第一〇八号ノ通一時緩和セラレタルカ如ク見受ケラレタル処五三記念日ヨリ往電第一一一号ノ通反日会ノ氣勢稍盛返シ五三当日掲出セラレタル反日標語絵画等ハ五九記念日ヲ過キタル今日迄我方屢次ノ交渉其ノ効ナク撤退セラレス尤モ検査員ハ其ノ数減シ街上ニ於ケル検査没収ハ止ミタルモ往々ニシテ日貨ヲ購買セル支那人ヲ追跡シテ其ノ店舗又ハ居宅ニ赴キ罰金ヲ徴スル等ノ手段ニ出テ居ル為支那商民ハ引続キ反日会ニ恐ヲ懷キツツアル始末ニテ「マーケツト」ハ幾分ノ見越輸入アリタル模様ナレトモ一般ハ警戒気分濃厚ニテ依然荷動キ殆トナシ尚当地反日会ハ救国基金五十餘万ヲ有スル強固ナル団体トナリ官憲ノ勸説ニ依リ救国運動会ト改名スルコトトナリ居ルモ未タ実行セス五月三日限リトセル日貨封鎖期限ヲ今月末迄ニ延長シ仮令改名スルトモ通商条約改訂二十一箇条取消迄排日運動ヲ停止セサルノ申合セヲ為シ又幹部連ハ官憲側ヲ問フテ諒解ヲ求メントシツツアル等反日運動繼續ヲ策シ居ル処全国反日会大会ノ結果如何ニ依リテ最後ノ決定ヲ為サントスルモノノ如シ

他面当地官憲ノ反日会ニ対スル態度ヲ見ルニ畢竟勸説ニ止

十二日民衆教育大会総商會内ニ開催セラレ「日本ト当国」ナル講演及「一片ノ愛国心」等ノ演劇アリタルカ引続キ十三、十四兩日東北大学其ノ他各所ニ於テ「五九記念」「不平等条約」「日本ノ對東北鐵道政策」等各種ノ講演行ハレタル処講演ノ題目等ヨリ看ルニ其ノ目的排日氣勢ノ煽動ニアルコト明カニシテ此ノ種裏面ニ於ケル排日の運動ハ漸次拡大ノ傾向ニアリ

上海ヨリ南京へ転電アリ度シ

支、上海、天津、青島、濟南へ転電シ在滿洲各領事、芝罘へ暗送セリ

446 昭和4年5月15日 在天津田代総領事代理より  
田中外務大臣宛(電報)

反日会は改称を實行せず且つ日貨封鎖期限を  
延長し通商条約改訂、二十一箇条約取消まで  
排日運動を停止しない構えについて

天津 5月15日後発  
本省 5月16日後着

第一二二号

マリ何等敵然タル措置ニ出テス我方ヨリ交渉スル毎ニ断乎タル措置ニ出ツル事ハ却テ反日会ニ口実ヲ与フルノ結果トナルヘキ事ヲ恐レ勸説誘導ニ苦心シツツアリト称シ自己ノ立場擁護ノ為専ラ党部ノ意ニ迎合セントシツツアル有様ナリ

北平、奉天、上海、青島、漢口、廣東へ転電セリ

447 昭和4年5月16日 在奉天林総領事より  
田中外務大臣宛(電報)

排日的行動取締りに関する張学良の談話要領  
について

奉天 5月16日後発  
本省 5月16日後着

第三三二号

十五日張學良ノ本官ニ為セル談話要領左記ノ通

一、日支国際関係ハ濟南、南京、漢口事件ノ解決ト共ニ漸次好転シツツアル際人民ノ排日的行動ハ嚴重取締ノ要アルハ勿論ニシテ自分ハ豫テ公安当局者ニ嚴重取締方ヲ命シアルモ愛国運動ヲ標榜スル此ノ種運動ヲ取締ル事ハ相

当ノ苦心ヲ要シ表面之ヲ庄スル時ハ却テ反動ヲ生シ意外ノ問題ヲ惹起スル虞アレハ現在ニテハ共產黨員便衣隊取締等ノ名義ヲ以テ一般学生団体等ノ集会ヲ嚴禁シ居ル次第ナリ

二、民衆教育大会（往電第三二六号）ノ開催ニ関シテハ当初単ニ民衆教育普及並ニ一般衛生講演ヲ為ストノ事ナリシヲ以テ相当制限取締ヲ加ヘ許可シタルニ其ノ内容相違シ居ル旨報告アリタルニ依リ引続キ各学校等ニテ講演スヘキ豫定ナリシカ禁止セシメタリ

三、尚省党部設立ノ延期シ居ルハ三民主義ノ宣伝ハ差支無キモ共產主義宣伝ノ虞アレハ種々ノ口実ヲ設ケ有耶無耶ニ延引セシメ居ル次第ナリ

上海ヨリ南京、漢口、廣東ヘ転電ヲ請フ

往電第三二九号同様転電及暗送セリ

448 昭和4年5月18日

在上海重光總領事より  
田中外務大臣宛（電報）

学校、軍隊、各級党部機関に於ける排日教育  
の現状について

人学校ヲ捜査シタル際押収セル生徒ノ練習本カ全部過激ナル排日講義ノ筆記ヲ以テ埋メタルモノアルカ如キ

ハ好適例ナリ実物ハ他ノ印刷物ト一括郵送ノ答

二、学校及軍隊ニ於ケル三民主義及党化教育ノ教科書ニハ排日排外ノ教材モ含ミ居ルノミナラス外部ノ排日の空気に支配セラレ教員並ニ生徒ハ対日事項ニ付一層鋭敏ナル感情ニ駆ラレテ往々極端ナル排日教育ノ実施ヲ見之ニ伴フ各種運動外部ニ現ハルコト往々アリ右ハ必シモ国民政府筋ノ明令ニ出テタルモノニ非サルモ

固ヨリ其ノ黙認スル処ニ係リ主トシテ排日運動ノ中枢機関タル党部ノ密令指示ト各級党部ノ指導トニ依ル結果ナルコトハ從來ニ於ケル排日運動ノ経過ヨリ見テ明ニシテ從テ党軍政三機關何レモ連帶ノ責任アルモノト云フコトヲ得ヘシ

三、排日排外ノ教材ヲ含ム教科書各書店ニ於テ公売セラルルモノ多数アル処当館ニ於テ蒐集シタルモノ左ノ通（別途郵送ス）

（一）三民主義唱歌、三民主義教育ト共ニ革命思想及排日鼓吹中ニ五九記念ノ国歌アリ

第六八八号

貴電合第二八二号ニ関シ

一、学校軍隊各級党部機関ニ於テ三民主義及党化教育ニ附随シテ一般排外思想ヲ注入スルコトハ国民党ノ根本方針トモ見ラレ居ルカ一昨年ノ第一次山東出兵後殊ニ昨年濟南事件發生以来ハ一般的排外教育ヨリモ排日思想ノ鼓吹ニ重点ヲ置キ全国的ニ普及シタル排日団体ノ組織ト相俟ツテ極端ナル排日宣伝排日運動ヲ実施スルニ至レリ

（イ）各学校ノ教科書ノ如キモ從來ヨリモ其ノ内容ニ於テ排日的色彩濃厚ノモノヲ選フニ至リ新ニ編纂セラレタル国歌小史、国歌読本、国歌歌、反日歌曲ノ如キ排日教材ヲ始メ小学校党化教材三民主義課本其ノ他歴史地理読本等ノ常識涵養ノ一般教科書ノ中ニモ鮮カラス排日排外ノ題目ヲ挿入シ教員ハ教育実施ニ當リ排日教材ヲ敷衍シテ徹底的排日思想ヲ注入シ居レリ

（ロ）軍隊内ニ於テモ党務機関及訓練処ニ於テ党化教育ノ傍排日思想ヲ注入シ居ル趣ナリ最近租界警察ニ於テ支那

（二）反日歌、濟南事件直後ニ編纂セラレタルモノニシテ全部排日歌曲ヨリ成ル

（三）小学党化教材、三民主義革命思想ノ教育ト共ニ五七、五九（二十一ヶ条問題）五三〇、一三、大沽、義和団等ノ各事件ヲ挿入シ居ル外不平等条約租界等ニ関スル排外教材ヲ含ム

（四）小学党化教材参考書、前記排日排英排外ノ教材ヲ説明スルニ當リ国歌図画等ヲ取交セ教育スルノ方法ヲ説示セルモノアリ

（五）新時代三民主義教科書、主トシテ三民主義革命思想教育ト同時ニ一般的排外思想ヲ注入ノ為不平等条約二十一ヶ条、五三事件等ノ教材ヲ含ム

（六）三民主義課本、主トシテ三民主義教育ナルモ諸所ニ排外的鋒鋷ヲ現ハシ居レリ

（七）国歌読本、普通小学校教科書ニシテ特ニ排日排外の教材ナキモ革命思想及三民主義教材ノ内ニ稍鋒鋷ヲ現ハセリ

（八）歴史課本、日清戦役以来ノ日支外交事件殊ニ最近ノ濟南事件後モ羅列シテ排日排外ノ教材トセルモノ少カラ

上海 発  
本省 5月18日前着

ス

(九)地理課本、特ニ排日教材ト称シ得サルモ内ニ排日排外  
のモノヲ含ム

(十)歴史課本教授書、各種排日排外ノ教材ヲ捉ヘテ排日排  
外思想注入ノ教育指針ヲ為セルモノニシテ教員用ノモ  
ノナリ

(十一)三民主義課本教授書同上

北平、南京へ暗送セリ

449 昭和4年5月(19)日

在漢口桑島總領事より  
田中外交大臣宛(電報)

陸戦隊の撤退を水案と切り離すと共に反日取  
締の好機と考えられる旨の朱祝元との合意に  
ついて

漢口 発  
本省 5月19日前着

第四四九号

往電第四二二号ニ関シ

更ニ交渉員及南京外交部派遣ノ朱祝元ト意見交換ノ結果水

案ト陸戦隊撤退問題ハ全然別個ノ問題トスルハ勿論反日運

動モ支那側自発的ニ之カ取締ヲ為シタル上ハ本官ニ於テモ

撤兵方政府ニ建議スルコトニ双方了解ヲ遂ケ同員ハ一昨十

六日總司令部ニ於テ各党政関係代表者ノ集合ヲ求メ殊ニ何

應欽カ中央政府參謀總長及訓練總監ナルニ加フルニ中央党

部訓練部副部長トシテ党務ニ勢力アルヲ從來兎角横車ノ態

度ニ出ツル市党部ノ抑制ニ利用シ先ツ反日運動取締ノ決議

ヲ為シ其ノ結果本十八日附ヲ以テ正式文書ヲ以テ本官ニ左

ノ通申越セリ

「日支間懸案ニ関シ本員ハ国民政府対日親善政策ニ照シ兩  
国睦誼ヲ促進スル為特ニ各關係当局ト商議シ本月十八日以  
後湖北省内一切ノ反日団体ノ活動ヲ停止セシメ並ニ抑留貨  
物ヲ整理シ其ノ返還ニ備ヘシムル事トシ以テ好感ヲ表スル  
事ニ決定セリ但貴国方面ニ於テモ最近日支兩國間親善ヲ増  
進シツツアル際ニ付所有之カ障害ハ貴總領事ニ於テ兩國親  
善ノ趣旨ヲ以テ必ス速ニ之ヲ除去シ睦誼ヲ敦ウセラルルヲ  
確信ス云々」

近來日貨ノ検査ハ事実殆ト中止狀態トナリ又抑留日貨モ  
著々邦人ニ返還シツツアリ支那側トシテハ從來ニ見サル真

面目ノ態度ヲ示シ居リ將又前記書面後段ハ夫レト無ク撤兵  
ノ希望ヲ意味シ居ルハ勿論ナルモ文面ニハ全然撤兵ニ言及  
スルヲ避ケ居リ本官ト同員トノ間ニ本官反日取締ノ結果治  
安維持セラレタル事ヲ確メタル上同事実ヲ政府ニ申報スル  
モノニシテ毫モ反日取締ト撤兵問題ヲ交換条件トスル意味  
無キ事ハ充分了解ヲ遂ケ居レリ就テハ貴電第一〇八号ノ御  
趣旨ヲ以テ近ク陸戦隊撤退御決行相成トセハ此ノ機ヲ以テ  
好機會ト認メラルルニ付右御含アリタク御決定ノ上ハ折返  
シ御回示相成度シ

支、上海、南京へ転電セリ

450 昭和4年5月28日

在中国堀臨時代理公使より  
田中外交大臣宛(電報)

中国側が通商改訂交渉に当リ排日運動を駆引  
きの具として利用することに着目し同運動対  
策考究方意見具申

北平 5月28日後発  
本省 5月28日後着

第五六一号(極秘)

(1) 排日運動ノ形勢ハ対支貿易ノ過半ヲ制スル長江一帯ニ於テ  
依然トシテ其ノ活動衰ヘサル外当地地方ニ在リテ僅ニ零碎ノ  
雜貨ヲ鬻ク日本商人ニ対スル圧迫カ除去セラレタルニ止リ  
綿糸布其ノ他ノ重要商品ニ在リテハ支那商人ニ於テ過去ノ  
苦シキ經驗ニ顧ミ官憲カ反日会解散並ニ日貨購買自由ノ布  
告ヲ発スルニ非サレハ取引ヲ肯セサル為天津ニモ滞貨尚堆  
キ情勢ナル処累次ノ拙電ニテ御承知ノ通当地方治安当局ニ  
於テハ南京中央当局ノ訓令カ要求スル程度ノ措置ハ殆ト其  
ノ極度迄之ヲ取り尽シタル感アリテ一切ノ禍根ハ中央党部  
ヲ制御スル能ハサル中央政府ノ無力ニ存スルコト商農ノ淡  
白ナル打明ケ話ニ依リ明白ニシテ斯ル形勢ヲ放置センカ反  
日会ハ其ノ名称ヲ存置スルト將又救国会ト改称スルトヲ問  
ハス之カ制度ハ固定シテ我ニ対スル永久的ノ禍ヲ為スモノ  
ト考ヘサルヲ得ス而シテ排日運動ノ命脈斯ノ如ク持續スル  
原因ハ幾分ハ之ニ依リ衣食ヲ得ル無賴漢ノ策動ト日貨排斥  
ニ依リ国貨振興ニ資セントスル一部ノ支那事業家ノ内面的  
煽動モ与ル処アラシモ之カ主因ハ最近ニ於ケル支那最大ノ  
国恥案件タル濟南事件ヲ解決シタル外交上ノ成功カ排日ヲ  
以テ日本ノ武力強堅ヲ屈服セシメタル結果ナリトシ此ノ力

ヲ利用スルニ於テハ将来ノ対日外交又同様ノ成功ヲ博シ得ヘシトノ思想カ不言不語ノ内一般民衆ト言ハス中央党部ト言ハス將又中央政府当局ノ脳裡ニモ膠著シ居ル為ナル事ハ殆ト想像ニ難カラサル処ニシテ

果シテ然ラハ排日運動ハ日本ニ執リ単ニ排日運動夫レ自身トシテノ影響ヲ注意スルノ要アルニ止マラス近ク開始セントスル通商条約商議ニ際シ必然的ニ支那側カ利用スヘキ武器ナルコトに着目シ今日ヨリハ此ノ方面ノ影響ト対策ヲ研究シ置クノ必要アルヲ思ハシム此ノ点ニ對スル本官ノ考ハ此ノ際排日ノ旧態依然タル実況ヲ世間ニ周知セシメ我カ對支貿易業者ニ注意ヲ一層此ノ方面ニ振向ケシムルト同時ニ通商条約商議ノ任ニ當ルヘキ我公使ニ於テ斯ル世上ノ空氣ヲ背景トシ支那側ニ對シ更メテ排日抑圧ノ必要ヲ嚴肅ナル態度ヲ以テ申入レ其ノ実効拳ル迄ハ通商条約ノ如キ万善ナル國際睦誼ヲ前提トスヘキ恒久的取極ノ商議ニ入ルニ躊躇スルモノナルコトヲ附言シテ其ノ効果ノ顯ハルルヲ暫ク俟ツコト然ルヘク其ノ理由ハ(一)支那ニシテ不平等條約ノ撤廃ヲ欲スル以上通商条約商議ヲ開始セサルコトハ内外ニ對シ苦痛トスル所ナルヲ以テ必スヤ完全トハ謂ハレサルモ今日

以上或ル程度迄ハ排日取締ニ歩ヲ進ムルノ効アルコト疑ナカルヘシ(二)而シテ取締ノ效果ノ完全ナルヲ俟テ商議ヲ開始スルト或ル程度ノ效果拳ルヲ俟テ妥協的ニ商議ニ入ルトノ利害ハ尚考究ヲ要スヘキカ

其ノ結論ハ暫ク之ヲ措キ右何レカノ前提ノ下ニ商議ニ入リタル後談判難局ニ直面スル曉支那ハ必然的ニ排日ノ武器ヲ持出スヘク其ノ場合ニ於テハ日本トシテハ排日運動其ノモトヲ理由トシテ談判ヲ中止スルコトヲ宣明シ商議ノ難險ヲ回避センカ為ニ談判ヲ打切りタル非難ヲ或ル程度迄緩和シ得ヘシ而シテ談判難局ニ陥リタル後此ノ方法ニ出テンカ為ニハ其ノ伏線トシテ豫メ商議ニ入ルニ先立テ現存スル排日ニ向テ一矢ヲ放チ置クコト絕對ニ必要ナリト信ス(三)尤モ商議ニ入ルニ先立チ日本カ排日ヲ理由トシテ商議ヲ拒ム態度ニ出テナハ支那ハ最近日支間ノ條約問題ニ關スル交換公文及諒解事項ヲ楯トシテ臨時弁法適用ノ對抗方法ニ出スルナキヲ保セストノ懸念ナキニアラサルモ蔣馮ノ政治關係逼迫カ南京側ノ行動ヲ多少慎重ナラシムヘキ外治外法權問題ニ對スル英米仏其ノ他ノ態度ノ保守的ナル事實ハ王正廷ヲシテ最早日本以外何レノ國ヨリモ不平等條約打破ニ一歩ヲ進

ムヘキ華々シキ外交的成功ヲ期待スル能ハサル羽目ニ陥ラシメタル觀アリ王正廷トシテ日本ニ對スル態度左迄理不尽ナル能ハサルヘク旁本官ノ見ル所ヲ以テスレハ叙上ノ措置ハ日本ニ執リ非常ナル危險ヲ孕メル行方トハ考ヘラレス就テハ排日運動及通商条約商議ノ両面ニ亘ル掛引トシテ当路ノ切実ナル御考慮ヲ仰ク

(上海ヨリ商務參事官ヘ轉達アリタシ)

上海、南京、天津ヘ轉電セリ

451 昭和4年5月30日 在天津岡本(武三)総領事より  
田中外務大臣宛(電報)

中国側が反日運動取締に不徹底な理由について

天津 5月30日後発

本省 5月31日前着

第一四四号

往電第一三七号ニ関シ

二十八日新任挨拶ノ為澤田參事官及原田通訳官ト共ニ省政府ニ商震ヲ問ヒタル際本官ハ商ニ對シ濟南事件解決ニ當リ支那政府カ反日運動取締ヲ約シタル結果支那官憲ハ中央官

憲タルト地方官憲タルトニ論ナク反日運動取締ノ責務アル事ヲ縷説スルト共ニ同電所報ノ商カ天津反日会代表者ニ對シ同会ノ運動ヲ默認スヘシト告ケタリト同代表者ヨリ報告アリタル結果当地反日会ハ各日貨排斥運動ヲ盛ニシ來レル事實ヲ指摘シ天津反日会ニ對シテ取締措置方申入レタル処商ハ過日多数ノ天津反日会代表者ナルモノ來平シ同人ノ居所ヲ取囲ミ登庁ノ途ヲ擁シテ反日会ニ對スル方針ヲ聞カン事ヲ強要シタルモ同人ハ本件ハ既ニ公安局長ノ手ニ移リ居ルニ付公安局長ニ聞キ質スヲ可トスヘキ旨ヲ告ケタルノミニテ其ノ後ハ一言ヲモ發セサリシ次第ナルニ右代表者ハ之ヲ以テ反日会ノ行動ヲ默認シタルモノトシテ報告シタルモノナリト云ヒ中央政府ノ本件ニ關スル訓令ハ頗ル微温的ノモノニシテ反日会ヲ取締ルト云ヒ乍ラ南京ニ反日会總會ヲ默許シ居リ其ノ結果地方ヲシテ中央ノ本件ニ對スル真意ノ如何ニ付種々ナル想像ヲ生セシムル事トナル次第ナルカ自分トシテハ本件ニ關シテ嚴重ニ取締ヲ為スヘシト述ヘタルニ付本官ハ是非右様取計ヲ希望スル旨ヲ告ケ置キタリ

北平、上海、南京ニ轉電セリ

452 昭和4年5月31日

在上海重光総領事より  
田中外交大臣宛(電報)

在華日本商工会議所等よりボイコットの終息  
を待つて条約改訂商議に臨む様要望について

上海 発

\* 第七四二号

本省 5月31日後着

三十一日当地商業會議所其ノ他當業者代表会合ノ折排日運動ノ形勢ハ今尚依然トシテ緩和ヲ見ス殊ニ六月三日南京ニ於テハ全国反日大会開催セラレ相当過激ナル決議モ見ルヘシトノ豫想モアリ此ノ儘ニテ推移スレハ到底完全ナル排日運動ノ終熄ハ期待シ得ヘカラサル状況ナルニ付此ノ際我方トシテハ条約改訂商議前ニ於テ先ツ排日取締ノ誓約履行ヲ支那政府ニ迫リ完全ニ排日運動終熄ノ実績ヲ見ルニ非サレハ条約改訂商議ニ入ラサル方針ニテ支那側ヲ督励スル様政府ニ具申セラレタキ旨列席者一同ノ意見トシテ出席ノ當館員ニ希望セル趣ナリ

453 昭和4年6月5日

在漢口桑島総領事より  
田中外交大臣宛(電報)

陸戦隊撤退にもかかわらず反日運動継続中なる  
も漸次運動終息の方向と観取せられるについて

漢口 6月5日後発

本省 6月6日前着

第四九九号

往電第四八五号ニ関シ

当地反日運動ノ取締ノ成績依然渺々シカラサルヲ以テ本五日交渉員公安局長同道来訪ノ機会ニ右ノ事実ヲ指摘シ支那側ノ徹底的取締聲明ヲ信賴シ我方ニ於テモ既ニ自発的陸戦隊ヲ撤退セシメシニ尚スル状態ハ甚タ心外ニ堪ヘスト難詰セル処同局長等ハ目下反日運動ハ地方官憲ニ於テ断然制止セシメ居リ適々日貨検査等ノ事例アルハ検査員又ハ之ヲ反冒スル不逞ノ徒力過渡期ヲ利用シ所謂小遣取ニ妄動スルアル為ニテ官憲ニ於テハ出来得ル限り之ヲ取締ル方針ナリ尤モ目下当地市党部代表者南京方面ニ出張中ニテ右帰漢ノ上ハ根本的ニ反日運動終熄スヘシト弁明シ暗ニ最近南京方面ニ於テ党部ノ全国宣伝大会開催セラレ反日運動停止ノ決議

ヲ見ルニ至ルヘシトノ説アルニ対シ何等カ期待ヲ有スルカ如キ口吻ヲ洩セリ又本五日岡村カ反日会事務所ニ於テ聞ク処ニ依レハ反日会ハ未タ何レノ方面ヨリモ運動停止ノ命ヲ受ケシコトナキヲ以テ依然之ヲ続行シツツアルモ若シ市党部ヨリ命令出ツルニ於テハ直ニ之ヲ停止スル筈ニテ恐ラク水案解決ハ右停止ノ時機ナルヘシトノ趣ニテ右ハ勿論相当虚勢ヲ張レル談話ニシテ全然信ヲ置キ難キモ前記公安局長トノ談ト綜合シ近ク市党部側ニ於テ中央及地方官憲ノ意圖ヲ体シ何等カ反日態度ヲ改ムルカ如キ切掛ケヲ生スルニ非スヤトモ観取セラルルニ付御参考迄

支、上海、南京、天津、長沙へ転電セリ

454 昭和4年6月5日

在長沙槽谷領事より  
田中外交大臣宛(電報)

反日会の横暴に対し中央党部より省党部に嚴重  
取締方訓令を与えること最も得策との意見上申

長沙 6月5日後発

本省 6月6日後着

第五四号

排日運動取締方ニ関シテハ往電第三六号蔣介石及往電第三八号何鍵ニ対シ夫々申入置キタル外其ノ後引続キ支那側ニ対シ機會アル毎ニ之カ取締方要求シ来リタルニ拘ラス反日会ハ依然邦人商店ノ取引妨害支那商店ノ本邦品検査沒收等ノ横暴ヲ続行シ甚シキハ本五日ノ新聞ニ依レハ反日会ハ一支那商店内ニ多数ノ本邦品ヲ発見シタル趣ヲ以テ該商人ヲ県知事公署ニ送り木檻ニ入レ曝物ニスル計画アル旨ヲ報道シ居レル状況ナルヲ以テ本官ハ本日省政府代理會繼梧ヲ往訪シ(交渉員列席)右ノ実情ヲ指摘シ之カ抗議ヲナシタルニ曾ハ調査ノ上嚴重取締ルヘキ旨言明シ尚徹底的取締ノ困難ナル事情トシテ省政府ニ於テハ中央ノ命令ニ依リ既ニ反日会解散方ヲ発令シ之カ取締ヲ実行セントスルモ何分省党務指導委員會ニ於テ之ニ反対シ居ルニ付中央党部ヨリ当地省指導委員會ニ命令ヲ下サシムルヲ最有効ト信スル旨ヲ内話セリ

從來当方ノ抗議ニ対シテハ支那側ニ於テハ其ノ都度取締ヲ言明シ乍ラ何等其ノ効果ナキニ鑑ミ前記木檻監禁ハ兎モ角一般排日ハ曾ノ言明ハアルモ依然続行セラルヘキ見込ニテ右ハ反日会カ党部指導ノ下ニアル關係上省政府当局カ党部

ノ意向ヲ気兼ねスルト共ニ自己ノ地位保持ノ為誠意アル措置ニ出ツルコト能ハサルニ依ルモノナルカ如ク此ノ上如何ニ省政府側ヲ責ムルモ結局無駄ニ終ルヘキヤニ思考セラルルニ付此ノ際中央政府ヨリ省党部ニ対シ嚴重反日会取締方訓令セシムルヲ最得策ト信セラル

右ハ既ニ御配慮相成居ルコトトハ存セラルルモ卑見為念申添フ

北京、上海、南京ニ転電シ漢口ニ暗送セリ

455 昭和4年6月6日

田中外務大臣より  
在上海重光総領事宛（電報）

中国側に排日運動取締方申し入れにつき訓令

本省 6月6日 前11時30分 発

第三六一号

北京発本大臣宛第五六一号ニ関シ

芳沢公使ヘ左ノ通御伝ヘアリタシ

支那側ニ於ケル各地排日運動取締ノ実績依然トシテ未タ特ニ見ルヘキモノナキハ我方ノ最モ遺憾トスル所ニシテ前記掘代理公使稟請ノ趣旨ハ此意味ニ於テ篤ト考量ニ値スル義

「イムプレス」シタル上先方ヲシテ今後ノ排日取締ニ付十分ノ誠意ヲ披瀝セシムル様御尽力相成結果回電アリタシ

~~~~~

456 昭和4年6月(8)日

在上海重光総領事より
田中外務大臣宛（電報）

王正廷に対し通商条約商議開始前に徹底有効

な排日取締措置方を申入れたとの芳澤公使報

告

上海 発

本省 6月8日後着

第七五八号

貴電第三六一号ニ関シ

芳澤公使ヨリ

六日朝王正廷来滬シタルニ依リ同日午後会见シ先ツ本使ヨリ政府ノ訓電ニ依ル趣ヲ述ヘ我方ニ於テハ目下通商条約商議開始ノ準備着々進行中ニテ充分ノ誠意ヲ以テ改訂商議即開ヲ期待シ居ルニ拘ラス支那側ニ於テハ済案解決ニ伴フ排日取締ノ義務履行スラ其ノ実績豫期ニ反スル状態ナル旨ヲ冒頭シ最近ニ於ケル北平天津漢口福州廈門蘇州汕頭ノ各地

ナルノミナラス本邦ニ於ケル民間輿論ノ中ニモ排日排貨未タ完全ニ終息セサル現状ニ於テ通商条約改訂ノ交渉ヲ開始スルカ如キハ甚タ不可ナリトノ説スラ行ハレ帝國政府トシテ南京政府ノ内情ニハ相当理解アリト雖モ亦斯説ノ如キニ對シ充分顧慮ヲ要スル次第ナル所左リトテ既ニ我方ニ於テ改訂交渉ノ開始ヲ承諾シ居ル今日支那側ニ對シ排日ノ完全ナル終息ヲ以テ交渉開始ノ絶対的条件トスルコトモ諸般ノ経緯ニ鑑ミ其ノ甚タ困難ナルハ申ス迄モ無之義ト思考セラル就テハ貴官ハ前記ノ事情御含ノ上北京ヘ御出發前王正廷又ハ其他ノ責任当局ニ對シ我方ニ於テハ商議開始ノ諸準備モ既ニ着々進行中ニシテ十分ノ誠意ヲ以テ改訂交渉ノ速開ヲ期待シ居ルニ不拘支那側ニ於テハ濟南事件ノ解決ニ伴フ排日取締ノ義務履行スラ実績未タ我豫期ニ反スルコトヲ指摘シスノ如キ事態ノ下ニ於テ改訂交渉ヲ開始スルモ交渉ノ円満ナル進行ヲ計リ難ク内政上帝國政府ノ立場ヲ甚タ困難ナラシムルヘキモノアルヲ以テ遅クモ商議開始迄ニハ各地排日運動終息ヲ見ル様支那側ニ於テ此上共徹底的取締ノ措置ニ出テラレムコトヲ希望スル旨切言セラレ我方カ今後ノ排日運動取締如何ヲ極メテ重要視シ置クコトヲ深ク先方ニ

ノ反日状況及当地ノ概況ヲ各地來電ニ基キ逐一列挙説明シタル上元來取締問題ハ本使前回上海出發前幾回トナク交渉シタル際部長ハ國民政府ニ於テ誠意ヲ以テ取締ヲ為スニ付今暫ク藉スニ時日ヲ以テセラレタキ旨申出アリ本使モ當時ハ一応之ヲ尤モトシ今回帰國中ニモ其ノ旨政府ニ報告シ今日迄隠忍シ來リタル次第ナルカ濟南事件解決後既ニ二個月半ヲ經過シタル今日依然反日運動毫モ緩和セサルノミナラス最近ハ又々形勢逆転ノ状況ヲ示シツツアルハ實ニ我方ノ心外トシ且遺憾トスル所ナル旨述ヘ更ニ条約交渉開始モ目前ニ迫リ居ル処元來通商条約ナルモノハ完全ナル國際睦誼ヲ前提トスヘキ恒久的取極ニシテ友好親善ヲ基礎トシ此ノ空氣ノ内ニ商議スルニ於テハ始メテ円満ナル効果ヲ期待シ得ヘキ性質ノモノナルニ拘ラス反日ノ為周囲ノ空氣斯ノ如ク險惡ナルニ於テハ交渉ヲ開始スルモ円満ナル進行ヲ期待シ得難カルヘキノミナラス支那側ノ義務不履行ノ結果日本政府ヲシテ今後國際的取極ヲ為スモ當テニナラサルカ如キ懸念ヲスラ抱カシムル虞アリ就テハ國民政府トシテハ約東セシ義務ヲ履行シ併セテ目前ニ迫リタル条約商議ノ円満ナル進行ヲ期センカ為此ノ際速ニ徹底的有効ナル取締措置ヲ

講シ遅クモ条約商議再開前即チ凡ソ今月末迄ニ各地ノ排日運動ノ終熄ヲ見ル様措置セラレタキ旨申入レタルニ王⁽²⁾ハ自分トシテモ国民政府トシテモ之迄回数命令ヲ発シ又曩ニ人權及財産保護ニ関スル命令ヲモ発シ極力反日取締ヲ実行シ来レル次第ナルカ目下ノ状態ハ未タ豫期ノ程度迄ニハ至ラサルモ逆転シタリト謂フハ事実ニアラサル様見受けラル唯從來ノ經驗ニ徴スルモ一氣ニ之ヲ圧迫スル如キハ反感ヲ挑発シ却テ効果ヲ得難キ虞アリ殊ニ從來ノ反日力相当深刻ナリシ為之カ鎮圧モ速急ニ効果ヲ期シ得サル事情モアリ期日ヲ限リテ之カ終熄ヲ約束スルハ困難ナリトテ逃ヲ張りタルニ付本使ハ側聞スル所ニ依レハ中央党部ニテハ対日經濟絶交ハ愛國運動ナレハ停止ノ必要ナキ旨内々地方党部等ヘ訓令シアルヤノ説モアリ支那側ノ誠意如何サヘモ疑ハル点アル処若シ政府ニ於テ誠意アルニ於テハ排日取締ハ必スシモ困難ナル問題ニアラス即チ此ノ際政府カ反日会ノ解散ヲ命スルコト及日貨購買自由ノ布告ヲ発スルコトノ二事ニテ足ルヘシト切言シ条約商議開始前迄ニ不法運動ノ終熄ヲ期スル様措置アリタキ旨繰返シ述ヘタルカ王ハ暴力ヲ用ユルコトハ不可ナリ等ノ口実ヲ述ヘ言ヲ左右ニ託シテ満

貴電第三六一号ニ関シ

堀代理公使ノ意見ハ一応尤ニシテ濟南事件解決後二ヶ月以上ヲ經過シタル今日ニ於テモ排日運動尚猖獗ナルハ真ニ不都合千万ナルカ排日運動ノ終熄ヲ以テ条約改訂商議開始ノ条件トスルハ貴電御来示ノ如ク四月二十七、八日ニ往復セシ条約廃棄ニ関スル覚書及英國側カ既ニ通商条約ノ交渉ヲ開始シタル事実ニ鑑ミ大局上得策トセサルヤニ認メラル乍併国民政府ノ遣口ノ不徹底ナルハ到底黙認シ難キカ故ニ此ノ際国民政府ニ対シテ嚴重ナル警告ヲ与フルハ機宜ヲ得タルモノニシテ条約交渉再開ノ後尚排日運動ノ鎮圧ヲ見サル場合ニハ支那側ニ於テ國際約束ヲ重ムセサルコトヲ理由トシテ交渉ヲ中止シテモ差支ナカルヘク換言スレハ後日交渉中止ノ伏線トシテ今日警告ヲ与フルハ策ヲ得タルモノト思考セラル熟排日運動ノ成行ヲ考察スルニ今日ノ処大体ニ於テ多少緩和ヲ見タルモ尚鎮圧セサルハ堀代理ノ挙示セル諸原因然リ結局国民政府ノ取締振力徹底ヲ缺クニ依ルヘキモノト認メラルカ今後ト雖国民政府カ果シテ誠実ニ取締ヲ励行シ排日運動ノ終熄ヲ見ルニ至ルヘキヤ確カナル見込モ立タス從テ真ニ排日運動ノ終熄ヲ期セムニハ国民政府当局

足ナル返答ヲ為サス兎ニ角早速政府部内ノ各關係当局及中央党部トモ篤ト協議シ最善ヲ尽シテ取締リヲ励行スヘシト約シタルカ要スルニ逃ケ口上ノミニテ誠意ヲ示サス尤モ支那側從來ノ態度ニ顧ミルモ我方ヨリ強要セラレテ已ムナク取締ヲ為スカ如キ形トナルヲ嫌ヒ居ルニ付新聞記者ニ対シテハ單ニ本使北上以前偶々王部長來滬シタルニ依リ本使今後ノ豫定其ノ他何カト協議ヲ為シタルニ過キスト発表シ置タリ御含置ヲ請フ

北平、奉天、南京ヘ転電セリ

457 昭和4年6月(8)日 在上海重光總領事より
田中外務大臣宛(電報)

現下ノ排日運動対策としては国民政府を督励
鞭撻して取締りの手段を講ずる外方途なきと
の芳澤公使意見具申

上海 発
本省 6月8日後着

第七六一号(極秘)

芳澤公使ヨリ

ニ対スル一片ノ抗議以外有効ナル手段ヲ講セサルヘカラサルカ

今日支那側ニ強圧ヲ加フルハ却テ好マシカラサル結果ヲ生スヘキハ明カナルノミナラス他ノ諸列国モ亦我方ノ強圧手段ニ賛成セスシテ列国ノ同情ハ漸次支那ニ注カルニ至ルヘシ從テ差当リハ国民政府ヲ或ハ懷柔シ或ハ威嚇シテ同政府ヲシテ出来得ル限りノ鎮圧手段ヲ講セシムル外策ナカルヘキカ右ノ如キ措置ニ出ツルモ我方ニ満足ナル結果ヲ招来スルコトハ遺憾ナラ之ヲ期待スルヲ得サルカ故ニ今後条約交渉開始ノ後或ハ商議ノ中止ヲ見ルコトアルヘク又英國カ威海衛還附ヲ公表スル時ハ更ニ旅大ノ回收熱ヲ煽リテ滿洲問題ヲ提起スルコトナシトセス故ニ日本トシテハ今日ノ処ハ先ツ陰忍シテ国民(政府?)ヲ相手トシテ鎮圧ノ手段ヲ講セシメ愈我方ニ於テ到底陰忍シ得サル事態ニ遭会スル場合ハ徐ロニ我方國輿論ノ帰趨ヲ考ヘ又列國ノ我方ニ対スル同情ノ如何ヲ察シ始メテ強圧手段ヲトルノ可否ヲ講スルモ遅カラサルヤニ思考ススノ如キ不幸ナル時期ニ至ル迄ハ右ノ如ク国民政府ヲ督励鞭撻取締ノ手段ヲ講セシムル外ナカルヘク五日当地日本人商業會議所会頭ハ閣下ニモ發出セル

請願書ヲ持参シテ来訪大体堀代理公使ト大同小異ノ意見ヲ述ヘタルニ対シ叙上ノ趣旨(但シ英国ノ交渉開始ノコトハ言ハス)ヲ以テ応酬シ置キタル次第ナリ
北平、南京、奉天へ転電セリ

458 昭和4年6月(9)日 在南京岡本領事より
田中外交大臣宛(電報)

全国反日会臨時代表大会において名称を政府の斡旋で「国民排除不平等条約促進会」と改めた旨報告

南京 本省 6月9日後着

第六七〇号

昨八日全国反日会臨時代表大会ハ各地反日会代表等出席ノ下ニ河南代表、周炎光ヲ主席ニ押シ開催セラレタルカ同大会ハ其ノ趣意トスル工作範圍ノ促進ヲ計ル目的ヲ以テ全国反日会ノ名称ヲ「國民排除不平等條約促進會」ト改メ更ニ同促進会組織大綱ヲ決議セル趣ナリ反日会ノ名称存続ソノ会合等新聞紙上ニ現ハルル毎ニ周龍光ノ注意ヲ喚起シ来リ

ソノ都度周モ恐縮ノ態ニテ王部長ニ通シ何等カノ方法ヲ講スヘキ旨答ヘ居リタルカ前記代表大会ノ名称変更ハ政府側ノ斡旋ニ基ケルモノト思料セラル
在支公使、上海、奉天、天津、青島、濟南、漢口、廣東、福州へ転電セリ

459 昭和4年6月(11)日 在濟南西田總領事代理より
田中外交大臣宛(電報)

在上海岡本領事をして王正廷に対し反日運動の徹底約取締を要請と同時に廢約促進会の組織大綱改正等の措置方要求する様訓令ありた
いと芳澤公使要請

濟南 本省 6月11日後着

第三二七号

芳澤公使ヨリ

南京發閣下宛電報第六五〇号及第六五二号ニ関シ
全国反日会ノ名称ハ改メラレタルモ實質ニ於テハ別段変更ナキモノノ如ク殊ニ促進会組織大綱中ニハ日支間一切不平

等条約ヲ廢除スル迄ハ対日經濟斷交ヲ斷行スヘキ旨ヲ規定

シテ明カニ濟南事件交渉ノ際ノ例ニ倣ヒ条約交渉ヲ有利ニ

導カンカ為ニ条約改正ノ商議ニ際シテ反日運動ヲ繼續セン

トスルモノナル処今ヤ我方ニ於テハ曩ノ約束ニ從テ条約改

正ノ交渉ニ応セントシ国民政府モ亦改訂ノ準備ヲ為シツツ

アルトキニ當リ支那側ニ於テ公然反日運動ヲ統行セントス

ルハ濟南事件解決ノ諒解ニ背クノミナラス日支条約交渉ノ

前途ニ暗影ヲ投スルモノト謂ハサルヲ得ス若シ国民政府ニ

シテ真ニ条約改正ノ商議ヲ纏メントスルニ於テハ先ツ約束

ヲ履行シテ反日運動ニ徹底的取締ヲ加ヘ他方反日運動ノ如

キ威嚇手段ヲ用ユルコトナクシテ平和ノ裡ニ交渉ノ開始繼

続スルコトヲ努メサルヘカラス從テ若シ国民政府ニシテ反

日運動ニ何等掣肘ヲ加ヘサルモノトセハ真ニ不都合千万ニ

シテ切ニ同政府当局ノ反省ヲ促ササルヲ得ス就テハ至急岡

本ヲシテ王正廷ニ対シ前記趣旨並八日王ニ対スル本使ノ申

入ヲ敷衍シテ反日運動ノ徹底的取締ヲ要請セシムルト同時

ニ促進会ノ組織大綱ノ改正方並反日運動ノ再発ヲ豫防ノ為

至急適當措置方要求セシムル様然ルヘク御訓令相成度シ
支、上海、南京、天津、青島、廣東、漢口、奉天、福州へ

転電セリ

460 昭和4年6月(13)日 在中国芳澤(謙吉)公使より
田中外交大臣宛(電報)

中国側が反日運動取締りに誠意を以つて応じ
ない場合は条約改訂商議を開かない方針を採
る様意見具申

北平 本省 6月13日後着

第六一八号(極秘)

上海發閣下宛電報第五九七号ニ関シ

反日運動ハ最初ハ濟南事件ニ関聯シテ起リ支那側ハ同事件

ノ解決ニ於テ誠意アル取締ヲ約束シタルモノニテ元来条約

問題ノ商議トハ別箇ノ問題トシテ取扱フヘキ筋合ナルカ故

ニ条約交渉ニ対シテ反日運動カ未タ何等具体化スル証左無

キニ反日運動ノ取締ヲ条件トシテ改訂ノ交渉ヲ開始セント

スルハ四月二十六、七日交換覚書ニ対スル關係モアリ聊カ

無理トスル処ナルヤニ認メラレタル次第ナルモ既ニ南京發

閣下宛電報第六五〇号ノ如ク支那側ニ於テ明カニ日支条約

改訂交渉ヲ目標トシテ全国ノ反日団体協同一致シテ新ニ反日運動ヲ起サントスル以上我方トシテモ最早之ヲ監視スルヲ得ス断然支那側ノ注意ヲ喚起シ現在ノ反日運動ニ対シテ誠意アル取締ヲ要求シ他方将来反日運動ノ勃発ヲ豫防スル為ニ權威アル手段ヲ講セシムルト同時ニ若シ支那側ニ於テ右程度ノ要求ニ応セサル場合ニハ我方ニ於テモ条約改訂ノ商議ヲ開始セサル方針ヲ以テ進ムノ外無カルヘク

尤モ英国力既ニ条約問題商議ヲ開始セル今日ニ於テ我方カ取残サルハ我方ノ立場ヲ困難ナラシムル懼無キニ非サルモ英国側ハ我方ノ意嚮如何ニ拘ラス既ニ商議ヲ始メ往電第六一七号ノ如ク六月二十三日頃(其ノ後他ノ英国公使館員ノ本使ニ対スル談話ニ依レハ「ランブソン」ノ南京着ハ二十三日ヨリ兩三日早クナルヤモ計リ難シトノコノナリ)ニハ或ハ支那側ヨリ対案ヲ受ケムトスル運ニ至ルヘキ形勢ニアル次第ナルモ英支条約交渉モ今後尚必スヤ幾多ノ困難ニ遭遇スヘキヤニモ観測セラルルカ故ニ我方トシテモ不平等条約撤廃促進会ノ成立ニ拘ラス強テ交渉ノ開始ニ焦慮スル必要モ無カルヘシ就テハ至急濟南發閣下宛電報第三二七号ノ趣旨ニ依リ岡本領事ニ訓令相成様致度ク本使モ十二日帰

ヲ講シ絶滅ヲ期スル次第ナリト答ヘタリ依テ本官ハ貴部長ハ此ノ点ニ関シ種々同様ノ言ヲ繰返サルルモ遺憾ナラ多ク効果現ハレス特ニ今回ノ促進会組織大綱中第三条及第九条ノ如キハ貴国民ニ対シ非常ナル誤解ヲ与フルモノト思料スル処貴見如何ト言ヘル処王ハ右ハ勿論不穩当ナリト考フルモ愈之ヲ実行セムトスル場合ニハ政府ハ直ニ嚴重取締ルヘシト弁解セルニ付本官ハ貴部長ノ取締ハ手近ノ中央ニ於テハ或ハ可能ナラムモ地方ニ於テハ前記ノ如キ決議乃至通達ニ依リ中央ノ意思ハ依然対日經濟絶交ニアルモノト誤解シ之ヲ実行スルコトハ從來ノ例ニ徴スルモ明白ナルカ

本官發在支公使宛電報第五九三号ノ二

屢々貴部長ノ注意ヲ喚起セル通スノ如キ場合中央ヨリハ常ニ明確ナル反対ノ訓令ヲ發シタルコトナク貴部長ノ交渉員ニ対スル訓令モ地方党部ニ対シ何等ノ權威ヲ有セサルニ非スヤ自分ノ懼ルル処ハ地方ニ於テハ今回ノ反日会改名ニ依リ從來以上ノ排日氣運ヲ醸成シ而モ右ハ条約商議ノ場合日本側ニ対スル牽制運動トシテ国民政府ノ歡迎スル所ナリト誤解ヲ抱カシムルニ至ランコト是ナリ依テ既ニ貴部長ニ於テ此ノ点不穩当ナル決議ノ実行ヲ取締ル御意思アル以上

任後劈頭新聞記者トノ会見ニ於テ右ノ趣旨ニ基キ我方ノ立場ヲ宣伝スル為促進会ニ言及シ置ケリ
上海、南京、奉天へ転電セリ

461 昭和4年6月13日 在南京岡本領事より
田中外務大臣宛(電報)

王外交部長に対し廢約促進会組織大綱中の不穩当な条項削除方を要望について

南京 6月13日後發
本省 6月13日後着

第六六六号

本官發在支公使宛電報第五九三号ノ一

往電第五九二号王部長ト会見ノ際本官ハ本官發外務大臣宛電報第六五六号ノ行懸モアリ王ニ対シ芳澤公使ニ於テモ促進会ノ決議事項中甚タ不穩当ノモノアルヲ以テ非常ニ憂慮セラレツツアリト言ヘルニ王ハ実ハ周司長トモ話合ヒタルコトナルカ反日会カ促進会ト改名セルハ自分等二人ノ協議ノ結果ト御諒察願ヒ度ク御承知ノ通反日会ニ対シ急激ニ圧迫ヲ加フルコトハ困難ニ付今後モ自分等ハ徐々ニ取締方法

此ノ際一步ヲ進メ是等不穩条項ヲ削除セシメラレテハ如何ト述ヘタル処王ハ少時考慮ノ末至極尤モノ御意見ナリ直ニ適當処置ヲ講スヘシト約セルニ付本官ハ重ネテ其ノ斡旋尽力ノ結果力速ニ実現センコトヲ希望スル旨述ヘ置キタリ右会见ノ後本官周龍光ノ部屋ニ歸リタルニ周ハ王部長ニ招カレ前記不穩条項削除方ニ関スル手続ヲ国民政府ニ対シ執ルヘキ旨命セラレタル趣ニテ更ニ李科長ニ対シ右準備方ヲ命シ居タリ不取敢
大臣、上海、奉天、天津、青島、濟南、漢口、廣東、蕪湖へ転電セリ

462 昭和4年6月15日 在上海上村総領事代理より
田中外務大臣宛(電報)

全国反日会臨時代表大会宣言が中国商並び排日団体の活動に及ぼす影響観測について

上海 6月15日後發
本省 6月15日後着

第七七八号

全国反日会臨時代表大会宣言ト題シ「五三慘案發生以来全

国ノ反日運動ハ国民党指導ノ下ニ積極進行シ一年余ニ及フ此ノ間日本帝国主義者ノ経済上ノ打撃及多年帝国主義者ヲシテ中華民族開放運動ノ勢力大ナルコトヲ認識セシメタリ吾人ノ反日運動ノ目的ハ対日経済絶交ヲ勵行シテ先ツ日本ヲ打倒シ次テ爾余ノ帝国主義者ニ及ホシ一切ノ不平等条約ヲ排除シテ国際地位ヲ回復シ更ニ国貨ヲ提唱シテ国民ノ製産ヲ増進シ経済的力量ヲ以テ帝国主義者ノ経済侵略ヲ抵制シ三民主義ノ経済建設ヲ完成スルニアリ吾人ノ使命斯ノ如クニシテ責任重且難ナリ本会ハ旗幟ヲ鮮明ニシ運動ヲ便ニシ且永久的の見地ヨリ茲ニ全國國民排除不平等條約促進會ト改称スルモ運動ノ目的方法ハ従前ト毫モ異ナル所ナシ若シ不平等条約ヲ自動的ニ抛棄セサル国ニ対シテハ日本帝国主義者ニ対スル同様ノ手段ヲ以テ吾人ノ正当ナル要求ヲ容認セシム(以下略)「当地支那新聞ニ発表セラレ一般支那商特ニ綿糸布商砂糖商ニ非常ナル衝動ヲ与ヘ排日貨ノ前途ニ少ナカラス危懼ノ念ヲ懷カシムルニ至リ一兩日来商談荷動キ減退ノ徵アリ尤当地ノ関スル限り排日排貨運動ハ未タ悪化ノ徵ナク寧ろ好転氣配ヲ辿リ排日巨頭陳德徵(市救国会主席)王延松(副主席)ノ如キモ近ク辭職スル趣ニテ排

ヲ知ラサルニ非サルモ王部長カ芳澤公使ニ述ヘタルカ如ク国民政府ノ現状ト貴国ニ対スル一般民衆ノ感情トハ急速過激ノ手段ニ出ツルヲ許サス若シ之ヲ決行ストセハ事態ハ一層悪化スヘキヲ虞レ徐ニ善導改善ノ方針ニ出テ居ル次第ニシテ決シテ政府ニ於テ之ヲ利用シ或ハ煽動スルノ意思ナシ今回促進会決議ニ係ル不穩条項ノ如キ勿論之カ実行ヲ阻止スヘク御要求ニ係ル条項削除ノ如キハ自分ノ考ニテハ末節ニシテ特ニ党部ニ関係ヲ深メツアル自分トシテハ他ニ自ラ方法アリ遠カラス根本的ノ解決ヲ見ルニ至ルヘシト信ス具体的意見乃至手段方法ヲ申上クルハ自分トシテハ此ノ際差控フルモ之ヲ要スルニ自分ヲ信セラレタシ尤モ右ニ付テハ公使ヘノ御報告モ厳ニ秘密ニ取扱ハレタシ云々尚戴ハ呉々モ日本側ニ於テ眼前ノ些々タル事件(反日会ノ決議等)ニ重キヲ置カレサランコトヲ希望スル旨繰返シ居タリ大臣、上海、奉天、天津、青島、濟南、漢口、廣東、福州ヘ転電セリ

日団体ノ活動漸次衰ヘツツアルヤニ観測セラル
北京、南京、漢口ニ転電セリ

463 昭和4年6月26日

在南京岡本領事より
田中外務大臣宛(電報)

戴天仇に廃約促進会組織大綱中の不穩当条項
削除方に関し斡旋を要請について

南京 6月26日後発
本省 6月27日前着

第七一三号

本官発在支公使宛第六三七号

往電第六三四号ニ関シ

本二十六日戴天仇往訪三時間ニ亘リ政治社会諸問題ヨリ兩國關係ニ論及シ本問題ニ関スル戴ノ深甚ナル考慮ヲ求メタルカ結局戴ハ左ノ通答ヘタリ

最密接ナル關係ヲ有シ貴国ニ対シ最理解ヲ有スル自分トシテハ貴説ヲ待ツ迄モナク兩國ノ現状ニ付テハ強キ憂慮ヲ抱キ事件解決ニ付テモ出来得ル限りノ尽力ヲ為シ来リタル次第ニシテ所謂反日会ナルモノニ対シテモ武力圧迫ヲ加フル

464 昭和4年7月1日

在天津岡本総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

天津反日会が天津特別市國民廢除不平等条約
促進会と改称し成立大会舉行について

天津 7月1日後発
本省 7月2日後着

第一六九号

往電第一三七号ニ関シ

当地反日其ノ後ノ状況

一、当地反日会ハ天津特別市國民廢除不平等條約促進會ト改称シ六月二十八日成立大会ヲ舉行セルカ一切ノ不平等条約撤廃迄対日経済絶交其ノ他ノ工作ヲ続クルノミナラス会務ノ進行ハ從來ヨリ一層努力緊張ヲ要スル旨申合ス処アリ同日成立大会後執行委員(一一人候補五人)監察委員(五人候補三人)ヲ選舉セル趣ナリ

二、日貨封存期日ハ商民側ノ請願ニ依ルト称シ(一面救国基金徴収ノ一手段トモ思ハル)延期ヲ重ネ居タル処促進会ハ更ニ七月一日ヨリ之ヲ無期延期シ日貨売尽シ後ハ絶対仕入ヲ許可セストノコトナルカ事実支那町ノ支那人店

舗ニハ日貨ハ登記済ノ売残品ノ外残シ置クモノ余リナク
大部分ハ租界内倉庫ニ入庫シ居ル状況ナレハ日貨封存モ
自然意義ヲナササルコトナリ旁今回ノ無期延期ニ至レ
ルモノナルヤニ存セラル

三、支那街ニハ日貨検査員依然存置シ麦粉、砂糖、綿糸
布、紙ノ如キ大口ノ日貨ニ対シテハ支那街搬入ノ際検査
ノ手ヲ緩ムルニ至ラサル為救国基金支払済ノモノノ外荷
動キナキモ零細ナル小売雜貨ノ如キモノニ対シテ近來検
査員余リ嚴重ナラサル由ニテ弗々品捌アリ又租界内ヨリ
日本人名義ニテ日貨（綿糸布）ニ日本人附添奥地向輸送
ノ便法ヲ講シ居ルモノアルモ右ハ相当危険ヲ負担スルコ
トナレハ其ノ数尠シ本邦品輸入ハ右荷動キニ応スルモノ
等弗々アル位ノ程度ニテ折柄ノ夏枯時期ト相俟チ至テ閑
散ナリ

四、促進会ノ発表スル処ニ依レハ救国基金徴収高ハ総計約
五十七萬元ナリトノコトナリ

北平、奉天、青島、漢口、廣東へ転電セリ

去ル六月一日支那総領事館ニ於テ華商會合有之日本品取扱
商ハ排日即座中止ヲ主張致候処輸出品組合ハ続行ヲ唱へ讓
ラズ討論ノ結果総領事ヨリ中央へ訓令ヲ仰グ事トナリ散會
致申候 其後正式ノ発表無之候処数日前漢字新聞紙上ニ於
テ日本商トノ取引ハ各人ノ自由意思ニ任ズベキ旨報導有之
候ニ付中央ヨリハ確ニ何等カノ訓電到着セルモノト推察被
致申候

頃來華商ノ対邦人感情ハ頗ル融和被致候処未ダニ邦人ノ華
商店舗ヘノ出入ヲ厭フモノ有之日本棉布取扱商丈ケハ例外
トシテ商売再開致候得共護謨、錫、穀肥、食料品組合ハ依
然排日ヲ続行シ直接取引ヲ肯ジ不申一般ニ有力華商ハ支那
人間ノ世間態ヲ慮リ邦人トノ交際ヲ避ケ居ル実状ニ有之候
一部ニハ跡一／二ヶ月ヲ經過セバ排日完全ニ終熄スベシト
觀測致スモノ有之候得共当地ハ南洋排日ノ策源地トシテ条
約改正其他ノ日支懸案ヲ控ヘ国民党支部ノ秘密機關モ有之
他方商人側ハ強ヒテ日本品ヲ買ハズトモ外国品ヲ以テ代用
可能且相当外国品ノ在庫モ有之殊ニ肝腎ノ奥地ハ盤谷方面
著シク緩和ヲ見タル外一般ニハ排日勵行被致居候ニ付旧態
ニ復スルニハ相当ノ日子ヲ要スベク愚考仕候

465 昭和4年7月4日 三井物産本店業務課次長より
外務省通商局宛

南方各地の排日状況に関するシンガポール

三井物産支店長報告

昭和四年七月四日

三井物産株式会社

本店業務課次長（印）

外務省通商局 御中

拝啓

南洋方面ノ排日情報ニツキ

弊新嘉坡支店長ヨリ別紙ノ通り來報有之候ニツキ御參考迄
ニ供貴覽候

勿々

（別紙）

昭和四年六月十五日

新嘉坡支店長

本店業務課長殿

排日情報ノ事

左ニ各地情報御報告申上候

彼・南 屑鉄商内ニテ当店員同地へ出張シ喬安（華商）ヨ

リ Steel Shaft 百参拾屯買附中ノ処脅迫状舞込ミ喬安

ハ濟案解決ノ今日輸出ノ故ヲ以テ特許方排日本部ニ交

渉セシモ承諾スル処トナラズ商談不調ニ終ル

メ・ダン 排日気分大分緩和シ華商往訪可能トナリ商總會

總理ニモ面接シタルガ未ダ一般ニ脅迫者ノ策動ヲ怖レ

取引再開ノ域ニ達セズ同店商売ハ外商及土人商ニ限ラ

ル

蘭・領「ボルネオ」Singtawang 華商トノ取引不能支那

人 Bus（邦人ヲ乗セズ

馬・來・聯・邦・州 Ipon K. Lumpar ノ両地ハ一昨日華商會合

アリ排日中止ニ決定セリト

新・嘉・坡 Circular Road 商人（「パンチエスター」品取

扱）日本棉布取扱ニ関シ三回會合セルモ排日中止決定

セズ地売許可セラレズ盤谷ノミハ取扱差支ヘ無キ事ト

ナリタリ

要スルニ当地排日ハ内地新聞紙所報トハ大分相違シ頗ル執
拗ニ継続被致候事特ニ注意ヲ要スル次第ト存候

466 昭和4年7月8日

在南京岡本領事より
幣原外務大臣宛(電報)

全国廃約促進会が我が内閣更迭に關連し「日本民衆ニ告クルノ書」發表方決議について

南京 7月8日後発
本省 7月8日後着

第七五二号

全国廃約促進会ハ七日ノ會議ニ於テ内閣更迭ニ際シ左記要旨ノ「日本民衆ニ告クルノ書」ナルモノヲ發表スルコトヲ決議セル趣ナリ

(一)反日運動ハ支那ニ於ケル日本帝國主義ノ侵略暴行ニ反対スルモノニシテ決シテ性善タル大和民族ニ反対スルモノニ非ス

(二)日支親善ハ民族平等ノ原則ニ立脚セサルヘカラス

(三)日支間一切ノ不平等條約ヲ排除スルコトニ依リ真正ノ日支親善ヲ談シ得ヘシ

(四)日本民衆ハ新内閣ヲシテ伝統的對支侵略政策ヲ改変セシ

排日団体ハ党部指導ノ下ニ目標ヲ不平等條約排除ニ換ヘ彼等ノ主義主張貫徹スル迄ハ隨時隨所ニ排日運動ヲ繼續セムトシツツアリ其ノ運動ノ巧妙ト伸縮自在ナルトハ驚歎ニ堪ヘサルモノアリ

最近ニ於ケル事實ニ付テ見ルニ廣東汕頭厦門等ノ南支那地方稍々好転シタルニ拘ラス天津北平山東方面ハ却テ逆転シ又漢口ハ水案解決ニ依リ著シク緩和シ來レルモ九江長沙蕪湖其ノ他長江筋一帯ハ四川ヲ除キテハ依然トシテ運動峻烈ニシテ包裝ノ改変又ハ日本人名義ニ依ルニ非サレハ安全ニ日貨ノ運搬取引ハレサル状態ニアリ尤モ当地ニ於ケル荷捌ノ状態ハ逐日活発トナリ滞貨ハ漸次減少シ本邦ヨリノ輸入モ漸増ノ傾向ヲ示シ居レリ

(二)上海興信所ノ入手シタル情報ニ依レハ最近中央党部ハ当地市党部ニ對シ日本トノ條約改訂交渉並ニ日本ノ内閣更迭ニ關シ左ノ通ノ密令ヲ發シタル由右ハ從來ニ於ケル國民政府當局ノ排日取締不徹底ト党部方面ノ空氣ニ鑑ミアリ得ヘキ事ト考ヘラル

(一)⁽²⁾中日修約ハ我方ノ對外關係ニ最重要ナル影響アルモノナルカ故ニ全國民衆一致團結シテ之ニ當リ地方党部ハ中

メサルヘカラス

(五)中華民族ノ地位ヲ恢復シタル後ハ当然大和民族ト提携並ヒ進ミ共存共榮ノ目的ヲ達成スヘシ云々

尚前記會議ニ於テ日本ハ安東ニ築港及鐵路敷設ノ計画アルニ付國民政府ニ對シ同地ノ防備注意方呈請スルコト並國民ニ對シ自ラ資金ヲ集メ工事ヲ為シテ右計画ヲ抵制スル様勸誘スルコトヲ決議セル趣ナリ

北平、上海、奉天、安東ヘ転電セリ

467 昭和4年7月(11)日

在上海上村総領事代理より
幣原外務大臣宛(電報)

最近の各地における排日運動の現状並び中央党部が上海市党部に対し日本との条約改訂交渉、日本の内閣更迭に關して密令を發したとの情報について

上海 發
本省 7月11日前着

第八四五号

(一)⁽¹⁾各地ノ排日運動ハ今ニ終熄ヲ見ス救国会廢約促進会等ノ

央ノ命令ヲ遵守シテ遺憾ナキヲ期スヘシ

(二)民政党内閣ハ田中内閣ト趣ヲ異ニシ大勢ニ通スル内閣ナルカ故ニ我方トシテモ從來ト同一ノ方法ニ依ル排日工作ヲ用ヒス一層合理的文明的方法ヲ以テ運動ノ徹底ヲ期スヘシ

(一)一般民衆ニ對シ最平易ナル方法ヲ以テ日本新内閣ノ對支政策力依然侵略的ナルコトヲ宣伝シ日本ト平等條約ヲ締結スルニハ排日工作ノ緊張ヨリ外ニ方法ナキコトヲ充分徹底セシムヘシ

(二)教育方面ニ於テハ特ニ學生及青年黨員ニ對シ田中内閣倒壊ニ依リ直ニ對日態度軟化セサル様注意スヘシ

(三)当地ノ救国会ハ内部ノ紛糾ニ依リ依然積極的活動ヲ中止シ居リ支那商一般ノ日貨ニ對スル人氣良好ナルモ邦人所
有ノ日貨抑留未解決ノ懸案十一件ハ今ニ解決ヲ見ス右ハ過般救国会カ此ノ種懸案ハ日支交渉完全解決ヲ俟テ処理スヘキ旨ヲ決議シ交渉員市長等力之ニ對シ如何ニ斡旋スルモ容易ニ耳ヲ藉ササル結果ナルコト判明シタルニ依リ其ノ不法ヲ指摘シテ目下交渉員ニ嚴重申入レ中ナリ
支、南京ヘ転電セリ

468 昭和4年7月18日

在奉天林総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

外交協会、商工総会側は東支鉄道問題紛糾のため極力排日運動取締りに努めていることについて

奉天 発

本省 7月18日後着

第四三五号

往電第四〇五号ニ関シ

外交協会ハ一昨年排日騒当時ノ如ク有力ナル指導者ナク省民操縦ノ任ニ当ルヘキ商工総会側モ一向気乗セス示威遊行等モ具体化スルニ至ラサル折柄東支鉄道問題紛糾シ外交協会組織ノ煽動者タル疑アル交通委員会モ殆ト東支問題ニ頭ヲ悩マシ居ルノミナラス官憲側モ対露関係ノ危急ニ鑑ミ我方ノ感情ヲ害セサラムカ為極力排日運動取締ニ努メ居リ形勢著シク緩和シ過般來擡頭セル排日氣勢モ此ノ儘終熄スルヤニ観測セラル

支ヘ転電セリ

469 昭和4年7月19日

在中国堀内臨時代理公使より
幣原外務大臣宛(電報)

国民政府文官処より河北、福建兩省政府等に対し反日取締りの訓電發出並びに北平反日会が北平国民廃約促進会と改称したことについて

別電 七月十九日発在中国堀内臨時代理公使より幣

原外務大臣宛第七八四号

右反日取締訓電

北平 7月19日後発

本省 7月19日後着

第七八三号

十八日ノ河北日報(当地ニ於ケル中央党部機関紙)ハ国民政府文官処ヨリ十六日附ヲ以テ河北省及福建省政府並ニ北平及天津特別市政府ニ対シ別電(訳文)ノ如キ反日取締ニ関スル訓電発セラレタル旨発表シタルカ右ニ関シ十八日鄭文軒ハ商震ヨリノ伝言ナリトテ有野ニ対シ該訓令ハ当地官憲ニ於テ接到シタルモノヲ将来ノ取締ニ便スル為特ニ新聞ニ発表セシメタルモノナルコト及順天時報ノ郵送抑留モ此ノ機会ニ解除スル様努力スル積リナル旨告ケタル趣ナリ

尚当地反日会ハ十五日各団体代表大会ヲ開キ反日会ノ名称ヲ取消シ北平國民廢約促進會ト改ムルコトニ決議シ即日看板ヲ取替ヘタルカ之カ内部ノ組織ニ付先般蔣介石ヨリノ注意モアリ市党部ニ於テ干涉ノ上過激分子ヲ整理スヘシトノ説アル処何レニセヨ前記訓令ハ今後同会ノ越軌行動ヲ阻止スルニ相当効果アルモノト察セラル

別電ト共ニ奉天、天津、上海、福州、南京ニ転電セリ

(別電)

北平 7月19日後発

本省 7月19日後着

第七八四号

国民政府文官処訓電

今般中央訓練部ヨリ公文ヲ以テ救国運動ハ独リ外国貨物ノ消極的抵制ニノミ依頼スヘキモノニ非ス正ニ積極的ニ国貨ヲ提唱シ国内ノ実業發展ヲ期スルヲ以テ根本要義トナス依テ全国廢約促進会ノ組織大綱ニ対シ中央ニ於ケル修正ヲ經ス備案方許可セサル以前ニ於テハ各地反日会ハ日貨ニ対スル検査又ハ抑留ノ行為ヲ停止シ紛糾ヲ惹キ起ササル様スヘ

シトノ申越アリ右ニ対シ直ニ之ヲ遵守弁理シ若シ各地反日会ニシテ尚日貨検査等ノ事実アルニ於テハ所屬ニ命ジ之ヲ制止シ事端ヲ滋カラシメサル様取計フヘキ趣主席ノ訓示ヲ奉セリ依テ右訓達ス

470 昭和4年8月9日

在南京岡本領事より
幣原外務大臣宛(電報)

排日排日貨の禁止、日貨の検査抑留等の禁止
および国貨を奨励すべき旨の国民政府命令の
情報について

南京 8月9日後発

本省 8月10日前着

第七八七号

行政院ハ八日附国民政府ノ命令ニ基キ配下各機關ニ対シ自今排日排貨ヲナスヘカラス各地商業聯合会ヲシテ責任ヲ以テ日貨ノ検査抑留等ノ行為ナキ様注意セシムヘシ尤モ努メテ国貨ヲ奨励セシムヘシ尙政府ヨリ排日取締ヲ命令セル旨宣伝スヘカラス云々ト命令セル旨諜報者ヨリ報告アリ昨八日本官胡漢民トノ会谈ニ徴スルモ右ハ事実ナリト史料ス

曩ニ中央党部ヨリ各地方党部ニ命令シ促進会ノ決議変更通電トナリ今又国民政府ヨリ前記命令ヲ発シタル以上排日貨ハ之ヲ誘致スル新事実ノ生セサル限り終熄スヘキモノト信ス
支、上海、奉天、天津、青島、濟南、漢口、廣東、福州、蘇州、杭州へ転電セリ

471 昭和4年8月13日 在福州田村（貞治郎）総領事より
幣原外務大臣宛（電報）

国民政府より福建省政府宛の排日行動に関する密令について

別電 八月十三日発在福州田村総領事より幣原外務大臣宛第一三二号
右国民政府密令

福州 8月13日後発
本省 8月13日後着

第一三二号

在支公使発閣下宛電報第七八三号ニ関シ

国民政府ヨリ福建省政府宛訓令第六四八号ヲ以テ別電第一

三二号ノ通密令アリ全文写省政府文書課員ヨリ内密入手セル処直接行動ヲ避ケテ各地商業団体ヲシテ責任ヲ以テ経済絶交ヲ進行セシムルアルハ特ニ注意スヘク御参考迄電報ス
別電ト共ニ北平、上海、天津、南京ニ転電シ厦門ニ暗送セリ

（別電）

福州 8月14日前発
本省 8月15日前着

第一三二号

密令ヲ為ス事、中央執行委員会ノ来翰ニ依レハ対日経済絶交ハ素ヨリ人民愛國ノ熱心ニ出ツルモ過去ニ於テハ之ヲ処理スルニ当ヲ失シ屢紛糾起レリ最近査スルニ各地廢除不平等条約促進会ハ依然直接該地ノ日貨検査ヲ進行シ且直接奸商ニ処分ヲ加フルモノアリ之等ノ直接行動ハ明ニ中央ノ意思ニ反スルニ付玆ニ本会ノ決議ヲ經テ之等ノ直接行動ヲ取消シ同時ニ嚴重ニ各地ノ商人団体ヲシテ自動的救國ノ責任ヲ負ハシメ若シ他人ノ告発ニシテ抛ル処アリ而モ該商會カ

事前ニ之ヲ検査処罰セサルニ於テハ即チ商會ヲ罰シ紛糾ヲ免ルルト同時ニ経済絶交ノ進行ニ害無カラシメム事ヲ期ス

ヘク其ノ詳細ナル辦法ハ既ニ中央訓練部ヲシテ擬定セシムル事トセルカ

(2) 本会ヨリ各級党部ヲシテ嚴密ニ該地廢除不平等条約促進会又ハ国民救國會及各商人団体ニ一体遵照方転飭セシメ並所屬各県市党部ヲシテ一体遵照方密令セシムルト同時ニ特ニ之ヲ輪達セルニ付右査照セラレタシトノ趣ナルカ之ヲ奉シ自ラ遵照スヘク輪覆並分令スルト同時ニ該省政府ニ遵照方並所屬一体遵照方密飭スル様致度シ玆ニ令ス

472 昭和4年8月19日 在上海重光総領事より
幣原外務大臣宛（電報）

排日貨運動は事実上終息し日貨の商況も活発化の趨勢なるが最近突然中国人所有の日本糖が排日団体に没収され中国商不安の気配について

上海 発
本省 8月19日後着

第九八三号

(1) 一、支那ニ於ケル排日貨運動ハ事実上殆ト終熄シ日貨ノ商況著シク活発トナレル次第ハ往電第九一六号及往電第九三二号ノ通ナル処（十日）突然上海附近ノ閩行ニ於テ支那人所有日本糖二百余俵排日団体ノ為ニ没収セラレ又同日頃ヨリ清江、鎮江、蕪湖安慶等ニ於テモ糾察隊再ヒ活動ヲ開始シタルヤノ情報アリ之カ為当地支那商ハ全部不安ノ氣配ヲ生シ之等地方ニ仕向ケラルル日貨（主トシテ砂糖）ノ積止メ先物契約取消シ等モ幾分起リ日貨ノ商況稍緩慢トナレリ尤モ右ハ前途氣迷ヒノ程度ニ過キスシテ先物契約ニハ多少ノ影響アルモ現物取引ハ依然好況ヲ呈シ目下荷動キハ常態以上ナルカ将来ニ対シ相当神經質トナルニ至レリ

二、右原因ニ付取調ヘタル処国民政府ハ本月初旬中央党部ノ来翰ニ基キ各省政府ニ対シ「反日団体自ラ日貨ノ検査差押ヘ没収ヲ行フヲ許ササルモ各地商人団体ハ自発的ニ排日貨ヲ行ヒ差支ヘ無キ」旨ヲ通達シ各省政府ハ所轄管下ニ密令トシテ訓達セル模様ニテ
当館ノ入手シタル江蘇省政府ヨリ管下各県長ニ対シテ下シタル密令原文（八月九日附ノ如シ）福州総領事發閣

下宛電報第一三二号及第一三三二号ノ福建省政府宛国民政府訓令第六四八号ト内容同一ノモノニシテ其ノ要旨ハ(一)反日団体カ自ラ日貨糾察差押没収又ハ干涉ノ私刑等ヲ行フコトハ停止セサルヘカヲサルモ対日経済絶交ハ引続キ強行セサルヘカラス(二)今後日貨排斥ハ各商人団体ニ於テ責任ヲ以テ行フヘシ(三)若シ各商人団体ニシテ日貨取扱者ノ検査処罰ヲ自発的ニ行ハサル場合ハ当該商人団体ヲ厳罰ニ処ス等ナリ

三、前記密令ナルモノカ如何程ノ意味ヲ有スルヤハ今後ノ事態ニ徴スルノ要アルモ最近露支紛争ニ關聯シ日本ノ滿洲ニ於ケル行動ニ關シ排日的記事多ク新聞紙ニ掲載セラレ日本朝野カ著シク露国蠱惑ナリトシ或ハ露国トノ間ニ滿洲ニ關シ密約アルヲ疑フモノスラアリテ支那一流ノ猜疑心ヲ以テ見居ル際ニテモアリ露支紛争ノ紛糾ニ連レ右排日貨運動ノ成行ハ注意ヲ要スル次第ナリ不取敢

密令原文写郵送ス
北京、南京へ転電セリ

474 昭和4年9月(11)日

在南京上村領事より
幣原外務大臣宛(電報)

全国廃約促進会が租界回収、国貨奨励、朝鮮人の東三省移民禁止等を決議について

南京 発
本省 9月11日後着

*第九三九号

新聞報道ニ依レハ全国廃約促進会ハ十日左ノ通決議セル趣ナリ

(一)各地租界ヲ未タ回収セサル為各國領事裁判權ノ拋棄ヲ肯ムセサルニ鑑ミ租界回収宣言ヲ發シテ民衆(脱)ヲ喚起シ廢約ヲ促進ス

(二)最近中央ヨリ国貨提唱宣伝綱要ノ頒布ヲ受ケタルニ付各級廢約促進会ニ対シ一段ト宣伝方通知ス

(三)日本ハ朝鮮ニ於テ鮮人ヲ極力圧迫スルト共ニ東三省ニ移民セシメツアルニ付之カ嚴重制止方東三省当局ニ電請ス

(四)各省市廢約促進会ニ於テ準備中ノ五三紀念興學ニ關シテ

473 昭和4年9月2日

在上海重光總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

上海における排日団体は、表面影を没した様子なるが不平等条約排除促進会を組織し自発的に排日貨運動を展開する構えについて

上海 9月2日後発
本省 9月2日後着

第一〇四四号

排日貨運動ニ關シ支那側当局ハ排日団体其ノモノノ解散ニ努ムル一方商人等カ自発的ニ排日貨ヲ行フハ差支ナシトノ建前ナルハ往電第九八三三号ニテモ御承知ノ通ナル処上海特別市國民救國會ハ市政府ノ命令ニ依リ八月末解散シ一切ノ文書備品救國基金未処分ノ抑留日貨等ハ市党部ノ執行委員會ヨリ破印接收ヲ了シタル趣ニテ右ニ依リ当地ニ於ケル排日団体ハ表面影ヲ没シタル次第ナルモ往電第一〇二五号ノ通不平等条約排除促進会ノ如キモノヲ組織シテ其ノ必要ト認ムル場合ニ自発的ニ(其ノ実市党部指導ノ下ニ)排日貨運動ヲ煽ラムト準備シ居ル分子アル状態ナリ
支、南京へ転電セリ

ハ本年末委員ニ一律ニ準備完了方通令ス

475 昭和4年9月27日

在南京上村領事より
幣原外務大臣宛(電報)

首都廢約促進会が鉄嶺事件に關連して排日排貨を決議について

南京 9月27日前発
本省 9月27日後着

第九九六号

鐵嶺發閣下宛電報第二六号ニ關シ

新聞報道ニ依レハ首都廢約促進会ハ二十六日會議ヲ開キ左ノ通決議セル趣ナリ

日本軍カ鐵嶺保安隊ニ闖入シ所有軍器ヲ掠奪シ且全隊員ヲ捕ヘ去リタルハ国体ヲ侮辱シ主權ヲ蹂躪スルコト之ヨリ甚シキハナシ依テ

(一)日本ニ対シ嚴重抗議方外交部へ申入ルル事

(二)即日対日經濟絶交回復方中央党部及全國廢約会ニ上申スルコト

(三)至急当地ニ於ケル日貨検査準備方總商会及市商協會ニ申

送ルコト

（四）即日市民反日大会召集方市党部ニ上申スルコト
北平、上海、奉天、鐵嶺ニ転電セリ

付 順天時報廃刊問題

476

昭和4年1月22日 田中外務大臣より
在米国出淵大使宛（電報）

順天時報排斥問題に関する経過につき通報

付記一 昭和三年九月十日発在中国芳澤公使より田中

外務大臣宛電報第一二八二号

北平市党部の煽動と新聞業者の運動による順
天時報排斥に関し同市長へ取締方要求につい
て

二 昭和三年九月二十四日発在中国芳澤公使より

田中外務大臣宛電報第一三四一号

順天時報排斥問題に関し対抗策上申について

三 昭和三年九月二十六日発田中外務大臣より在

中国芳澤公使宛電報第四八八号

順天時報排斥に関し差向き各当局に対し至急
有効な取締方嚴重要求する様訓令

四 昭和三年九月二十九日発田中外務大臣より在

南京岡本領事宛電報第八一号

順天時報排斥取締りに関する交渉に当り中央
政府に同取締徹底方に重きを置く様訓令

本省 1月22日後2時12分発

第三四号

客年九月以来北京市党部其他反日会一派ハ同地順天時報ヲ
日本帝國主義ノ機關ナリトシ之ニ圧迫ヲ加ヘ配達夫購読者
広告主等ニ威嚇暴行ヲ行ヒ又支那側通信ノ供給ヲ杜絶セシ
ムル等各種惡辣手段ヲ弄シテ同紙ノ營業ニ大打撃ヲ与ヘ
（同紙最高発行部数二万三千ノ処十二月上旬ニハ千三百ニ
低下セリ）其後十月中旬事態多少緩和ノ兆アリシモ日支交
渉ノ行悩ミニ件ヒ再ヒ惡化シテ今日ニ及ヒ居リ我方ハ北京
及南京ニ於テ支那側当局ニ取締要求ヲ繰返セルモ右不法行
為カ主トシテ党部ノ作為ニ出テ居ル為容易ニ取締ノ実効奉
ラサル状況ナルカ本運動ニハ当初ヨリ北京郵務局ノ郵務工
会（事務員ノ組合）郵差工会（配達夫ノ組合）等参加シ順
天紙ノ郵便託送受理ヲ渋リ又受理済ノモノヲ抑留スル等
（漢字通信中順天郵便物カ焼却セラレタル旨報道スルモノ
スラアリ）不法ヲ繰返セルノミナラス山西省方面ニ於テハ
目的地郵便局ニ送達セラレタル同紙カ省党部検査員ノ為抑